

ネットワークカメラ録画モニタリングシステム

# ネットワークビデオレコーダー *VK-64/VK-16*

**設定マニュアル**

*Ver. 1.4*



# はじめに

ネットワークビデオレコーダー VK-64 v1.4 (以下、「**VK-64**」) をご購入いただき、ありがとうございます。VK-64はネットワークを介して録画とモニタリングを行えるソフトウェアで、**録画サーバーとビューワー**の2つから構成されます。ご使用前に本書をよくお読みください。また、本書はネットワークビデオレコーダー VK-16 v1.4 (以下「**VK-16**」) および**ビューワー単独**でご利用の場合の使用説明書を兼ねます。VK-64とVK-16の違いについては、P.7を参照してください。ビューワー単独モードで使用できない機能については、P.42を参照してください。本書をお読みになった後は、大切に保管しておいてください。

※本書で特別な断りのない限りは、VK-64の機能はVK-16からもご利用いただけます。

## お客様へのお願い

- (1) 本書のすべての著作権は、キヤノン株式会社にあります。本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、お気付きの点がございましたら、裏表紙に記載の窓口までご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(2)、(3)項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本書でコントロールパネルを使った操作を説明する場合は、Windows XPのクラシック表示での操作を説明しています。

## お客様へのお願い (免責事項)

本ソフトの不具合などにより、録画ができなかったり、録画データが破壊、消失する場合があります。これにより生じるお客様の損害について、キヤノンは一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### サポート情報

サポートに関する各種の情報、更新された製品ソフトウェア (パッチインストーラー) や使用説明書、動作環境などは、ホームページをご確認ください。製品紹介ホームページ: [canon.jp/webview](http://canon.jp/webview)

### 著作権について

お客様が撮影した映像や画像は、個人で利用するほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。

### 商標について

- CanonおよびCanonのロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。
- Microsoft WindowsおよびMicrosoft Internet Explorerは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標および登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- QuickTimeはApple Computer Inc.の商標です。
- ApacheはApache Software Foundationの商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標です。
- その他、本書に記載された商品名、社名等は、各社の商標または登録商標です。

### 本書で使用しているマークについて



お願い

「お願い」欄には、操作時の注意事項や制約事項が書かれています。注意してお読みください。



ヒント

「ヒント」欄には、操作に役立つ補足説明や参考情報などが書かれています。

録画サーバーには、Apache Software Foundation ([www.apache.org](http://www.apache.org)) が開発した Apache Web Server ソフトウェアが組み込まれています。Apache ソフトウェアは著作権法により保護されています (Copyright(c) 2000-2003 Apache Software Foundation、不許複製)。本ソフトウェアに関するライセンス条項については、インストールディレクトリの LICENSE フォルダの中にある APACHE\_LICENSE ファイルを参照してください。



# 目次

## はじめに

概 要 .....	7
システム構成 .....	8
代表的なシステム構成 .....	8
セットアップの概要 .....	10
対応カメラサーバー .....	12
動作環境 .....	13
ビューワー .....	13
録画サーバー .....	13
運用開始前のお願い<重要> .....	14

## 第 1 章

### インストール

インストールを始める前に...	16
システム構成例 .....	16
カメラサーバーをセットアップする .....	17
マスター録画サーバーとは .....	18
複数の録画サーバーを使用する .....	18
ビューワー単独モードで使用する .....	18
インストール手順 .....	19
インストーラーを起動する .....	19
バージョン 1.0、1.1、1.2、1.3 からのアップグレード .....	21

## 第 2 章

### 録画サーバーの設定 ※ ビューワー単独でご使用の場合は、お読みいただく必要はありません。

録画サーバーの設定 .....	24
録画サーバーの設定 .....	25
表示メッセージ .....	30
「サービスとしてログオン」権限 .....	31
イベントのメール通知 .....	32
イベントのメール通知を設定する .....	32
ユーザーの設定 .....	34
ユーザーの追加と編集をする .....	34
[ユーザー管理]タブ - ユーザーを追加する .....	35
[ユーザー管理]タブ - ユーザーを編集する .....	36
[ユーザー管理]タブ - ユーザーを削除する .....	36

## 第 3 章

### ビューワーを起動する

ビューワーを起動する .....	38
起動手順 .....	38
ローカルホストに接続して起動する .....	39
録画サーバーをIPアドレスで指定して起動する .....	40
録画サーバーを使用せずに起動する（ビューワー単独モード） .....	41
ビューワー単独モードで使えない機能について .....	42



<b>第 4 章</b>	<b>ビューワー設定の概要</b>	
	ビューワーが起動したら...	44
	[各種設定]画面にアクセスする	45
	システム設定手順	46
	[各種設定]画面	48
	[各種設定]画面について	48
	[各種設定]画面を選択する	48
<b>第 5 章</b>	<b>録画サーバーとカメラサーバーの登録</b>	
	[カメラ登録]画面	52
	[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面について	52
	[録画サーバー]と[ロケーション/ゾーン]のオプション	53
	両方のタブに含まれるその他の機能	53
	ロケーションとゾーン	54
	ロケーションとゾーンについて	54
	カメラ登録の設定	56
	[カメラ登録] - [録画サーバーの追加、編集と削除]	56
	[カメラ登録] - [ロケーションとゾーンの追加、編集と削除]	58
	[カメラ登録] - [カメラサーバー検索]	60
	[カメラ登録] - [カメラサーバー追加]	61
	[カメラサーバー追加]ダイアログを使用する	62
	[カメラサーバー追加]ダイアログについて	62
	カメラの位置と録画映像の設定	62
	[カメラサーバー追加] - 接続の詳細設定	63
	[カメラ登録] - カメラサーバーの設定を編集する	65
	カメラサーバーの編集と削除	68
	[カメラ登録] - [カメラサーバー編集]	68
	[カメラ登録] - [カメラサーバー削除]	69
	設定に関する変更内容を保存する	70
	[カメラ登録] - 設定操作が終わったら...	70
<b>第 6 章</b>	<b>録画スケジュールの設定</b>	※ ビューワー単独でご使用の場合は、お読みいただく必要はありません。
	録画設定の流れ	72
	録画設定の基本設定	72
	録画設定の基本設定の流れ	73
	週間スケジュールを設定する	75
	[録画スケジュール]画面について - [週間録画]	75
	[録画スケジュール]の作成、編集、削除	77
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - [スケジュール]	79
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - [録画設定]	80
	動き検知録画とセンサー録画の設定	84
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - 動き検知とセンサーの設定	84
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - 動き検知設定の編集	85
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - センサー設定の編集	91



	プリセット巡回の設定 .....	96
	[録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - プリセット巡回の設定 .....	96
	週間スケジュールの変更内容を保存する .....	100
	[週間スケジュール]設定が終わったら... ..	100
	録画設定サマリーを表示する .....	101
	特定日の録画を設定する .....	103
	特定日の録画について .....	103
	特定スケジュールを追加、編集、削除する .....	105
	日付を追加、削除する .....	107
	特定スケジュールの変更内容を保存する .....	109
	特定スケジュールの設定が終わったら... ..	109
	録画設定サマリーを表示する .....	110
	録画状況を確認する .....	112
	録画状況の確認 .....	112
第 7 章	ビューワーの設定をする	
	ビューワーの設定をする .....	116
	[ビューワー設定]画面について .....	116
	[ビューワー設定]画面 - 映像ウィンドウのタイトルバーに大きな文字を 使用する .....	118
	[ビューワー設定]画面 - マスター録画サーバーを確認する .....	118
	[ビューワー設定]画面 - プロキシサーバーの設定をする .....	118
	[ビューワー設定]画面 - ビューワー画面のレイアウトを設定する .....	118
	[ビューワー設定]画面 - 音声送受信の終了方法を設定する .....	119
	[ビューワー設定]画面 - フォーカス操作を設定する .....	119
	[ビューワー設定]画面 - イベント通知を設定する .....	120
	ビューワーの設定を保存する .....	121
	[ビューワー設定]が終わったら... ..	121
第 8 章	レイアウト作成と編集・保存する	
	レイアウトを管理する .....	124
	レイアウトメニューについて .....	124
	レイアウトとオートスイッチを管理する .....	126
	レイアウトまたはオートスイッチを保存する .....	128
	オートスイッチの作成 .....	129
	配置オプションに関する操作 .....	131
	[グリッドを使用する]を選択する .....	132
	カスタムグリッドに関する操作 .....	135
	タスクエリアの表示と非表示 .....	136
索引	.....	137







# 概要

● VK-64/VK-16は、ネットワークカメラサーバー VB150やネットワークカメラVB-C300/VB-C50i/VB-C50iR/VB-C50FSi/VB-C50Fi/VB-C10/VB-C10R（以下、本書では「カメラサーバー」と略します）から配信される映像の表示と録画を行うためのソフトウェアです。LANなどのIPネットワークを介して、カメラサーバーを最大64台サポートすることができます。また、VK-16はVK-64と基本機能は同じですが、カメラサーバーの登録台数が最大16台となります。

	録画サーバー	ビューワー
VK-64	カメラサーバー登録最大：64台	共通
VK-16	カメラサーバー登録最大：16台 その他の機能はすべてVK-64と同一	

● VK-64/VK-16は、録画サーバーとビューワーの2つから構成されるソフトウェアです。録画サーバーは、複数のカメラサーバーからの映像を録画したり、イベント（センサー入力や動き検知）情報を記録することができます。ビューワーは、複数のカメラサーバーからの映像をライブ表示したり、録画サーバーに保存された録画映像を再生することができます。

● 録画サーバーに接続せず、ビューワー単独で使用することもできます（録画、センサー入力や動き検知、スナップショットなどが利用できません）（→ P.18、P.42）。

● 映像サイズは最大640×480、フレームレートは最大30フレーム/秒です（ご使用のカメラサーバーによって異なります）。

● 製品の種類と各々のライセンス数は以下の通りです。

製品名称	録画サーバー	ビューワー
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v1.4	1 ライセンス	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-16 v1.4※	1 ライセンス	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v1.4 ビューワー	—	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v1.4 5ビューワー	—	5 ライセンス

※VK-16の録画サーバーは、最大16台のカメラサーバーを登録することができます。ビューワーはVK-64と共通です。

※ネットワークビデオレコーダーVK-64/VK-16 v1.1、v1.2、v1.3のライセンスは、v1.4でも使用できます。

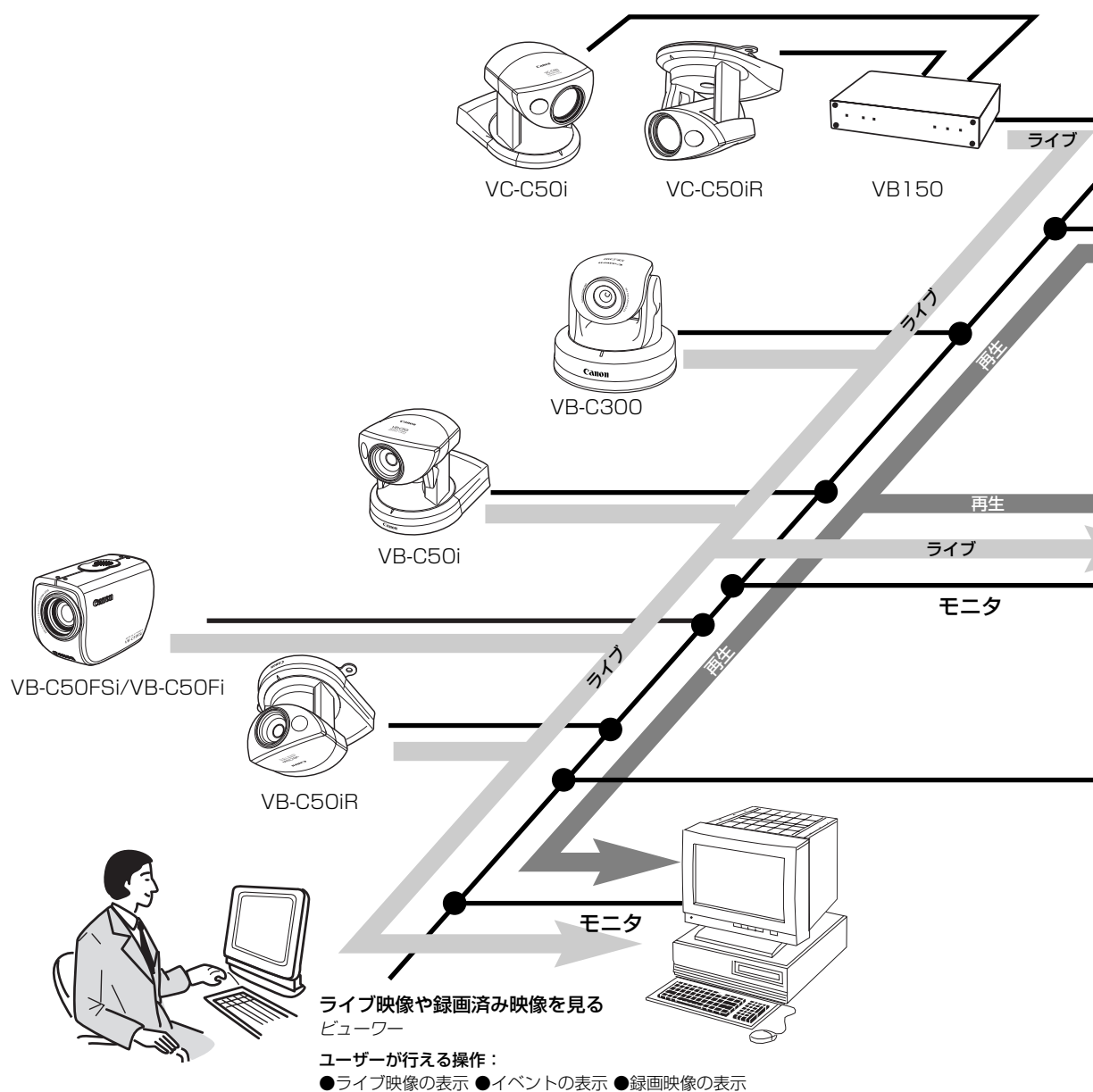




# システム構成

## 代表的なシステム構成

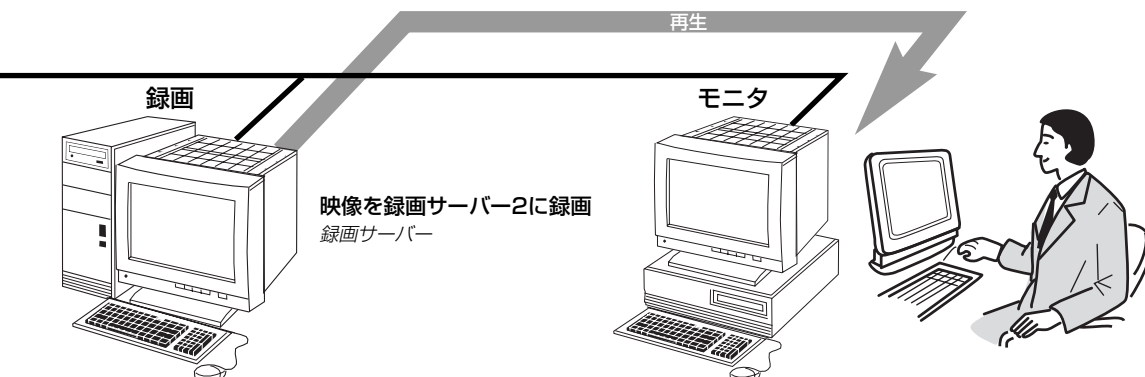
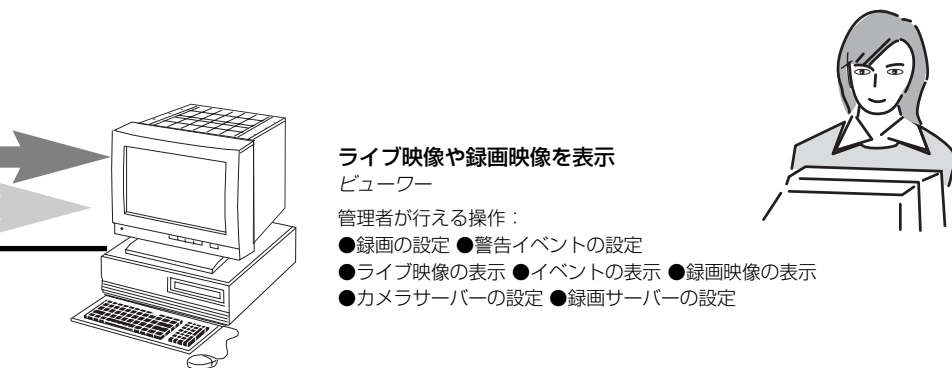
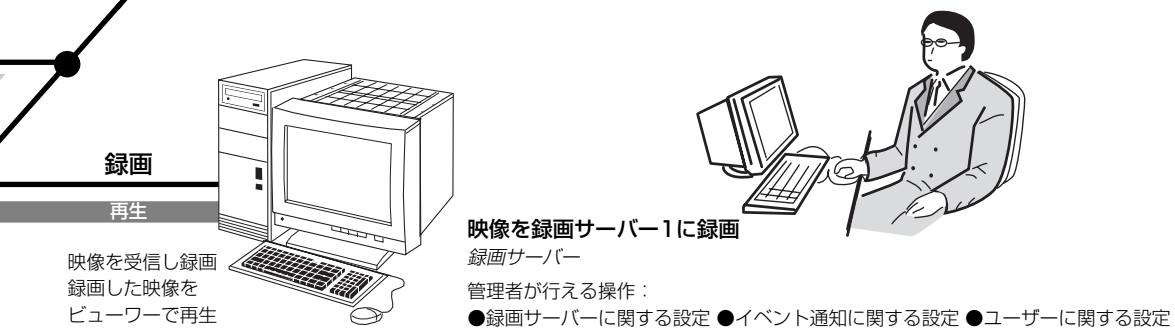
VK-64/VK-16は、LANなどのIPネットワークを介してカメラサーバーからの映像を録画することができます。IPネットワークを活用していますので、設置が容易でカメラサーバーの追加や設置場所の変更にも柔軟に対応することができます。





# ■アプリケーションのタイプと機能

アプリケーション	機 能
録画サーバー	映像やイベントなどの情報を記録保存します。
ビューワー	ユーザーは、録画サーバーで記録した情報を見たり、ライブ映像をモニタリングしたり、イベントを確認/検索することができます。管理者は、録画サーバーを設定することができます。





# セットアップの概要

録画サーバーとビューワーのインストールと設定の概要について説明します。

## 1 カメラサーバーをセットアップする

まず、カメラサーバーをセットアップします。接続に関する詳細は、カメラサーバーに付属の使用説明書を参照してください。

対応カメラサーバー (→ P.12)



VB-C50FSi



VB-C50i



VB-C300



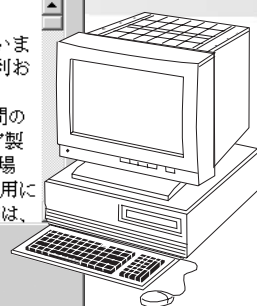
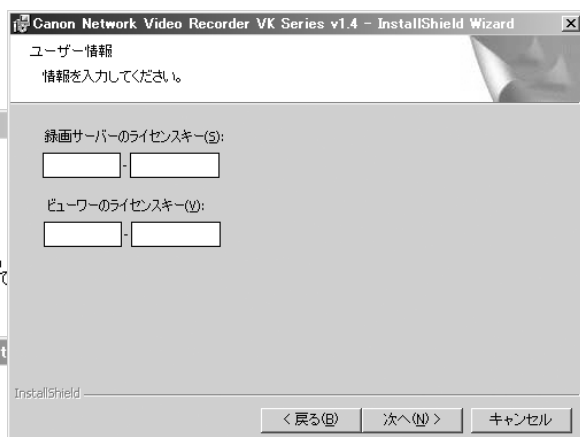
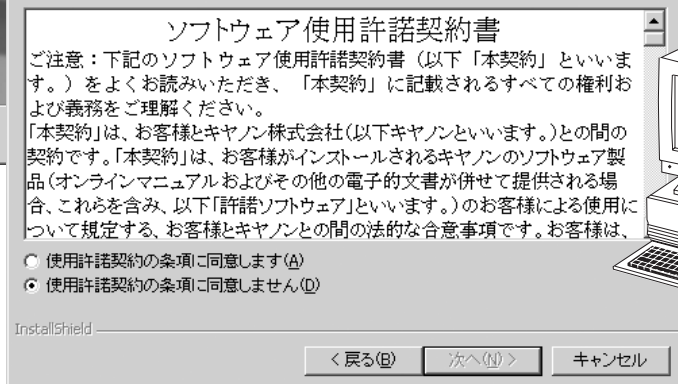
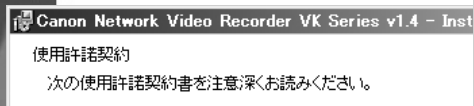
VC-C50i

VB150

## 2 録画サーバーとビューワーをインストールする

録画サーバーとビューワーを1つのPCにインストールすることもできます。また、ネットワーク上の他のPCにビューワーをインストールし、ネットワーク経由で録画サーバーの録画映像にアクセスすることもできます。

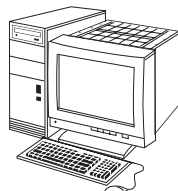
**[録画サーバー設定]** ダイアログでは、録画サーバーに関する設定、ユーザーへのイベント通知やユーザー権限に関する設定を行えます。





## 4 ビューワーのレイアウトの作成と保存

ライブ映像のモニタリングや、録画済みイベントの再生はビューワーで行います。ビューワーでは、映像表示エリアをカスタマイズしたりレイアウトを保存することができます。



録画済み映像

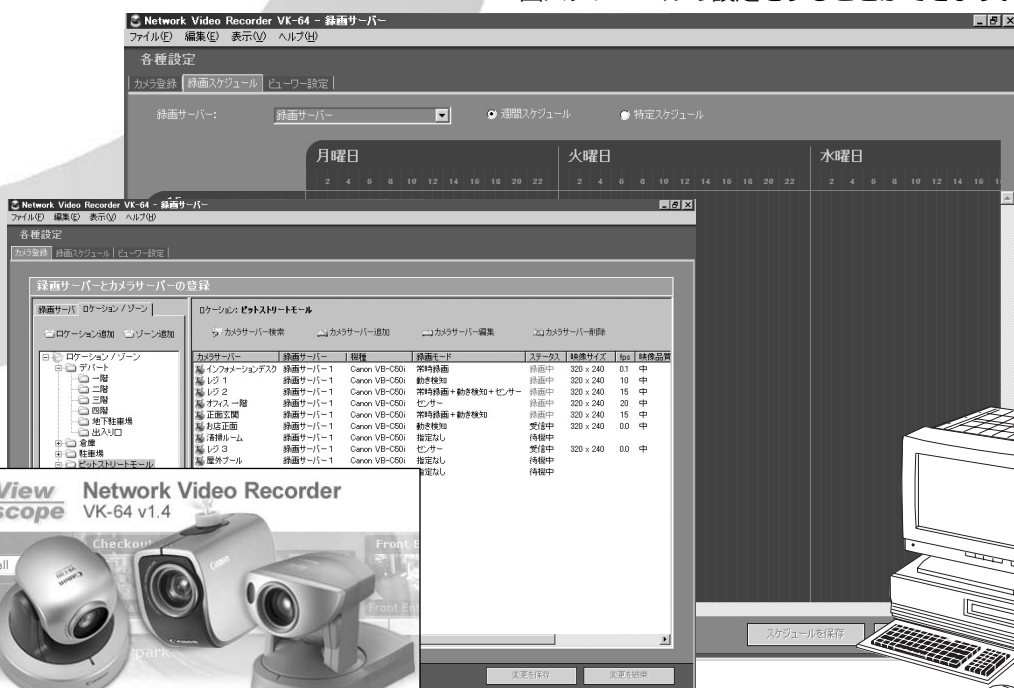


カメラサーバーからのライブ映像



## 3 録画設定を行う

カメラサーバーと録画サーバーの登録と、録画スケジュールの設定をすることができます。





# 対応カメラサーバー

ご使用いただけるカメラサーバーの一覧表です。

本情報は、2007年11月時点のものです。最新の情報は、ホームページをご確認ください。

製品紹介ホームページ：[canon.jp/webview](http://canon.jp/webview)

カメラサーバー	ファームウェアのバージョン
VB-C300 	Ver. 1.0
VB-C50i  VB-C50iR 	Ver. 1.1 Rev. 33 以降 または Ver. 1.2 Rev. 77 以降
VB-C50FSi 	Ver. 1.0 Rev. 77 以降
VB-C50Fi 	Ver. 1.0 Rev. 77 以降
VB-C10  VB-C10R 	Ver. 1.0 Rev. 26 以降
VB150 	Ver. 1.1 Rev. 41 以降



お願い

- VB150に複数のカメラサーバーを接続した場合は、フレームレートに制限があります。  
VB150の使用説明書（→ P.36）を参照してください。
- VB150で「同時モード」で使用する場合は、Ver1.1 Rev.41以降にアップグレードしてください。

**ファームウェアをアップグレードしてください。**

ファームウェアは、以下のホームページから無償配布されています。

製品紹介ホームページ：[canon.jp/webview](http://canon.jp/webview)



# 動作環境

本情報は、2007年11月時点のものです。最新の情報は、ホームページをご確認ください。  
製品紹介ホームページ：[canon.jp/webview](http://canon.jp/webview)

## ビューワー

	最小構成
CPU	Pentium 4 2.2GHz以上
オペレーティングシステム	Windows 2000 Server (SP4) Windows 2000 Professional (SP4) Windows XP Professional (SP2) Windows Server 2003 Standard Edition (SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2) Windows Vista Business / Enterprise / Ultimate
メモリ	1GB以上
ハードディスク	2GB以上
ディスプレイ	有効表示領域のサイズが、1024×768以上の解像度 16ビットカラー以上のディスプレイ なるべく高性能ビデオカードをご使用ください。PCIビデオカードをご使用の場合、ディスプレイの性能が低下することがあります。
音声	イベント通知の警告音を有効にする（→ P.120）ためには、音声サポート機能が必要です。

※Windows XP ProfessionalでSP2をご使用の場合、またはWindows Server 2003をご使用の場合には、「システム管理者マニュアル」をご確認ください。

※Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaは、32-bit Editionのみに対応しています。

## 録画サーバー

	最小構成
CPU	Pentium 4 2.2GHz以上
オペレーティングシステム	Windows 2000 Server (SP4) Windows 2000 Professional (SP4) Windows XP Professional (SP2) Windows Server 2003 Standard Edition (SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2) Windows Vista Business / Enterprise / Ultimate
メモリ	1GB以上 48台以上のカメラサーバーをご使用の場合は、1.5GB以上をお勧めします。
ハードディスク	20GB以上（SCSIかIDEインターフェース、NTFSフォーマット）

※ご使用いただく環境（カメラサーバーの台数、録画フレームレートの設定など）により、録画サーバーの条件は異なります。また、イベント前の録画設定の影響も受けます。詳しくはキヤノン製品取扱販売店または、キヤノンマーケティングジャパン株式会社までお問い合わせください。Windows XP ProfessionalでSP2をご使用の場合、またはWindows Server 2003をご使用の場合には、「システム管理者マニュアル」をご確認ください。

※Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaは、32-bit Editionのみに対応しています。



# 運用開始前のお願い<重要>

運用を始める前に実際の環境下で、必ず運用テストを行ってください。



- ネットワーク環境やPCの性能によっては、設定した通りの録画やライブ映像の表示が行えない場合があります。
- ご使用のPCのCPU負荷やディスク負荷が高くなると、指定通りのフレームレートが出なかったり、録画が一時停止したり、ビューワーの操作に時間がかかることがあります。また、ディスクの空き容量が少なくなると、録画した映像ファイルの削除によって、ディスクの負荷が高くなり、録画を一時停止することがあります。
- ウイルス対策ソフトやファイアウォールソフトなどをご使用の場合、録画サーバーやビューワーの動作や性能に影響が出る場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合には（→ P.25、P.40）  
プロキシサーバーをご使用の場合には、設定した通りの録画フレームレートで録画できなかったり、ライブ映像の表示が切断されることがあります。また、録画サーバーとビューワー間の通信が切断されることがあります。
- Windows XP SP2およびWindows Server 2003をご使用の場合は、Windowsの設定変更が必要です。必ず設定を行ってください。「システム管理者マニュアル」を参照してください。
- NASサーバーへの録画を行う場合は、カメラサーバーとの通信用のネットワークとNASとの通信用のネットワークを分離することをお勧めします。詳細は、「システム管理者マニュアル」を参照してください。
- NASサーバーは、Windows2000をお使いの場合ご利用になれません。
- NASサーバーには、Windows Storage Server 2003またはWindows Storage Server 2003 R2を搭載した推奨機種をご使用ください。
- VB-C300/VB-C50i/VB-C50iR/VB-C50FSiの音声機能をご使用いただくこともできます。
  - VKビューワーで音声の送受信をすることができます。
  - 音声の録音はできません。
  - 映像と音声は、ずれることがあります。
  - ご使用のPCの性能やネットワーク環境によっては、音声途切れることがあります。
  - プロキシサーバーを経由する場合は、ご使用になれません。
  - ウイルス対策ソフトをご使用の場合、音声途切れることがあります。



# 第 1 章

## インストール

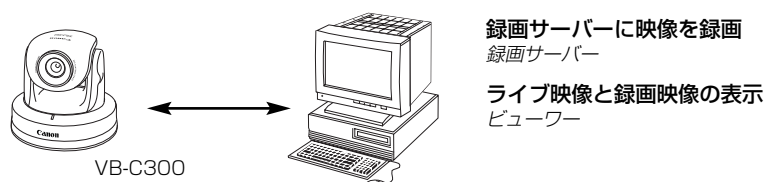
この章では、録画サーバーとビューワーのインストールについての概要を説明します。



# インストールを始める前に...

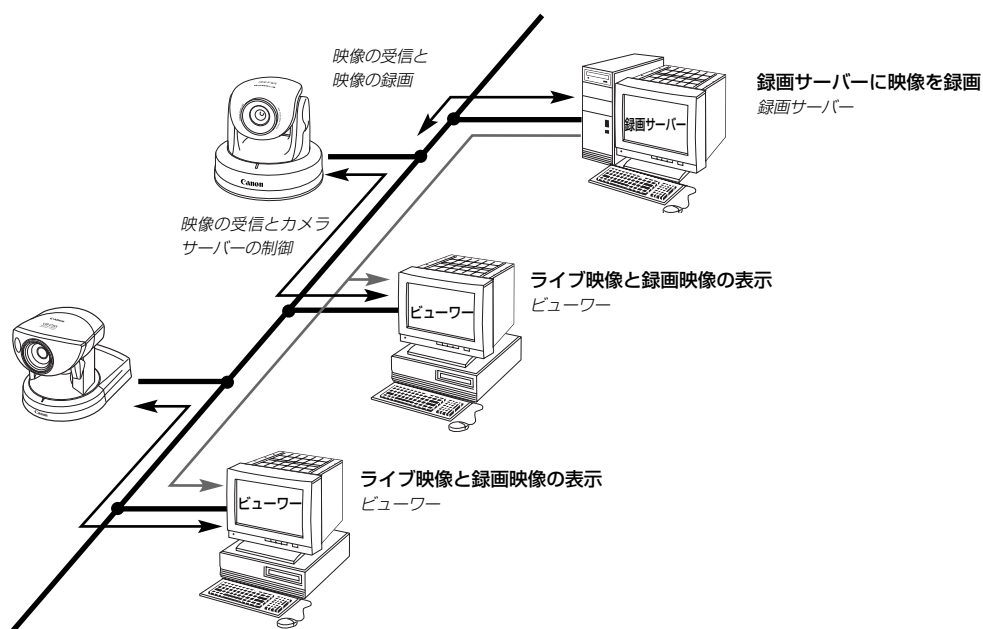
## システム構成例

### 1台のPCで表示と録画を行う場合



カメラサーバーの台数や録画スケジュールによっては、PCへの負荷が高くなる場合があります。

### 1台の録画サーバーと複数のビューワーで表示と録画を行う場合



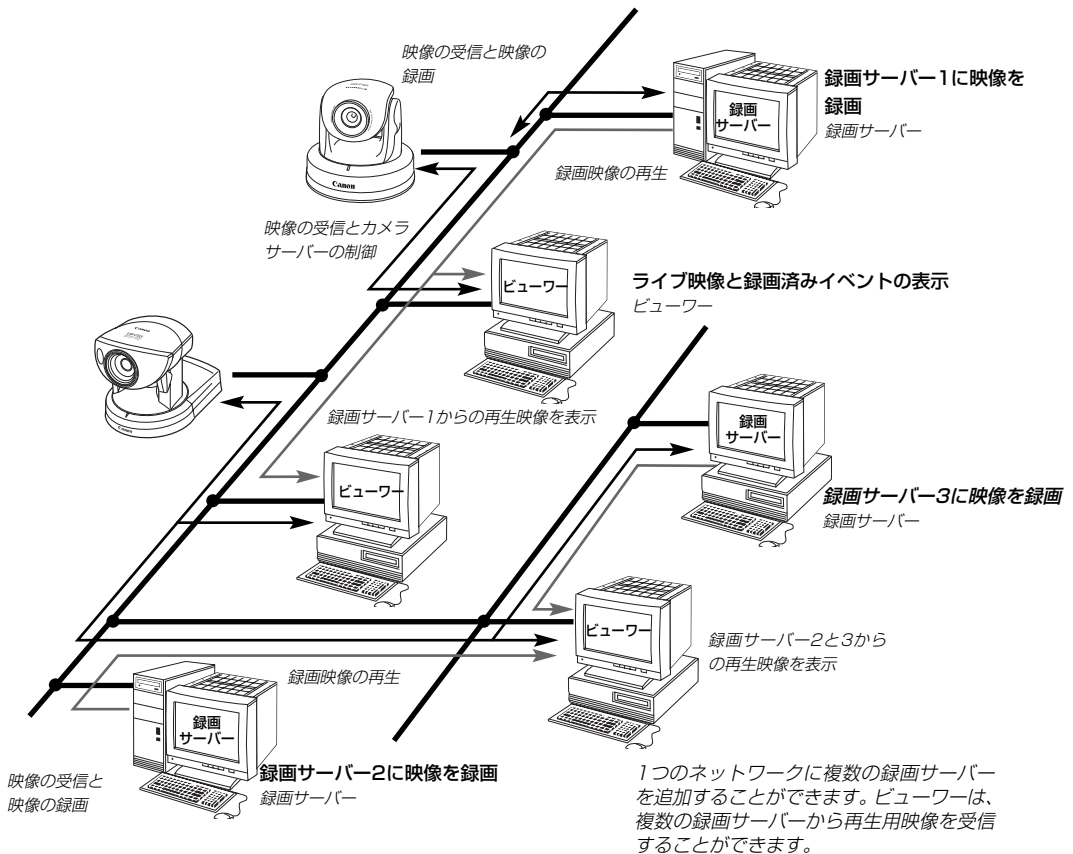
お願い

- 1つのカメラサーバーや録画サーバーに対してたくさんのビューワーがアクセスを行うと、システムのパフォーマンスに影響を及ぼします。
- 1台のPCに録画サーバーとビューワーをインストールした場合はカメラサーバーの台数や録画スケジュールによっては高負荷になる場合があります。カメラサーバーの台数が多い場合には、別々のPCにインストールしてご利用ください。また、性能の低いPCでは処理に時間がかかり、設定したフレームレートが出なかったり、録画のフレームレートの低下や録画の一時停止がおきることがあります。



## 複数の録画サーバーと複数のビューワーを使用する場合

1つのネットワーク上で複数の録画サーバーを使用することができ、複数の録画サーバーからの映像を再生するようにビューワーを設定することができます。個々のビューワーに対して、カメラサーバーのゾーン・ロケーションやサーバーが作成したレイアウトなどの情報を保存するために、マスター録画サーバー（→ P.18）を決める必要があります。



お願い

- 録画サーバーは最大10台で運用することができます。VK-64とVK-16の録画サーバーは組み合わせて運用することができます。ただし、運用できるカメラサーバーは最大192台です。
- ビューワーは録画サーバーに最大10クライアントまで同時に接続できます。
- 録画サーバーやビューワーを複数台のPCにインストールする場合は、別途必要な製品（ライセンス）をお買い求めください（→ P.7）。

## カメラサーバーをセットアップする

1

まず、カメラサーバーのファームウェアが、P.12の表で要求されているバージョン以降のものであることを確認してください。



2

カメラサーバーが正しくインストールされ、初期設定（ネットワークの設定）が済んでいることを確認してください。次に、ネットワークに接続します。

カメラサーバーとカメラのインストールおよびセットアップの手順については、カメラサーバーまたはカメラに付属の使用説明書を参照してください。

### マスター録画サーバーとは

マスター録画サーバーは、ビューワーが最初に接続する録画サーバーです。マスター録画サーバーには、カメラサーバー、ロケーションやゾーン、ビューワーレイアウトに関する情報が保存されています。ビューワーはマスター録画サーバーからこれらの情報を取り出します。

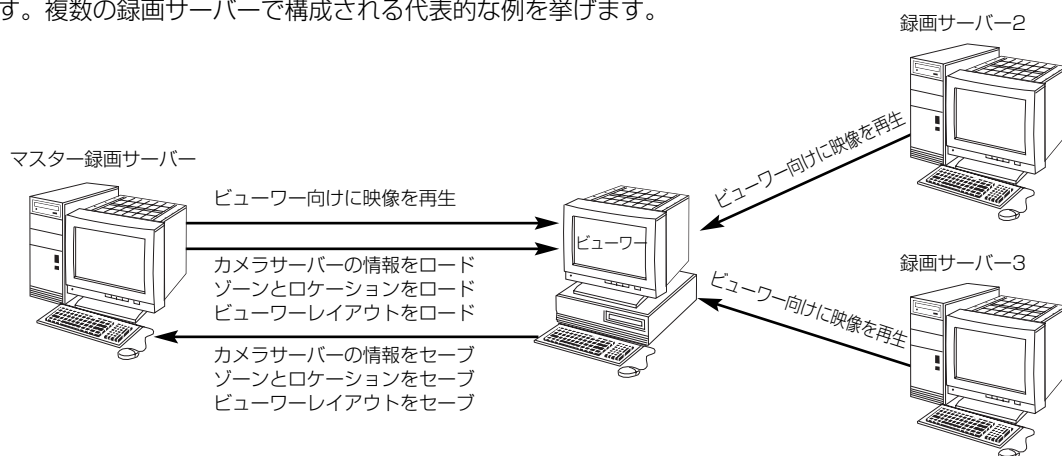


お願い

- システム内のすべてのビューワーで、同じ録画サーバーをマスター録画サーバーとして使用することをお勧めします。そうすると、すべてのビューワーで同じゾーン、ロケーション、ビューワーレイアウトを使用することができます。
- 録画サーバーやビューワーをインストールしたPCは、定期的に正しい時刻設定で運用されていることを確認してください。NTP機能を利用した時刻の自動設定を行うことをお勧めします。
- 録画中に録画サーバーの時刻を変更すると、正しく録画されないことがあります。

### 複数の録画サーバーを使用する

複数の録画サーバーを使用する場合は、どれをマスター録画サーバーにするか決める必要があります。複数の録画サーバーで構成される代表的な例を挙げます。



お願い

複数の録画サーバーを運用している場合に、マスター録画サーバー以外の録画サーバーが停止していると、各種設定画面の表示に時間がかかります（最大で約30秒）。

### ビューワー単独モードで使用する

録画サーバーに接続せずビューワー単独で 사용할 こともできます。録画、センサー入力や動き検知、イベントの検索などが利用できないなど、機能に制限がありますが（→ P.42）、ライブ映像によるモニタリングが可能です。



# インストール手順

## 1

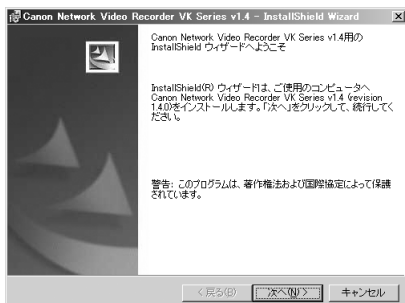
## インストール



お願い

VK-64/VK-16は製品ごとにインストールできるライセンスの種類と数が決まっています。録画サーバーやビューワーを追加したい場合は、別途、必要な製品をお買い求めください(→ P.7)。

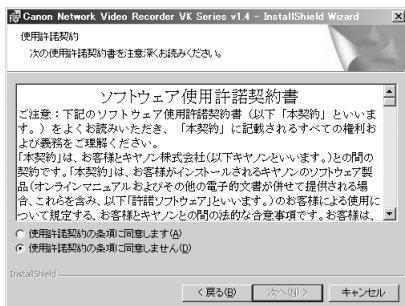
## インストーラーを起動する



1

インストール用ディスクをCDドライブに入れます。しばらくすると、[ようこそ]画面が表示されます。[次へ]をクリックして先に進みます。

インストーラーが自動的に起動しない場合は、エクスプローラーでCDのディレクトリを開き、“Setup.exe”を探してダブルクリックすると、インストールが開始されます。



2

[ソフトウェア使用許諾契約書]画面が表示されますので、説明をよく読んでください。



3

ライセンスキーを入力して、[次へ]をクリックします。ライセンスキーは、パッケージに同梱されている「ライセンスキーについて」をご確認ください。



ヒント

録画サーバーのみをインストールする場合は、録画サーバーのライセンスキーのみ入力してください。ビューワーのみをインストールする場合は、ビューワーのライセンスキーのみ入力してください。



## インストール手順



4

入力したライセンスキーによって、以下のアプリケーションの片方、または両方が表示されます。

- ビューワー
- 録画サーバー

インストール先ディレクトリは、変更しないことをお勧めします。必要であれば[変更...]をクリックして、インストール先ディレクトリを選択してください。

[次へ]をクリックして先に進みます。[ヘルプ]、[ディスク]については「ヒント」を参照してください。



ヒント

- [ヘルプ]をクリックすると、インストール形式に関する詳細が表示されます。インストール形式は、アプリケーションをインストールした後にアイコンで表示されます。ここでは、カスタムインストールを設定しています。
  - [ディスク]をクリックすると、ドライブのリストが表示され、VK-64/VK-16のインストールに必要なディスクの空き容量が表示されます。
- どちらのダイアログでも、[OK]ボタンをクリックすると、元のインストール手順に戻ります。

インストール処理が進められ、進捗状況表示バーが表示されます。



5

[InstallShieldの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

以上で、インストールは完了です。



お願い

- インストールした製品の種類は、録画サーバーとビューワの[バージョン情報]ダイアログ (→ P.25) に表示されるライセンスキー (前半・上6桁) をご確認ください。
- インストールが完了すると、録画サーバーは自動的に起動します。



## バージョン 1.0、1.1、1.2、1.3 からのアップグレード

旧バージョンからアップグレードする場合は、設定情報が引き継がれます。以前のバージョンで録画したデータをバージョン1.4で再生することもできます。アップグレード後に設定内容を確認してください。



お願い

- バージョン1.3から1.4にアップグレードした場合、NASをご使用のお客様は、再度ログオン設定を行ってください。
- バージョン1.4のビューワーは、バージョン1.2、1.3の録画サーバーに接続することができます。ただし、バージョン1.2の録画サーバーに接続する場合、バージョン1.2で対応していない録画機能（プリセット巡回など）を設定することはできません。
- バージョン1.4、1.3、1.2の録画サーバーが混在する場合、いずれのバージョンもマスター録画サーバーとすることができます。
- バージョン1.4のビューワーは、バージョン1.0、1.1の録画サーバーには接続できません。
- 旧バージョンのビューワーは、バージョン1.4の録画サーバーには接続できません。
- バージョン1.0、1.1、1.2の録画サーバーには、VB-C300は登録できません。
- 1.1.2.27以前のバージョンからアップグレードを行う場合は、動き検知の設定（→ P.85）を再度行ってください。ご使用のバージョンは、録画サーバーとビューワーの[バージョン情報]ダイアログ（→ P.25）で確認することができます。







# 第 2 章

## 録画サーバーの設定

この章では、管理者が必要に応じて、録画サーバーを起動したり停止する方法について説明します。

また、録画サーバー用にカメラサーバープロキシを設定する方法、  
ディスク使用量を設定する方法、イベント通知とユーザーを設定する方法も説明します。

ビューワー単独でご使用の場合は、  
本章をお読みいただく必要はありません。

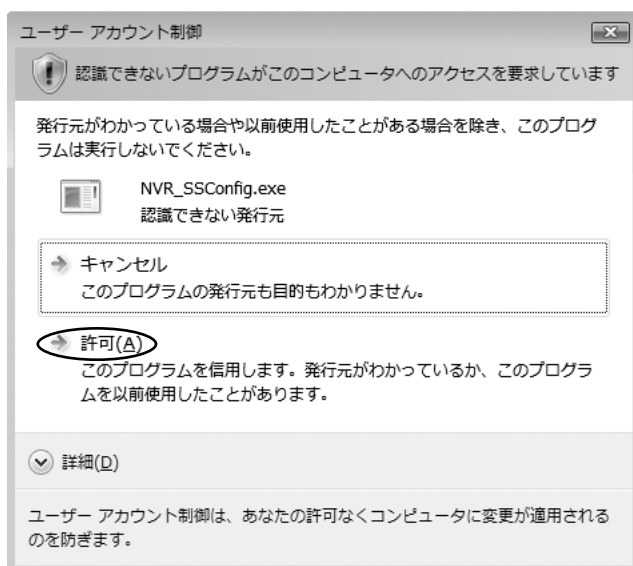


# 録画サーバーの設定



デスクトップアイコン[録画サーバー設定]をダブルクリックします。  
あるいはWindowsの[スタート]メニューから、**プログラム > WebView Livescope > Network Video Recorder VK Series v1.4 > 録画サーバー設定**をクリックします。

Windows Vistaでユーザーアカウント制御が有効になっている場合は、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。



この場合は、**[許可]**をクリックします。

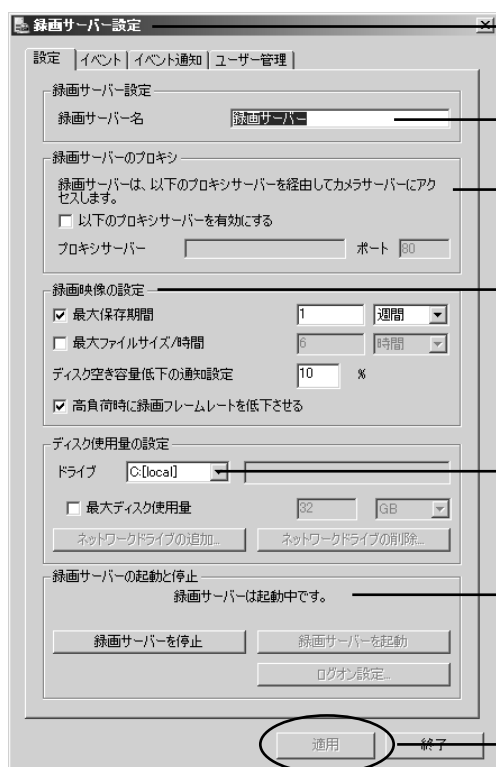
録画サーバーの設定を行うには、Windowsの管理者（Administrator）権限を持ったユーザーでログインする必要があります。



## 録画サーバーの設定

[録画サーバー設定]ダイアログの[設定]タブでは、次の項目を設定することができます。

●録画サーバー名 ●プロキシサーバー ●録画オプション



タイトルバーのアイコンをクリックして表示されるメニューで[バージョン情報]を選択するか、タイトルバーを右クリックすると、録画サーバーの[バージョン情報]ダイアログが表示されます。

録画サーバー名を入力します。

カメラサーバー接続のためのプロキシアドレスを入力します。

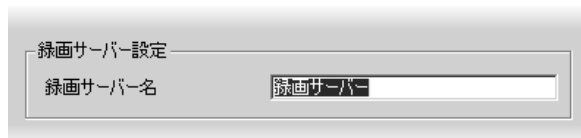
録画ファイル保存期間、最大ファイルサイズ/時間、残りディスク容量通知レベルを設定します。

各ディスクの最大ディスク使用量を設定します。また、ネットワークドライブの追加と削除を行います。

録画サーバーの状態が表示されます。[録画サーバーを停止]、[録画サーバーを起動]ボタンで、録画サーバーを停止、起動します。

各タブで設定の変更を完了したら、[適用]をクリックして保存します。

### 録画サーバー名を変更する



録画サーバー名を変更するには、[録画サーバー名]に名前を入力してください(全角・半角あわせて20文字まで)。

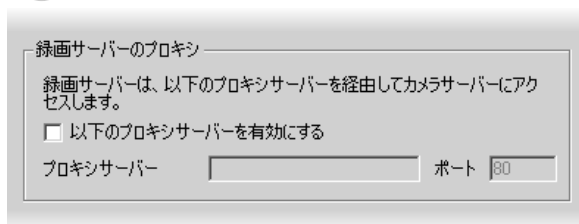


ヒント

複数の録画サーバーをご使用の場合は、[録画サーバー名]をわかりやすい名前にすることをお勧めします。



### 録画サーバーのプロキシアドレスを入力する



録画サーバーのプロキシ

録画サーバーは、以下のプロキシサーバーを経由してカメラサーバーにアクセスします。

☐ 以下のプロキシサーバーを有効にする

プロキシサーバー  ポート

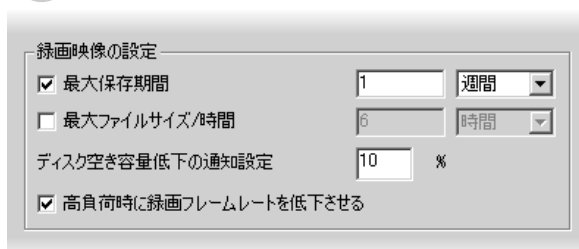
録画サーバーがプロキシを経由してカメラサーバーにアクセスする場合は、以下の設定を行う必要があります。

※「プロキシサーバーをご使用の場合には」(→ P.14)をご確認ください。

- 1 **【録画サーバーのプロキシ】の【以下のプロキシサーバーを有効にする】**をチェックします。
- 2 **【プロキシサーバー】のアドレスと【ポート】**を入力します。

プロキシサーバーの使用については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 録画映像に関する設定値を入力する



録画映像の設定

☒ 最大保存期間

☐ 最大ファイルサイズ/時間

ディスク空き容量低下の通知設定  %

☒ 高負荷時に録画フレームレートを低下させる

- 1 **【最大保存期間】** - 最大保存期間を指定するには**【最大保存期間】**をチェック後、1から999の値を入力して、ドロップダウンメニューから**【日間】**または**【週間】**を選択します。
- 2 **【最大ファイルサイズ/時間】** - 最大ファイルサイズ/時間を指定するには**【最大ファイルサイズ/時間】**をチェック後、“100MB”、“24時間”のように、数値を入力して、**【MB】**または**【時間】**を選択します。**【MB】**は32～1024、**【時間】**は1～24の範囲で設定します。これによって、録画映像のファイルごとに使われる最大ファイルサイズが決まります。指定しない場合は1024MBもしくは24時間が最大ファイルサイズになります。

- 3 **【ディスク空き容量低下の通知設定】** - パーセント値を入力します。  
ディスクの空き容量がここで設定した値以下になると、メール通知(→ P.32)が行われます。
- 4 **【高負荷時に録画フレームレートを低下させる】** - ディスクが高負荷となった時に、フレームレートを一時的に低下させて録画停止が発生しないようにします。詳細は「システム管理者マニュアル」を参照してください。



ヒント

【高負荷時に録画フレームレートを低下させる】にチェックすると、「実効録画レート(<変更前録画率> → <変更後録画率> %)」というイベントが通知されます。  
例. 「実効録画レート(100.0 → 90.0 %)」



## ディスクドライブの設定を選択する



**1** **【ドライブ】** - 設定するディスクドライブを、ドロップダウンメニューから選択します。

**2** **【最大ディスク使用量】**をチェック後、“50 GB”のようにメガバイト(MB)またはギガバイト(GB)単位で値を入力します。

この値により、すべての映像ファイルに使用可能な最大ディスク使用量が設定されます。

**3** **【ネットワークドライブの追加】** - ディスクドライブとしてネットワーク上のドライブを選択する場合に、ネットワークドライブを追加します。追加したネットワークドライブは、**【ドライブ】**のドロップダウンメニューに表示されます。

**4** **【ネットワークドライブの削除】** - 追加したネットワークドライブを削除します。

## ネットワークドライブの追加/削除の方法

ネットワークドライブの追加を行うことで、録画データを内蔵ハードディスクだけでなく、ネットワーク上に接続されたNASなどに保存することが可能になります。

ネットワークドライブを録画サーバー設定ツールで追加すると、ビューワーの**【カメラサーバー追加/編集】**ダイアログ (→ P.62) 上のプルダウンメニューによるドライブの選択が増えます。

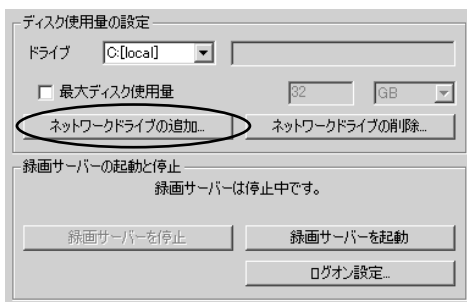


- NASサーバーは、Windows2000をお使いの場合ご利用になれません。
- NASサーバーには、Windows Storage Server 2003またはWindows Storage Server 2003 R2を搭載した推奨機種をご使用ください。



録画サーバーが**【ローカル システム アカウント】**で動作している場合は、**【ネットワークドライブの追加】**ボタンと**【ネットワークドライブの削除】**ボタンは無効表示となります。

## ネットワークドライブの追加方法



**1** **【ネットワークドライブの追加】**ボタンをクリックします。



## 録画サーバーの設定



2

ダイアログが表示されるため、ネットワークドライブとして登録するドライブを選択し、割り当てるパスを入力します。

またはフォルダを参照しパスを自動的に入力することもできます。

### フォルダを[参照]から選択する場合



[参照] ボタンをクリックし、続いて表示される [フォルダの参照] ダイアログから録画データ保存先のフォルダを指定して [OK] ボタンをクリックすると、自動的にフォルダの入力欄に選択したパスが入力されます。

3

ユーザー名とパスワードの欄にネットワークドライブにアクセスするための、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー名とパスワードは、[ローカル システム アカウント] のログオン [ユーザー名] と [パスワード] とは区別して入力ください。

ドライブのプルダウンメニューに、追加したドライブが表示されていれば、正常に追加できたことを確認できます。

### ネットワークドライブの削除方法



削除するドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックすると選択されたドライブは、録画サーバーから削除されます。



お願い

- ネットワークドライブについて  
VK-64/VK-16では、ネットワーク上のドライブにも録画することができます。ドライブの種別は、[ドライブ] のドロップダウンメニューの先頭（ドライブ名の前）に、内蔵ディスク：[local]、ネットワークドライブ：[network] と表示されます。
- 映像録画の運用について  
[最大ディスク使用量] で設定した値が不足している場合は、指定した録画の保存期間が短くなったり、録画を一時停止することがあります。十分なテストを行った上で、運用を開始してください。
- 録画サーバーのディスク容量の管理については、「システム管理者マニュアル」をご確認ください。

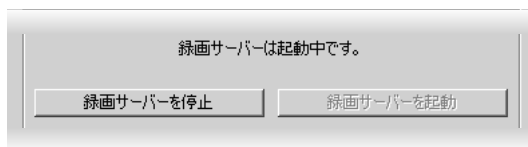




お願い

- Windowsの仕様により、通常のサービス管理用の[ローカル システム アカウント]ではネットワークドライブを追加することができません。[ローカル システム アカウント]を使用している場合は、[ネットワークドライブの追加]、[ネットワークドライブの削除]が無効表示となります。ネットワークドライブの設定を行うためには、録画サーバーを停止後、[ログオン設定]を使用して、ネットワークドライブが使用可能なアカウント（Windowsの「管理者権限(Administrator)」と「サービスとしてログオン」権限をもつアカウント）に変更してください。「サービスとしてログオン」権限については、P.31を参照してください。
- ネットワークドライブ追加機能は、UNCパス、リムーバブルディスクには対応していません。
- ネットワークドライブの追加、削除をした場合は、録画サーバープログラムが再起動されます。
- 1つのネットワークドライブを複数の録画サーバーで使用することはできません。
- 1つのネットワークドライブを複数のドライブに割り当てることはできません。
- ネットワークドライブを削除しても、内部的な情報（サムネイル/ロケーション/ゾーン/録画スケジュール）は失われないため、再度同じネットワークドライブを追加した場合は、削除前の状態に復旧することができます。
- ネットワーク切断や電源OFFによりドライブにアクセスできなかった場合、また、正しいパスを入力していない場合、以下のエラーメッセージが表示されます。  
「ネットワークパスが見つかりません。」
- ネットワークの切断等で、ネットワークドライブが機能しない場合、その間の映像は録画されません。
- NASサーバーに接続不可の状態では録画サーバーを起動すると、その後、NASサーバーが復帰しても録画データの読み書き処理は復帰しません。その場合は、録画サーバーを再起動してください。

## 録画サーバープログラムを起動/停止する



録画サーバーを停止するには、[録画サーバーを停止]をクリックします。

録画サーバーを起動する場合には、[録画サーバーを起動]をクリックします。



ヒント

録画サーバープログラムを停止する場合には、停止操作を行う前に録画サーバーに接続している全てのユーザーに連絡する必要があります。

## ログオン設定を変更する



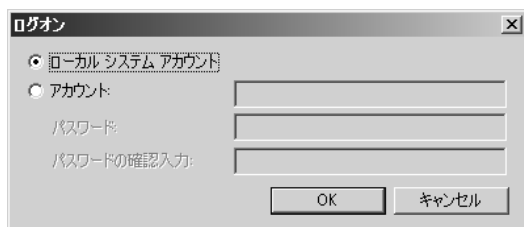
1

ネットワークドライブを使用するときに他のアカウントで録画サーバーにログオンする必要がある場合は、[録画サーバーを停止]をクリックします。録画サーバーを停止後、[ログオン設定]をクリックします。

[ログオン]ダイアログが表示されます。



## 録画サーバーの設定



2

録画サーバーに[ローカル システム アカウント]でログインする場合は、[ローカル システム アカウント]を選択します。その他のアカウントでログインする場合は、[アカウント]にアカウント名を、[パスワード]、[パスワードの確認入力]にパスワードを入力します。

3

[OK]ボタンをクリックします。

4

[録画サーバーを起動]をクリックして、指定したアカウントで録画サーバーを起動します。



バージョン1.3から1.4にアップグレードした場合、NASをご使用のお客様は、再度ログイン設定を行ってください。

## 表示メッセージ

### 録画設定に影響のある項目の設定変更を行った場合

[適用]または[終了]をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

「録画設定に影響のある項目が変更されました。

影響の内容を確認したい場合は、ビューワの録画スケジュール設定画面で「サマリー表示」を確認してください。」

### [最大保存期間]の設定変更を行った場合

[適用]または[終了]をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

「保存期間を変更すると録画した映像が削除される可能性があります。このまま続けてもよろしいですか？」

### ネットワークドライブの追加/削除を行った場合

録画サーバーの再起動を実行せずに[適用]または[終了]をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

「ドライブの構成が変更されたため録画サーバーの再起動が必要です。録画サーバーを再起動してよろしいですか？」

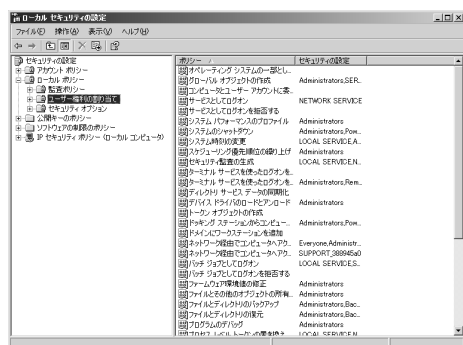


## 「サービスとしてログオン」権限

ネットワークドライブの設定を行うために、既存のWindowsアカウントに「サービスとしてログオン」権限を追加する場合は、**[ログオン設定]**を行う前に以下の操作を行ってください。

- 1 Windowsの**[スタート]**メニューから、コントロール パネル > 管理ツール > ローカル セキュリティ ポリシーをクリックします。

**[ローカル セキュリティの設定]**ダイアログが表示されます。



- 2 画面左側のツリーから、**[ローカル ポリシー]** > **[ユーザー権利の割り当て]**を選択します。

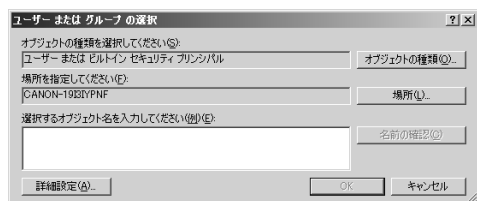
- 3 画面右側の一覧から、**[サービスとしてログオン]**をダブルクリックします。

**[サービスとしてログオンのプロパティ]**ダイアログが表示されます。



- 4 **[ユーザーまたはグループの追加]**をクリックします。

**[ユーザー または グループ の選択]**ダイアログが表示されます。



- 5 **[選択するオブジェクト名を入力してください]**欄にWindowsアカウント名を入力します。

必要に応じて、オブジェクト名、場所の変更、詳細設定を行います。

必ず管理者権限 (Administrator) を持っているWindowsアカウントを入力してください。

- 6 **[OK]**ボタンをクリックします。

**[サービスとしてログオンのプロパティ]**ダイアログに戻ります。

- 7 **[OK]**ボタンをクリックします。

**[ローカル セキュリティの設定]**ダイアログに戻ります。

- 8 **[ローカル セキュリティの設定]**ダイアログを閉じます。

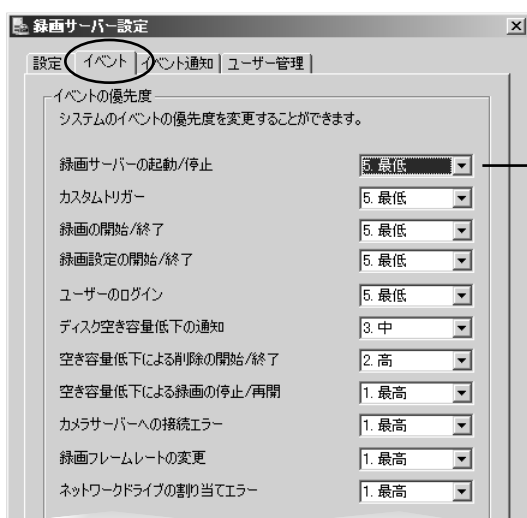


# イベントのメール通知

## イベントのメール通知を設定する

[録画サーバー設定]ダイアログの[イベント]タブおよび[イベント通知]タブでは、イベントの優先度の設定や、特定ユーザーへのメール通知を設定することができます。

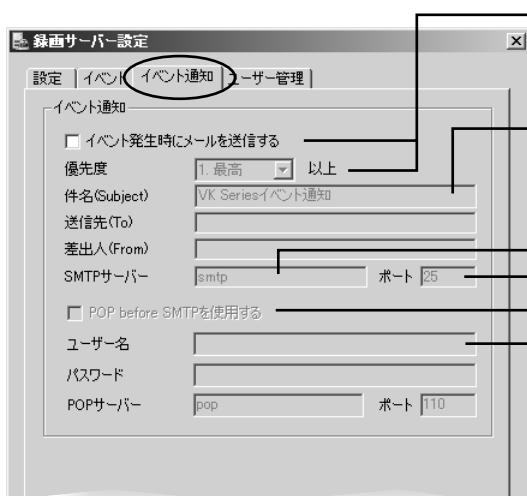
### [イベント]タブと[イベント通知]タブの設定



表示されているイベントタイプごとに、ドロップダウンメニューから適当なイベント優先度を選択します。

[今すぐ録画]で手動録画を行った場合に発生するイベントは、常に優先度が「1.最高」となります。優先度をこのダイアログから変更することはできません。

「録画サーバーの起動/停止」、「録画設定の開始/終了」、「ユーザーのログイン」で発生したイベントは、ビューワー画面のタイムラインとライブイベント表示ウィンドウ、イベント検索ダイアログには表示されません。詳細は、「ビューワーマニュアル」を参照してください。



メール通知を有効にして、優先度を選択します。この優先度以上のイベントが発生すると、メール通知が行われます。

メールの件名を入力します(例「対応が即時必要」など)。また、送信先のメールアドレスと、差出人のメールアドレスを入力します。

メールサーバーのホスト名またはIPアドレスとポート番号を入力します。

接続時の認証機能 (POP before SMTP) を有効にして、[ユーザー名]、[パスワード]、[POPサーバー]の詳細を入力します。

この機能を有効にした場合、録画サーバーは、メールを送信する前に、一部のSMTPサーバーで必要とされるPOPログインを実行します。



ヒント

送信先には1つのメールアドレスしか登録できません。複数のメールアドレスに送信する場合は、グループアドレス等を使用してください。



### イベントのメール通知の例

優先度3のイベントが、2006/12/05 15:15:17 +1000に発生しました。

駐車場カメラサーバー：センサーがon



# ユーザーの設定

## ユーザーの追加と編集をする

[録画サーバー設定]ダイアログの[ユーザー管理]タブでは、ユーザーを設定し、さらにそのユーザーの権限を設定することができます。管理者は、カメラサーバー設定、録画スケジュール、ビューワー設定を含むビューワーにアクセスすることができます。管理者以外のユーザーは、管理者が作成したビューワー画面にしかアクセスできず、また、アクセスが許可されている録画サーバーの録画済み映像にしかアクセスできません。

[ユーザー管理]タブは、次のような構成になっています。

- ユーザーリスト - 録画サーバーにアクセスできるすべてのユーザーの一覧が表示されます。
- [追加]/[編集]/[削除] - ユーザーの追加や削除・パスワードの編集を行います。

ユーザーに管理者の権限を与える場合はこのボックスをチェックします。(設定機能へのフルアクセス)

ユーザーを追加するには[追加]ボタンを使用します。追加できるユーザー数に制限はありません。

ツール起動時にユーザー認証を行う場合はこのボックスをチェックします。

[適用]をクリックして変更内容を保存します。



お願い

- 管理者以外のユーザーは、カメラサーバー設定・登録・変更、録画スケジュールの設定・変更、ビューワー画面の設定・変更を行うことはできません。
- デフォルトでは 'admin' というユーザーが作成されます。パスワードは 'NVR' です。インストール後は、ユーザー名とパスワードを変更されることを強くお勧めします。
- ユーザーの設定は、すべての録画サーバーで行う必要があります。複数の録画サーバーを運用する場合は、各録画サーバーで、同じユーザー設定（ユーザー名・パスワード）を行ってください。



## [ユーザー管理]タブ - ユーザーを追加する

新しいユーザーをシステムに追加するには、[ユーザー追加]ダイアログを使用します。ユーザーを追加するには、次のように操作します。

### ステップ1：[追加]ボタンをクリックする



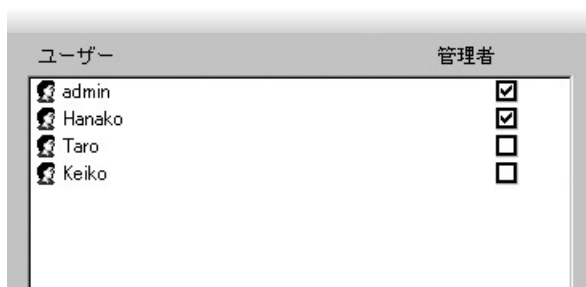
[ユーザー管理]タブの[追加]ボタンをクリックすると、[ユーザー追加]ダイアログが表示されます。

### ステップ2：ユーザーに関する詳細情報を入力する

[ユーザー追加]ダイアログで、次の詳細情報を入力します。

- 1 [ユーザー名]にユーザーの名前を入力します（半角英数およびアンダースコア「\_」20文字まで）。
- 2 [パスワード]にユーザーのパスワードを入力します（半角英数およびアンダースコア「\_」20文字まで）。確認のため、[パスワード(確認)]にパスワードをもう一度入力します。
- 3 入力が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。ダイアログが閉じ、ユーザーリストにユーザーが表示されます。

### ステップ3：必要に応じてユーザーを管理者にする



- 1 新しいユーザーに録画サーバー設定の権限を与える場合は、ユーザーリストの[管理者]の下のボックスをチェックします。権限を与えない場合は、チェックを外します。
- 2 [適用]をクリックすると、変更内容が保存されます。



お願い

VK-64/VK-16における「管理者」は、Windowsにおける管理者（Administrator）とは関係ありません。



### [ユーザー管理]タブ - ユーザーを編集する

ユーザーのパスワードを編集するには、[ユーザー編集]ダイアログを使用します。ユーザーを編集するには、次のように操作します。

#### ステップ1：[編集]ボタンをクリックする



1 ユーザーリストのユーザーをクリックして選択します。

2 ユーザーリストの下の[編集]ボタンをクリックすると、[ユーザー編集]ダイアログが表示されます。

#### ステップ2：ユーザーに関する詳細情報を編集する



[ユーザー編集]ダイアログで、[パスワード]に新しいパスワードを入力します（半角英数およびアンダースコア「\_」20文字まで）。[パスワード(確認)]に新しいパスワードをもう一度入力します。

[OK]ボタンをクリックすると、変更されたパスワードは保存されます。

### [ユーザー管理]タブ - ユーザーを削除する

#### ユーザーを削除する



1 ユーザーリストのユーザー名をクリックして選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。



# 第 3 章

## ビューワーを起動する

この章では、ビューワーの起動方法、ビューワーへのログイン方法、録画サーバーへの接続方法を説明します。



# ビューワーを起動する

## 起動手順



VKビューワー

デスクトップアイコン[VKビューワー]をダブルクリックします。

あるいはWindowsの[スタート]メニューから、**プログラム > Webview Livescope > Network Video Recorder VK Series v1.4 > VKビューワー**をクリックします。

録画サーバーの接続メニューが表示されます。[マスター録画サーバー]を選択して、[接続]ボタンをクリックします。

### 起動画面



#### [localhost]

ローカルホストの録画サーバーに接続してビューワーを起動します。ビューワーが動作しているPCをマスター録画サーバーとしても使用したい場合に選択します。

#### [IPアドレスで指定する]

IPアドレスを指定して録画サーバーに接続し、ビューワーを起動します。録画サーバーとビューワーを別々のPCにインストールした場合に選択します。

#### [録画サーバーを使用しない]

録画サーバーを使用せずにビューワー単独モードで起動したい場合に選択します。



お願い

接続メニューに録画サーバーを追加したい場合は、登録したい録画サーバーに[IPアドレスで指定する]で接続した後、[ビューワー設定]画面で[この録画サーバーを接続メニューに追加する]ボタンをクリックしてください (→ P.117)。



ヒント

- 複数の録画サーバーを使用している場合、いずれか1つをマスター録画サーバーとして設定する必要があります。
- バージョン1.4、1.3、1.2の録画サーバーが混在する場合、いずれのバージョンもマスター録画サーバーとすることができます。
- 旧バージョンのビューワーは、バージョン1.4の録画サーバーには接続できません。
- 起動画面を表示せず、録画サーバーに接続したい場合は、[ビューワー設定]画面で[起動時にマスター録画サーバーを選択する]のチェックを外してください (→ P.117)。



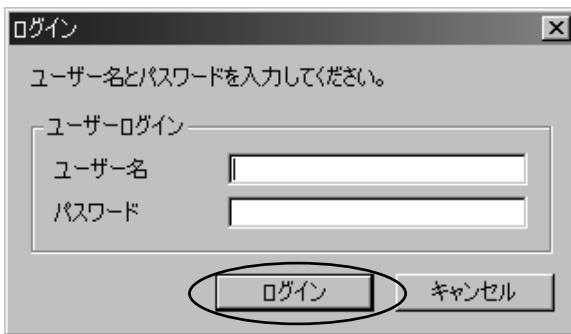
## ローカルホストに接続して起動する

ビューワーが動作しているPCをマスター録画サーバーとしても使用したい場合、ローカルホストの録画サーバーに接続し、ビューワーを起動します。



1 ドロップダウンメニューから  
[localhost]を選択します。

2 [接続]ボタンをクリックします。



3 [ユーザー名]と[パスワード]を入力して  
[ログイン]ボタンをクリックします。

3

ビューワーを起動する



ヒント

- デフォルトのユーザー名とパスワードは下記の通りです。  
ユーザー名 : admin  
パスワード : NVR  
インストール後は、ユーザー名とパスワードを変更することを強くお勧めします。
- ビューワーを起動する際に、起動画面やログイン画面を表示せず、直接起動することもできます。詳細は、「システム管理者マニュアル」を参照してください。



### 録画サーバーをIPアドレスで指定して起動する

録画サーバーとビューワーを別々のPCにインストールした場合は、IPアドレスを指定して録画サーバーに接続し、ビューワーを起動します。

使用すべきIPアドレスがわからない場合は、管理者に確認してください。



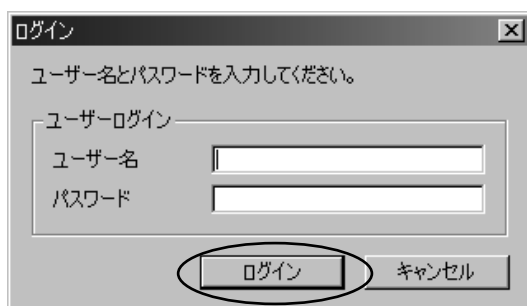
**1** ドロップダウンメニューから**[IPアドレスで指定する]**を選択します。

**2** **[接続]**ボタンをクリックします。



**3** **[ホスト名]**にマスター録画サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力し、**[ポート]**にポート番号を入力します。

**4** **[接続]**ボタンをクリックします。



**5** **[ユーザー名]**と**[パスワード]**を入力して**[ログイン]**ボタンをクリックします。



お願い

- プロキシサーバーをご使用になる場合は、以上の手順でインターネットオプションの設定を変更する必要があります。

1. [スタート] > [コントロールパネル] > [インターネットオプション]
2. [接続]タブを選択
3. [LANの設定...]ボタンをクリック  
プロキシサーバーの設定を変更します。

- ビューワーと録画サーバー間でプロキシサーバーを使用する場合は、リブライのバッファリングを行わないものである必要があります。リブライのバッファリングを行うプロキシサーバーでは、録画サーバーからビューワーへの少量データ（イベントなど）の送信に遅れが生じることがあります。Apacheプロキシサーバーは、リブライのバッファリングを行うため、使用できません。
- プロキシサーバーを使用する場合、音声の送受信はできません。



ヒント

録画サーバーへの接続に失敗した場合も、このIPアドレス入力用のダイアログが表示されます。



## 録画サーバーを使用せずに起動する（ビューワー単独モード）

録画サーバーを使用せず、ビューワー単独で起動します。録画サーバーを使用しない場合、録画、センサー入力や動き検知、イベントの検索が利用できないなど、機能は制限されます。



**1** ドロップダウンメニューから  
[録画サーバーを使用しない]を  
選択します。

**2** [接続] ボタンをクリックしま  
す。

**3**

ビューワーを起動する



### ビューワー単独モードで使用できない機能について

ビューワーを単独モードで起動した場合、以下の機能が使用できません。

#### ビューワー画面

- タイムラインが表示されません。[表示]メニューの[タイムライン]も使用できません。
- [スナップショット]が使用できません。
- [編集]メニューの[イベント検索]が使用できません。
- [表示]メニューの[ライブイベント表示]が使用できません。
- [共有レイアウト]は表示されません。
- [新規オートスイッチ]ダイアログで、[種類]が[ユーザーオートスイッチ]で固定になります。

#### 各種設定画面

- [録画スケジュール]タブは表示されません (→ P.75)。録画、センサー入力や動き検知は利用できません。
- [録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面で、[録画サーバー]タブは表示されません (→ P.52)。
- [録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面で、カメラサーバー一覧の情報には「カメラサーバー」と「ロケーション/ゾーン」、「機種」しか表示されません (→ P.53)。
- [カメラサーバー追加]と[カメラサーバー編集]ダイアログで、以下の項目がグレー表示になります (→ P.62)。
  - ・ [録画サーバー設定]
  - ・ [カメラサーバー設定]
  - ・ [カメラ設定]の[保存先ドライブの指定]
- [ビューワー設定]画面 (→ P.116) の[イベント通知の設定]枠の項目がグレー表示になります。



# 第 4 章

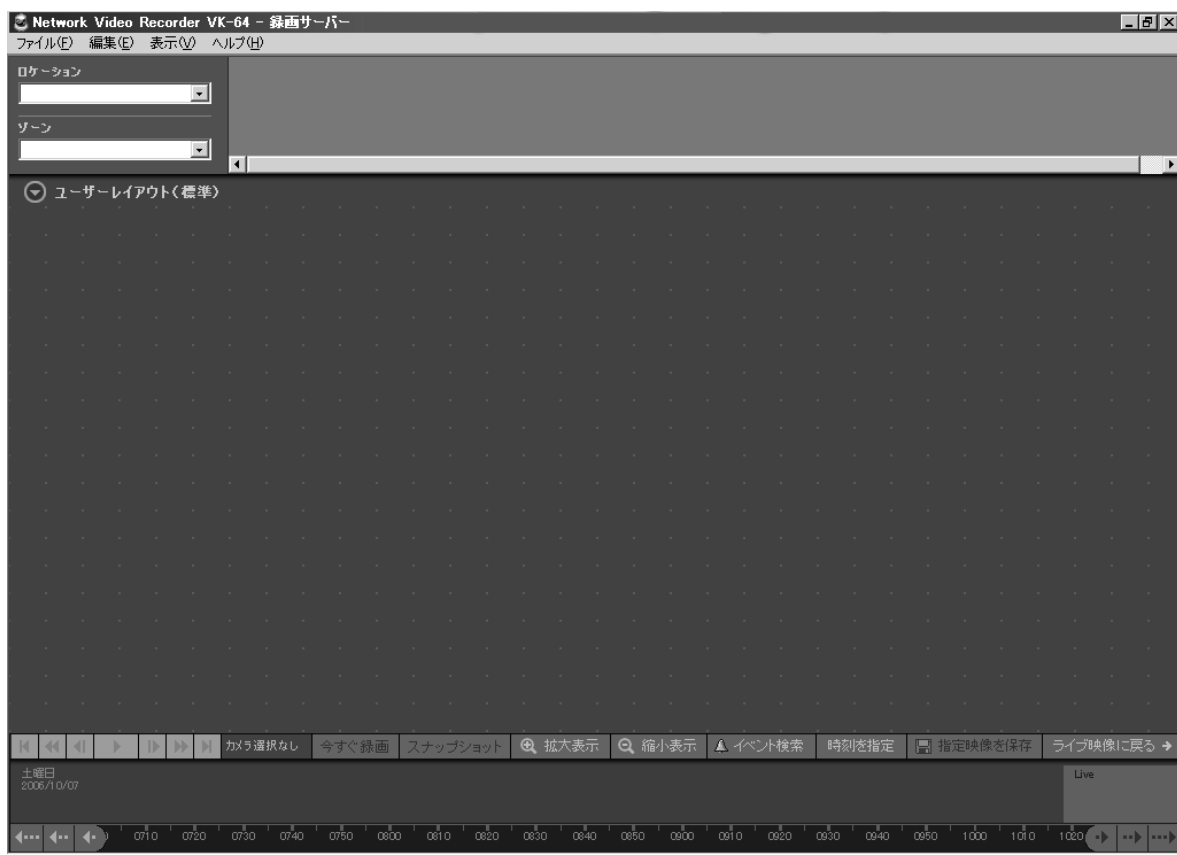
## ビューワー設定の概要

この章では、第5章から第7章までのビューワー設定の概要を説明しています。



# ビューワーが起動したら...

カメラサーバー情報が設定されていないマスター録画サーバーにビューワーがアクセスした場合、ビューワー画面は最初は空白になっています。**【各種設定】**画面を使用してビューワーを設定する必要があります。



お願い

各ネットワーク上で設定を行う管理者を一人に指定することをお勧めします。



## [各種設定]画面にアクセスする

[各種設定]画面を開くには、以下の操作を行います。

### メニューバーで[表示]→[設定画面]を選択する



メニューバーはビューワー画面の左上にあります。

メニューバーの[表示]メニューから[設定画面]を選択します。

[各種設定]画面が開き、[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面が表示されます。

設定例を以下に示します。



次のページでは設定操作の手順を示し、その後で設定について説明します。設定操作が終わったら、[表示]メニューから[ビューワー画面]を選択してビューワーに戻ります。

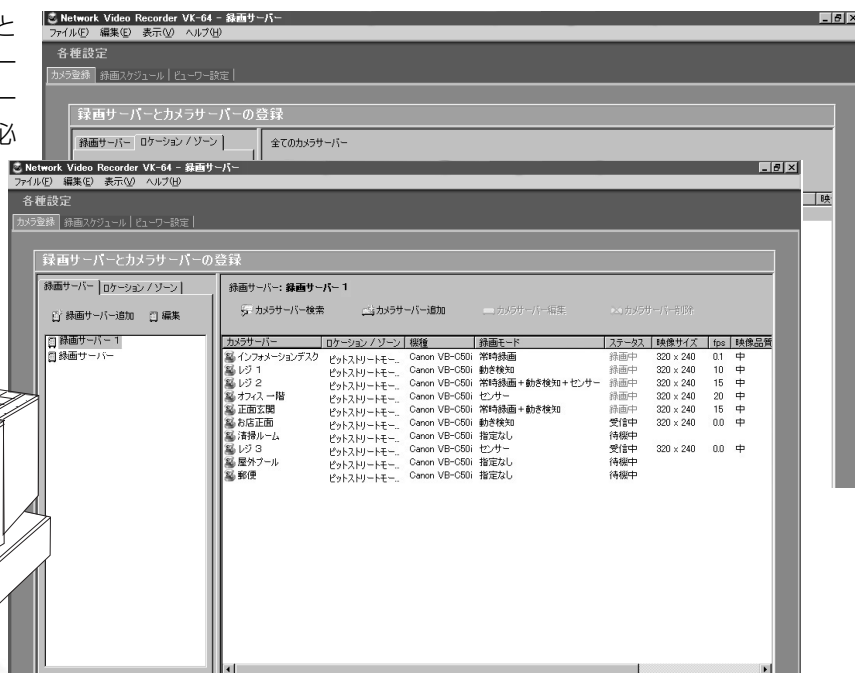
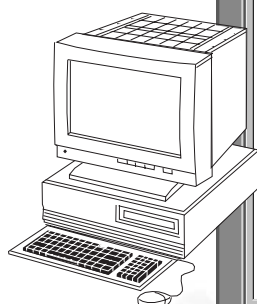


# システム設定手順

録画サーバーを設定してビューワーの起動が終わると、映像のモニタリング、録画、再生を行うビューワーを設定する準備ができます。下の図は、【各種設定】画面で行う設定操作の手順を示しています。

## 1 録画サーバーとカメラサーバーを登録する

まず最初に、録画サーバーとカメラサーバーをビューワーに登録します。また、ロケーションとゾーンも作成する必要があります。これらの操作は、【カメラ登録】画面で行います。



## 2 録画スケジュールを設定する

映像を録画する場合は、【録画スケジュール】画面で【週間スケジュール】と【特定スケジュール】を設定します。





## 4 ビューワーレイアウトの作成と保存

ライブカメラ映像のモニタリングと録画済みイベントの再生は、ビューワーで行います。ビューワーでは、表示エリアをカスタマイズしてレイアウトを保存することができます。



## 3 ビューワーの設定に関する操作（オプション）

[ビューワー設定]画面で、ライブ表示のフレームレートを調整したり、現在使用しているマスター録画サーバーを確認したり、イベント通知の優先度を設定したりすることができます。



4

ビューワー設定の概要



# [各種設定]画面

## [各種設定]画面について

この[各種設定]画面は、1台（または複数台）の録画サーバーを設定する場合や、ビューワーがインストールされたPCで様々な設定を行う際に使用されます。録画サーバーの中には、使用中のローカルPCもありますし、ネットワーク上の別のPCもあります。

[各種設定]画面には、VK-64/VK-16の接続や設定値の調整に使用される3つの画面があります。

- [カメラ登録] - 新しい録画サーバーやカメラサーバーを追加したり、ネットワーク上の既存のカメラサーバーを検索します。詳細は第5章で説明します。
- [録画スケジュール] - 各カメラサーバーごとに録画スケジュールを設定したり、録画を開始させるイベントを指定します。祝祭日などの特定日のスケジュールを設定したり、設定した内容をサマリー（要約）表示することもできます。詳細は第6章で説明します。
- [ビューワー設定] - イベントの優先度を設定し、ライブ映像のフレームレートを変更します。現在のマスター録画サーバーを確認することもできます。詳細については第7章で説明します。

## [各種設定]画面を選択する

[各種設定]画面を起動すると、3つのタブが表示されます。デフォルトでは最初のタブである[カメラ登録]が選択されています。



別のタブをクリックすると、対応する画面が表示されます。



## [各種設定]画面



[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面



[録画スケジュール]画面



[ビューワ設定]画面

# 4

## ビューワ設定の概要







# 第 5 章

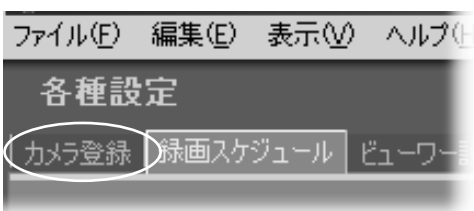
## 録画サーバーとカメラサーバーの 登録

この章では、録画サーバーとカメラサーバーを登録する方法、  
ロケーションとゾーンを管理する方法を説明します。



# [カメラ登録]画面

## [録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面について



[カメラ登録]タブをクリックすると、[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面が開きます。

この画面には、さらに[録画サーバー]、[ロケーション/ゾーン]という2つのサブ画面があり、対応するタブをクリックすると開きます。



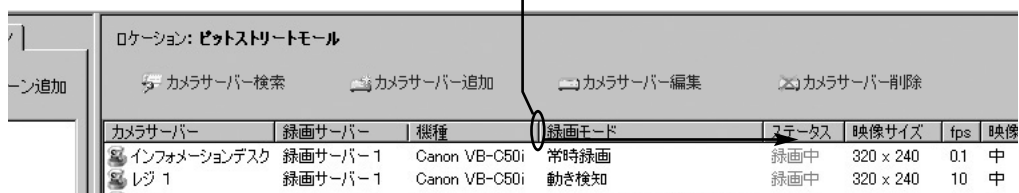
→ P.56

→ P.58

サマリー情報エリアの見えない部分を表示するには、スクロールバーをドラッグします。

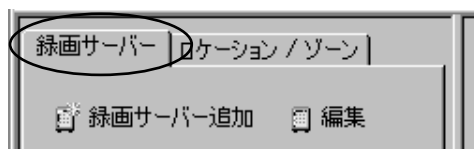


内容がすべて見えるようにするには、仕切り線をドラッグします。



## [録画サーバー]と[ロケーション/ゾーン]のオプション

[録画サーバー]タブでは、以下の操作を行うことができます。

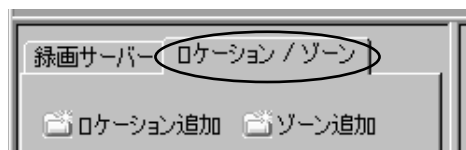


**[録画サーバー追加]** - 録画サーバーをシステムに追加することができます（10台以下で運用してください）。

**[編集]** - 選択した録画サーバーのアドレスを変更することができます。

左側パネルのツリーエリアから録画サーバーを選択します。右側パネルには、ユーザーが選択した録画サーバーに録画されるカメラサーバーのリストが表示されます。

[ロケーション/ゾーン]タブでは、以下の操作を行うことができます。



**[ロケーション追加]** - 新しいロケーションをシステムに追加することができます。

**[ゾーン追加]** - 新しいゾーンをロケーションに追加することができます。

左側パネルのツリーエリアでロケーションの中のゾーンを選択すると、そのゾーン内にあるカメラサーバーのリストが右側パネルに表示されます。

## 両方のタブに含まれるその他の機能



どちらのタブが選択されている場合も、右側パネルにはカメラサーバーの機能が表示されます。

- **[カメラサーバー検索]** - LAN上のカメラサーバーを自動検索し、登録することができます。
- **[カメラサーバー追加]** - 新しいカメラサーバーをシステムに追加することができます。
- **[カメラサーバー編集]** - 登録されたカメラサーバーの設定を編集することができます。
- **[カメラサーバー削除]** - カメラサーバーをシステムから削除することができます。

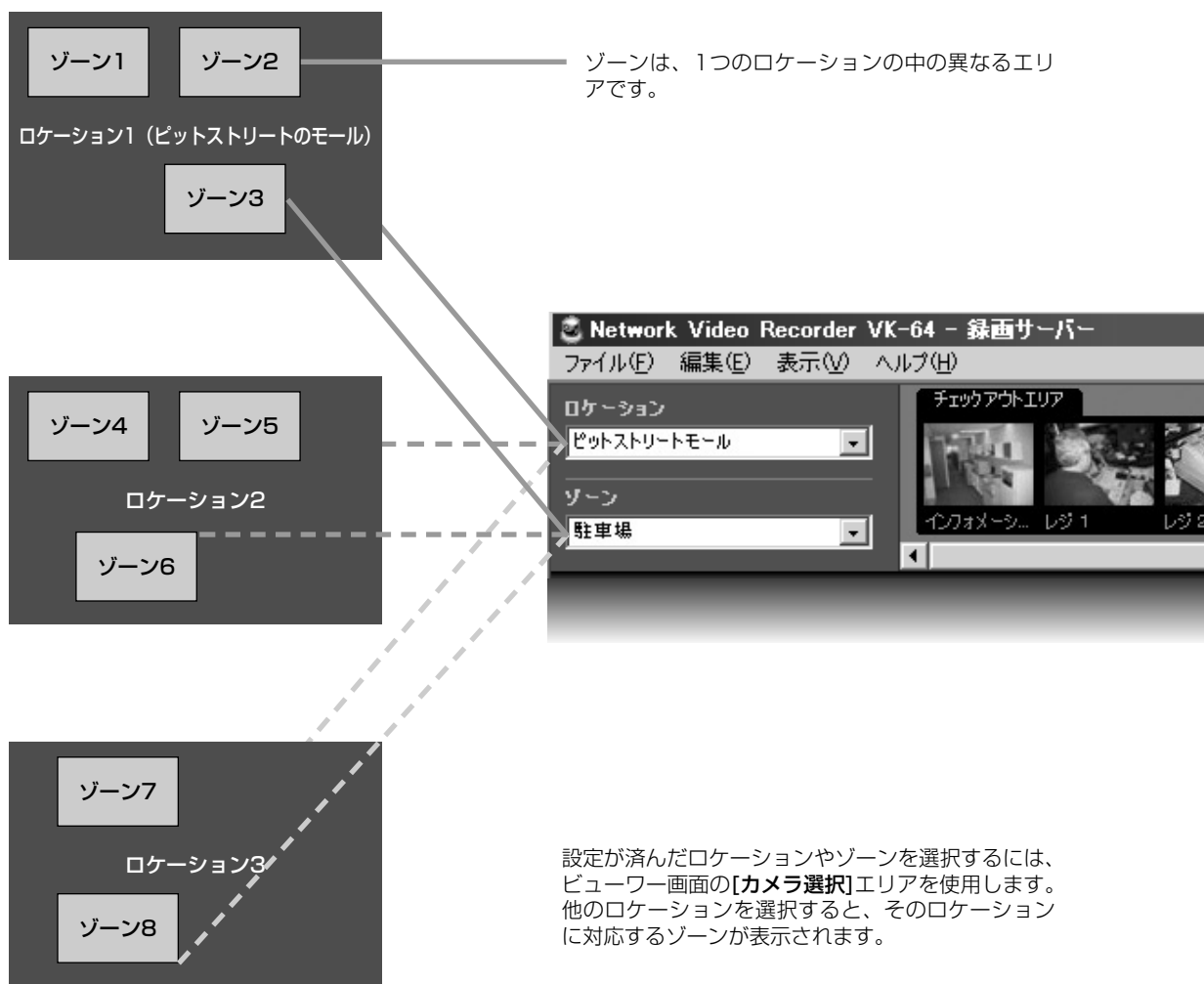


# ロケーションとゾーン

## ロケーションとゾーンについて

カメラサーバーは、ロケーションとゾーン別にグループ化されます。例えばロケーションとは、オフィスビル、店舗、学校などのことです。ゾーンはロケーションの一部で、オフィスの特定のフロアや店舗内のキャッシュレジスタエリアなどを指します。

VK-64/VK-16ネットワーク上の実際のロケーションとゾーンの例を次の図に示します。ビューワアクセスは[ロケーション]、[ゾーン]ドロップダウンメニューで行います。





ロケーションを左側のドロップダウンメニューから選択すると、そのロケーションに対応するすべてのゾーンがカメラサーバーのサムネイル画像として右側に表示されます。  
このタブには4つのサムネイル画像がありますが、これは、このゾーンに4台のカメラサーバーがあることを示します。



このタブには6つのサムネイル画像がありますが、これは、このゾーンに6台のカメラサーバーがあることを示します。



- ロケーション/ゾーンの階層構造は、録画サーバーに対応付けるカメラサーバーのグループ分けには左右されません。たとえば、1つの録画サーバーで複数のロケーションからの映像を録画することもできますし、1つのロケーションの複数のカメラサーバーを複数の録画サーバーで録画することもできます。
- 複数の録画サーバーを使用するとき、個々の録画サーバーにカメラサーバーを登録した後に録画サーバーの構成を変更すると、登録したカメラサーバーのサムネイルが表示されない場合があります。カメラサーバーを再度登録してください。



# カメラ登録の設定

## [カメラ登録] - [録画サーバーの追加、編集と削除]

録画サーバーを複数使用する場合は、以下の手順で録画サーバーの追加を行います。複数の録画サーバーを使用しない場合、および、必要な録画サーバーを追加済みの場合は、この操作を行う必要はありません。

録画サーバーを追加すると、各録画サーバーが管理するカメラサーバーを、ビューワー画面から選択することができるようになります。

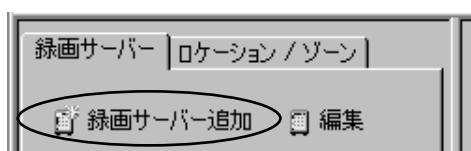


VKビューワー単体でご使用の場合は、[録画サーバー]タブは表示されず、録画サーバーを追加できません。



録画サーバーは最大10台で運用することができます。運用できるカメラサーバーの最大数は192台です。

### 録画サーバーを追加する

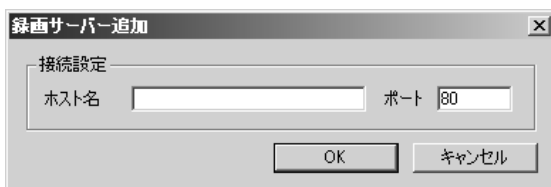


1

[カメラ登録]画面で[録画サーバー]タブを選択します。

2

[録画サーバー追加]ボタンをクリックします。  
[録画サーバー追加]ダイアログが開きます。



3

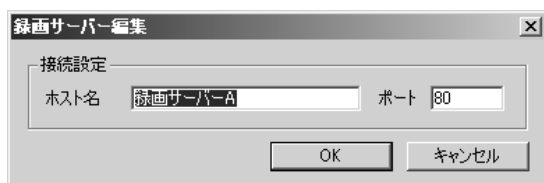
接続設定を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



- 同一の録画サーバーを繰り返し追加しないでください。
- 別のマスター録画サーバーによって管理されている録画サーバーを追加する場合は、ロケーション/ゾーンの設定は無効になります。
- Windows XP SP2またはWindows Server 2003をご使用の場合は、Windowsの設定変更が必要です。「システム管理者マニュアル」を参照してください。
- ポート番号は変更しないでください。



## 録画サーバーを編集する



1

リスト内の録画サーバーをダブルクリックします。

または、録画サーバーを選択して[編集]ボタンをクリックします。

[録画サーバー編集]ダイアログが表示されます。

2

設定を変更して、[OK]ボタンをクリックして変更内容を保存します。



お願い

- 録画サーバーのIPアドレスを変更した場合は、この機能を使用して設定を変更してください。
- マスター録画サーバーを編集することはできません。

## 録画サーバーを削除する

1

リスト内の録画サーバーをクリックして選択し、メニューバーの[編集]メニューから[削除]を選択します。または、キーボードの[Delete]キーを押します。

2

確認のダイアログで[はい]をクリックします。

キャンセルする場合は[いいえ]をクリックします。



お願い

録画サーバーを削除すると、その録画サーバーに対応付けられていたカメラサーバーの情報（ロケーションやゾーン、サムネイル画像やレイアウトなど）も削除されます。



3

変更を保存するには[カメラ登録]画面右下の[変更を保存]をクリックします。

変更をキャンセルするには、[変更を破棄]をクリックします。

5

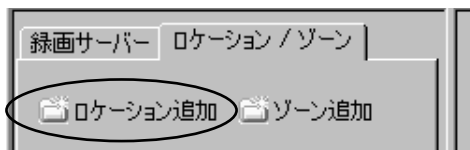
録画サーバーとカメラサーバーの登録



## [カメラ登録] - [ロケーションとゾーンの追加、編集と削除]

ユーザーは、容易に新しいロケーションをシステムに追加したり、新しいロケーションのフォルダにゾーンを追加することができます。たとえば、ロケーションをスーパーマーケットにし、キャッシュレジスタのエリアや通路や入口をゾーンにすることができます。

### ステップ1：[ロケーション/ゾーン]タブの[ロケーション追加]ボタンをクリックする



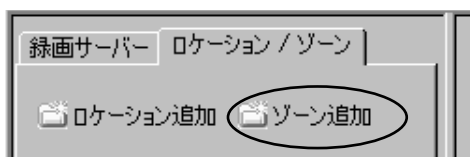
1 [カメラ登録]画面で[ロケーション/ゾーン]タブがまだ選択されていない場合は選択します。

2 [ロケーション追加]ボタンをクリックします。  
[ロケーション追加]ダイアログが開きます。



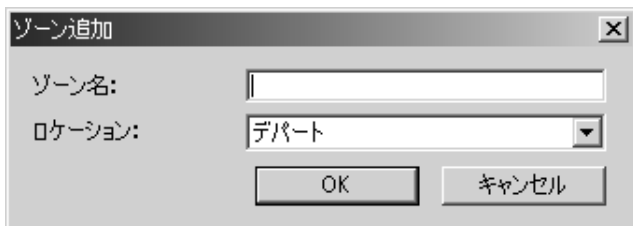
3 新しいロケーション名（全角・半角あわせて20文字まで）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

### ステップ2：[ロケーション/ゾーン]タブの[ゾーン追加]ボタンをクリックする



1 [カメラ登録]画面で[ロケーション/ゾーン]タブがまだ選択されていない場合は選択します。

2 [ゾーン追加]ボタンをクリックします。  
[ゾーン追加]ダイアログが開きます。



3 新しいゾーン名（全角・半角あわせて20文字まで）を入力します。

4 [ロケーション]ドロップダウンメニューからロケーションを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

選択したゾーンが、指定したロケーションのフォルダ内に表示されます。





お願い

- 別のロケーションにゾーンを追加したい場合は、ゾーンを追加する前にロケーションを作成する必要があります。
- 同じ名前のロケーションを複数追加することや、1つのロケーション内に同じ名前のゾーンを複数追加することはできません。
- ロケーションやゾーンとして追加できる数には、制限はありません。

## ロケーションやゾーンを編集する

- 1 ロケーションまたはゾーンをダブルクリックします。  
[ロケーション編集]または[ゾーン編集]ダイアログが開きます。

- 2 設定内容を変更して、[OK]ボタンをクリックします。



## ロケーションやゾーンを削除する

- 1 リスト内のロケーションまたはゾーンをクリックして選択し、メニューバーの[編集]メニューから[削除]を選択します。

または、ロケーションまたはゾーンをクリックして選択し、キーボードの[Delete]キーを押します。

- 2 確認のダイアログで[はい]をクリックします。  
キャンセルする場合は[いいえ]をクリックします。



### [カメラ登録] - [カメラサーバー検索]

[カメラサーバー検索]ボタンを使用すると、カメラサーバーを自動検索し、登録することができます。



お願い

カメラサーバー検索処理を開始すると、PCはローカルサブネット内をチェックして、接続されているすべてのカメラサーバーを調べます。この機能は、別のサブネット上にあるカメラサーバーを調べることはできません。これらのカメラサーバーは、[カメラサーバー追加]ボタンをクリックして追加してください（→ P.61）。

#### ステップ1：[カメラサーバー検索]ボタンをクリックする



カメラサーバー検索



カメラサーバー追加

[カメラ登録]画面の右側パネルの上にある[カメラサーバー検索]ボタンをクリックします。

[検索結果]ダイアログが開き、検出されたカメラサーバーのリストが表示されます。

検索結果			
検出されたカメラサーバー:			
カメラ名	アドレス	種類	登録
地下駐車場 1	10.23.121	VB-C50iR	登録済み
地下駐車場 2	10.23.120	VB-C50iR	登録済み
地下駐車場 3	10.23.6	VB-C50iR	登録済み
食品売り場	10.23.67	VB-C10R	登録済み
正面玄関	10.23.75	VB-C10	登録済み
化粧品売り場	10.23.69	VB-C10	登録済み
レジカウンター2	10.23.7	VB-C50i	登録済み
おもちゃ売り場	10.23.72	VB-C50Fi	登録済み
駐車場料金所	10.23.77	VB-C50FSi	登録済み
食堂街	10.23.71	VB-C10	登録済み
食堂街 2	10.23.65	VB-C10R	登録済み
レジカウンター1	10.23.64	VB-C50i	登録済み
レジカウンター3	10.23.76	VB-C50i	登録済み
通路1、通路2、通路3、通路	10.22.127	VB150	登録済み
VB-C300NA	192.168.1.99	VB-C300NA	登録済み



お願い

リストに表示されるカメラ名は、カメラサーバー側に設定されているものが表示されます。名前等の詳しい設定方法は、カメラサーバーの使用説明書を参照してください（VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi、VB-C10/VB-C10Rは「カメラ名」、VB150は「機器名」、VB-C300は「VB-C300NA」です）。



ヒント

すでに登録されているカメラサーバーは、[登録]に「登録済み」と表示されます。まだ登録されていないカメラサーバーの[登録]は空白です。



## ステップ2：新しいカメラサーバーを選択する



1 [検索結果] ダイアログの検索結果リストからカメラサーバーをクリックして選択します。

2 [カメラサーバー追加...] ボタンをクリックします。

[カメラサーバー追加] ダイアログが表示され、カメラサーバーの設定を行うことができます。

また、リストの項目をダブルクリックして[カメラサーバー追加]ダイアログを開くこともできます。

[カメラサーバー追加] ダイアログについては、次のページで説明します。

次の方法で[カメラサーバー追加]ダイアログを起動することもできます。

## [カメラ登録] - [カメラサーバー追加]

[カメラサーバー検索]で見つからないカメラサーバーは、こちらから登録します。



[カメラサーバー追加] ボタンをクリックすると、[カメラサーバー追加]ダイアログが開きます。このダイアログについては次のページで説明します。



# [カメラサーバー追加]ダイアログを使用する

## [カメラサーバー追加]ダイアログについて

[カメラサーバー追加]ダイアログの表示内容は、接続しているカメラサーバーの種類によって異なります。

## カメラの位置と録画映像の設定

[カメラサーバー追加]ダイアログでは、ビューワーにカメラサーバーのサムネイル画像を設定し、録画映像用に録画サーバーを選択することができます。

以下のダイアログは、VB-C300の設定画面例です。

接続の設定を行います。

カメラアングルを調整します。

逆光補正の「入」/「切」を設定します。

カメラサーバーの映像をどの録画サーバーに保存するか指定します。**[録画しない]**を選択すると録画は行われません。

カメラサーバーの種類によっては複数表示されます。

映像を保存する録画サーバーのドライブを選択します。



お願い

- ビューワーではカメラサーバー名を設定することはできません。カメラサーバー側で設定してください。名前に関する詳細は、カメラサーバーの使用説明書を参照してください（カメラサーバーの名前は、VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi、VB-C10/VB-C10Rは「カメラ名」、VB150は「機器名」です。センサーの名前はVB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiは「外部デバイス名」、VB-C10/VB-C10R、VB150は「外部デバイス入力名」です）。
- 録画を行うには、録画スケジュールの設定を行ってください。[OK]ボタンをクリックしてもすぐに録画が開始されることはありません。



## [カメラサーバー追加] - 接続の詳細設定

カメラサーバーを追加するために、VK-64/VK-16とカメラサーバーを接続する必要があります。

### ステップ1：ホスト名、ユーザー名、パスワードを入力する

**1** [ホスト名]にホスト名またはIPアドレスを入力し、[ポート]にカメラサーバー用のポート番号を入力します。

**2** カメラサーバーに接続するため、[ユーザー名]にユーザー名を、[パスワード]にパスワードを入力します。詳細情報が録画サーバーに保存されます。



お願い

この場合のユーザー名とパスワードは、カメラサーバー側で設定されています。カメラサーバーのユーザー名とパスワードがわからない場合は、カメラサーバーの管理者に確認してください。

### ステップ2：[接続]ボタンをクリックする

上記の情報を入力して、[接続]ボタンをクリックします。

接続すると[カメラサーバー追加]ダイアログの右側にタブが表示されます。



お願い

- [OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じる前に[接続]ボタンをクリックしてください（[接続]ボタンをクリックするまで[OK]ボタンは無効になっています）。
- VB150（「ビデオ入力」が「同時」の場合）で、2台以上のカメラを設定しているときには、2～4個のタブが追加されます。表示されるタブの数は、実際に接続されているカメラの数ではなく、VB150の「カメラと映像の設定ページ」を使用して有効に設定されているカメラの数です。詳細は、VB150の使用説明書の第3章、P.36を参照してください。
- VB150の「ビデオ入力」設定が「切替え」に設定されている場合は、「カメラと映像の設定ページ」で、「カメラを使用する」が選択されている最初のカメラ名が、カメラサーバーの代表として表示されます。このため管理者には、最初のカメラ名をカメラサーバー全体で使用可能な一般的な名前に設定することをお勧めします。
- VB150をご使用の場合で、「設定ページのURL」を出荷時設定の「admin」以外に設定していると、[接続]ボタンをクリックしたときにエラー表示され、接続できません。「admin」に戻してご使用ください。





ヒント

VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50FiにマルチターミナルVB-EX50を接続し、「外部ビデオ入力を使用する」設定になっている場合、ビューワーで表示される映像は、マルチターミナルに接続されたビデオカメラの映像になっている場合があります。必要に応じて管理者ビューワーから切り替えてください。

### ステップ3：録画に使用する録画サーバーを選択する

1

【録画サーバー】のドロップダウンメニューに記載されている設定済みの録画サーバーの中から録画サーバーを選択し、【ホスト名】にホスト名またはIPアドレス、【ポート】にポート番号を入力します。

2

カメラサーバーから録画を行わない場合は、【録画サーバー】のドロップダウンメニューから【録画しない】を選択します。



お願い

- 録画を開始するには、さらに録画スケジュールの設定を行う必要があります。録画スケジュールの設定については、第6章を参照してください。
- VK-64では、1台の録画サーバーに登録可能なカメラサーバー数は、最大64台です（VK-16では、最大16台です）。
- カメラサーバーのIPアドレスを変更した場合は、接続設定のホスト名と録画サーバー設定のホスト名を変更する必要があります。

### ステップ4：外部デバイス入力切替を設定する

外部デバイスの入/切を反転したい場合は、【外部デバイス入力の入/切を反転して扱う】をチェックします。

※カメラサーバーの種類によっては、複数表示されます。特に必要がなければ、この設定を変更する必要はありません。

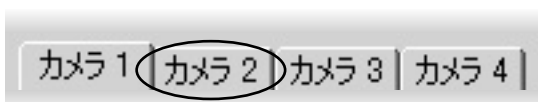


## [カメラ登録] - カメラサーバーの設定を編集する

[カメラサーバー追加]ダイアログの右側には、使用しているカメラサーバーによって1つまたは複数のカメラサーバーが表示されます。

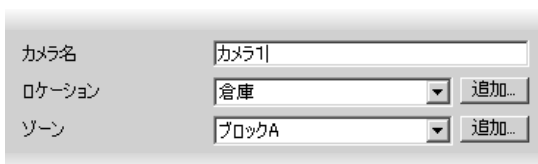
設定を編集するには、次のように操作します。

### ステップ1：カメラのタブを選択する



タブをクリックすると、そのカメラサーバーの設定状態が表示されます。

### ステップ2：ロケーションとゾーンを割り当てる



**1** [カメラ名]で、カメラ名を変更することができます。カメラサーバー側のカメラ名の設定は変更されません。

**2** [ロケーション]で、ドロップダウンメニューからカメラサーバーのロケーションを選択します。

**3** [ゾーン]で、ドロップダウンメニューからカメラサーバーのゾーンを選択します。



別のロケーションやゾーンを追加する必要がある場合は[追加...]ボタンをクリックします。

[ロケーション追加]ダイアログまたは[ゾーン追加]ダイアログが表示されます。

ロケーション名またはゾーン名を入力して、[OK]ボタンをクリックします。

[ゾーン追加]ダイアログでゾーンを追加する場合は、同じダイアログのロケーションにも追加する必要があります。

ドロップダウンメニューからロケーションを選択します。



ロケーションとゾーンの追加については、P.58を参照してください。



### ステップ3：ビューワーのサムネイルを更新または設定する



1 [プレビュー]にはカメラサーバーの映像が表示されます。[更新] ボタンをクリックすると、現在の画像がカメラサーバーから取り込まれます。取り込んだ画像は、サムネイルエリアに表示されます。この画面は、ビューワー画面のサムネイル画像として使用されます。

2 表示されている画像が満足できるものではない場合は、[コントロール開始] ボタンをクリックしてください。マウスを使用して撮影角度を変えたりズーム操作を行うことができます。



画像上でマウスカーソルを動かします。矢印が表示されると、その矢印の方向にカーソルをドラッグすることができます。それに応じてプレビューが変わります。マウスカーソルを画像の中心に動かすと、ズームインやズームアウトのコントロールが表示されます。

マウスカーソルがプラス（+）の形のときにマウスボタンを押すとズームインします。

マウスカーソルがマイナス（-）の形のときにマウスボタンを押すとズームアウトします。



お願い

- VB-C50FSi、VB-C50Fiをご使用の場合、パン、チルトの操作を行うことはできません。
- 固定カメラまたはVC-C50iなどの外付けカメラをVB-C50iに接続してご使用の場合、パン、チルト、ズームの操作を行うことはできません。



ヒント

サムネイル画像を変更したい場合にプレビュー映像ウィンドウが空白のときは（[更新] ボタンおよび[コントロール開始] ボタンが無効になっている場合）、[接続] ボタン（[接続設定]の中にあります）をクリックしてください。

3

[プリセット] ドロップダウンメニューから、あらかじめ設定されているカメラサーバー位置（設定済みの場合）を選択することもできます。



ヒント

プリセットはあらかじめカメラサーバー側で設定しておく必要があります。カメラサーバーのプリセットの設定方法については、カメラサーバーの使用説明書を参照してください。



#### ステップ4：映像を保存するためのハードディスクドライブを選択する



保存先ドライブの指定

録画サーバー 録画サーバ

ドライブ C

[ドライブ] ドロップダウンメニューから、録画サーバーのハードディスクドライブを選択します。

設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[カメラ登録] 画面に戻ります。



お願い

[ドライブ] には、録画サーバー設定で登録したネットワークドライブも表示されます。詳細は、「ディスクドライブの設定を選択する」(→ P.27) を参照してください。



# カメラサーバーの編集と削除

## [カメラ登録] - [カメラサーバー編集]

[カメラ登録]画面の右側には[カメラサーバー編集]ボタンがあり、どちらのタブ（[録画サーバー]または[ロケーション/ゾーン]）が選択されている場合にも、ユーザーのシステム上でカメラサーバーの編集を行うことができます。[カメラサーバー追加]と同じダイアログ（→ P.62）が表示されます。

### ステップ1：カメラサーバーを選択する

録画サーバー: 録画サーバー 1

カメラサーバー検索      カメラサーバー追加

カメラサーバー	ロケーション / ゾーン	機種
インフォメーションデスク	ピットストリートモー...	Canon VB-
レジ 1	ピットストリートモー...	Canon VB-
レジ2	ピットストリートモー...	Canon VB-
オフィス 一階	ピットストリートモー...	Canon VB-
正面玄関	ピットストリートモー...	Canon VB-
お店正面	ピットストリートモー...	Canon VB-
清掃ルーム	ピットストリートモー...	Canon VB-
レジ 3	ピットストリートモー...	Canon VB-

[カメラサーバー]リストでカメラサーバーをクリックして選択します。

### ステップ2：[カメラサーバー編集]ボタンをクリックする



1 [カメラサーバー編集]ボタンをクリックすると[カメラサーバー編集]ダイアログが表示されます。このダイアログは、[カメラサーバー追加]ダイアログとまったく同じです（項目名をダブルクリックしてダイアログを開くこともできます）。

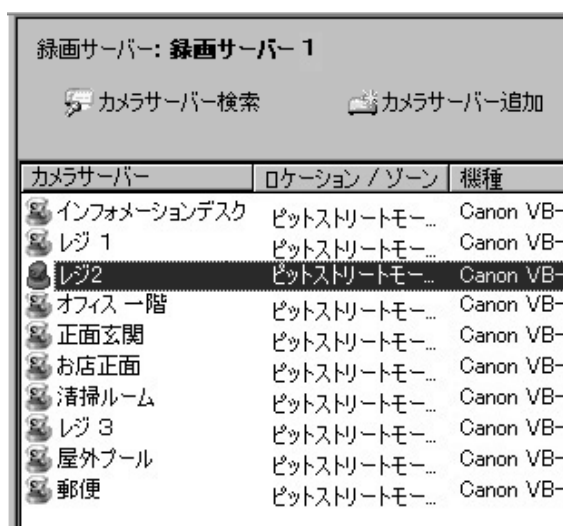
2 設定を変更します。ダイアログを閉じるには[OK]ボタンをクリックします。



## [カメラ登録] - [カメラサーバー削除]

[カメラ登録]画面の右側には[カメラサーバー削除]ボタンがあり、どちらのタブ（[録画サーバー]または[ロケーション/ゾーン]）が選択されている場合にも、ユーザーのシステムからカメラサーバーを削除することができます。

### ステップ1：カメラサーバーを選択する



[カメラサーバー]リストでカメラサーバーをクリックして選択します。

### ステップ2：[カメラサーバー削除]ボタンをクリックする



**1** [カメラサーバー削除]ボタンをクリックします（または、キーボードの[Delete]キーを押して削除することもできます）。



**2** 確認のダイアログで、[はい]をクリックします。  
キャンセルの場合は[いいえ]をクリックします。



お願い

カメラサーバーを削除すると、そのカメラサーバーに関するVK-64/VK-16の設定値は無効になります。最初から設定を行ってください。



# 設定に関する変更内容を保存する

## [カメラ登録] - 設定操作が終わったら...



[カメラ登録]画面の右下隅には、[変更を保存]、[変更を破棄]という2つのボタンがあります。



- すべての設定内容を保存するには、[変更を保存]をクリックします。
- 変更内容をすべてキャンセルするには、[変更を破棄]をクリックします。

ビューワー画面に戻る場合は、メニューバーの[表示]メニューから[ビューワー画面]を選択します。



# 第 6 章

## 録画スケジュールの設定

この章では、録画スケジュールの設定方法を詳しく説明します。  
録画スケジュールには、動き検知による録画とセンサーによる録画が含まれます。

ビューワー単独でご使用の場合は、  
本章をお読みいただく必要はありません。



お願い

録画スケジュールの設定後、必ず運用テストを行ってください。



# 録画設定の流れ

## 録画設定の基本設定

録画設定では、まず最初に「いつ」、「どのような」録画を行うかを設定します。

この2つを設定すれば、その他の設定が初期設定のままであっても録画を行うことができますようになります。

### 「いつ」：いずれかを設定

指定した曜日（週間スケジュール）

指定した日（特定スケジュール）

### 「どのような」：複数設定可能

指定した時間帯を通じて録画する（常時録画）

指定した時間帯に「動き検知」で録画する（動き検知録画）

指定した時間帯に「センサー」を使って録画する（センサー録画）

1 いつ	2 どのような
<input type="radio"/> 毎週〇曜日	<input type="checkbox"/> 常時録画
<input type="radio"/> 特定の日	<input type="checkbox"/> 動き検知
	<input type="checkbox"/> センサー

動き検知録画では、あらかじめ設定した検知領域内で動きがあった時だけ録画を行うことができます。

センサー録画では、センサーに入力があった時だけ録画を行うことができます。



ヒント

1つのスケジュールに、常時録画、動き検知録画、センサー録画を重複して設定することができます。たとえば、1フレーム/秒で常時録画を行い、動きが検知されたときだけ5フレーム/秒で録画を行うように設定することができます。



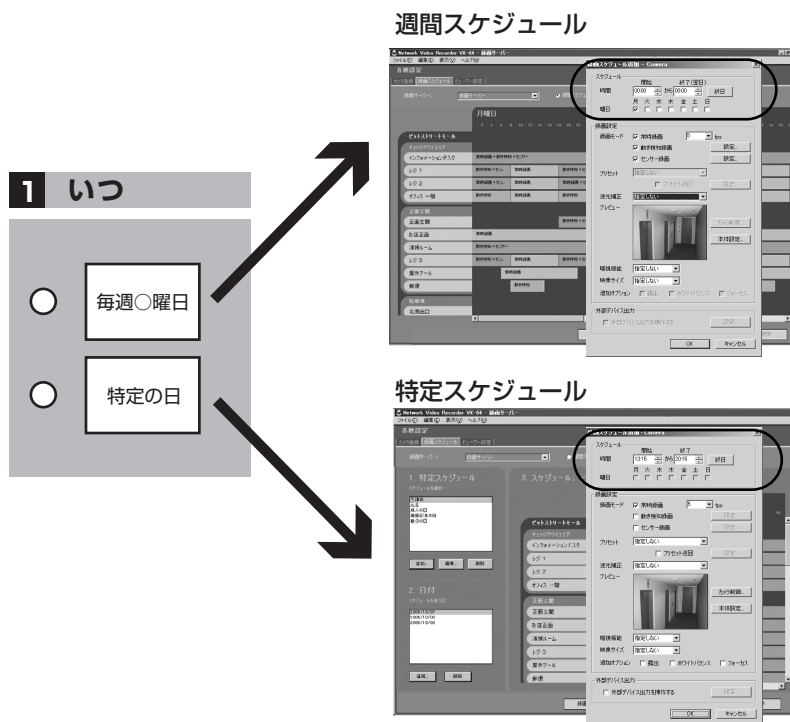
## 録画設定の基本設定の流れ

### 「いつ」：設定画面を選択する

「いつ」を選択するかによって、設定を行う画面が異なります。

「毎週○曜日」に録画設定を行う場合は、[週間スケジュール]画面から表示する[スケジュール追加/編集]画面で曜日・時間を設定します。

「特定の日」に録画設定を行う場合は、[特定スケジュール]画面で特定日を設定し、[特定スケジュール]画面から表示する[スケジュール追加/編集]画面で時間を設定します。



ヒント

- [週間スケジュール]画面での設定方法については、P.75を参照してください。
- [特定スケジュール]画面での設定方法については、P.103を参照してください。

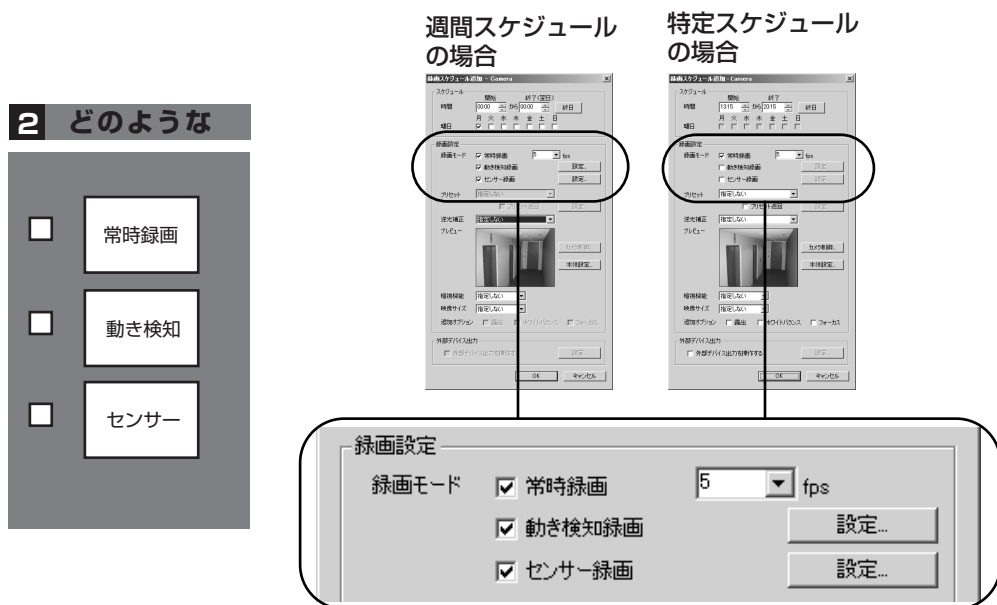
# 6

## 録画スケジュールの設定



## 「どのような」：録画機能を選択する

「どのような」録画を行うかに応じて、[週間スケジュール]画面、[特定スケジュール]画面から表示する[スケジュール追加/編集]画面で、[録画モード]をチェックします。



それぞれの録画モードを選択後、各機能の設定を行います。

[常時録画]は、フレームレート（fps）のみを設定しますが、[動き検知録画]と[センサー録画]は、それぞれの[設定]ボタンをクリックして表示される[動き検知設定]画面、[センサー設定]画面で設定を行います。



ヒント

- 運用の開始に際して、細かな設定を順次行っていく場合は、まずは[常時録画]を設定してください。
- [動き検知設定]画面での設定方法については、P.85を参照してください。
- [センサー設定]画面での設定方法については、P.91を参照してください。



## 録画スケジュールの設定

## 75



## 週間スケジュールを設定する

曜日表示

Network Video Recorder VK-64 - 録画サーバー

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

各種設定

カメラ登録 | 録画スケジュール | ビューワー設定

録画サーバー: 録画サーバー

週間スケジュール

月曜日 火曜日

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 2 4

ビットストリートモール

チェックアウトエリア

インフォメーションデスク

レジ 1

レジ 2

オフィス 一階

正面玄関

正面玄関

ゾーン

ゾーンに登録されているカメラサーバー

カメラサーバーの時間帯バー

横方向のスクロールバー

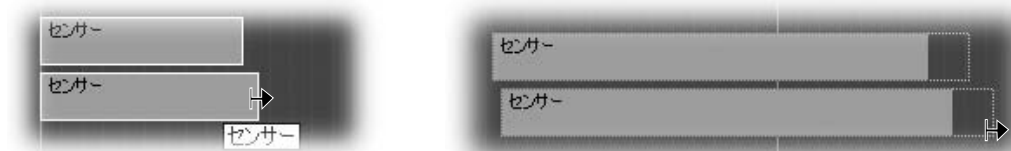
縦方向のスクロールバー

横方向のスクロールバーを右にドラッグすると、スケジュール上の他の曜日が表示されます。

縦方向のスクロールバーを下にドラッグすると、他のゾーンが表示されます。

### 複数項目の選択とドラッグ

[Ctrl]キーを押しながら、複数のスケジュール項目をクリックして選択してください。  
複数のスケジュール項目をドラッグして、録画スケジュールを変更したり移動することができます。



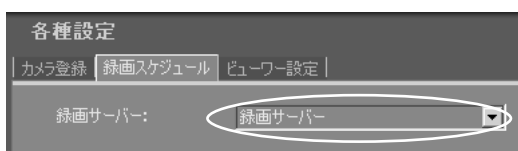
また、複数のカメラサーバースケジュールを作成することもできます。これについては、次のページで説明します。



## [録画スケジュール]の作成、編集、削除

ゾーン内にあるカメラサーバーのスケジュールを作成、編集するには、[録画スケジュール追加]ダイアログ、または[録画スケジュール編集]ダイアログを起動します。

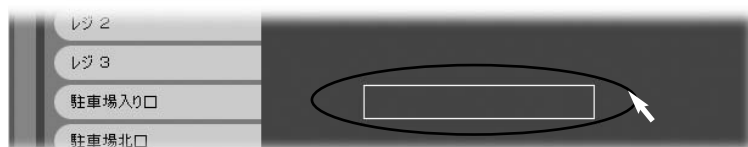
### ステップ1：必要な場合、録画サーバーを変更する



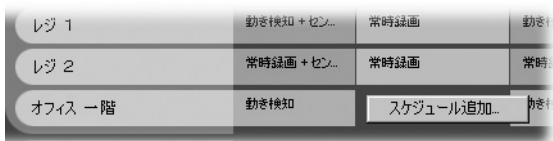
別の録画サーバーのスケジュールを表示したい場合は、[録画サーバー]ドロップダウンメニューをクリックします。それ以外はステップ2に進みます。

ドロップダウンメニューには、割り当て済みの複数の録画サーバーを記載したリストが表示されることがあります。別の録画サーバーを選択すると、スケジュールエリアが再表示され、関連するゾーンが表示されます。

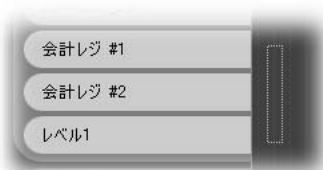
### ステップ2：録画スケジュールを作成する



カメラ名に対応するスケジュールエリアをドラッグしてマウスボタンを放します。[録画スケジュール追加]ダイアログが表示されます。



または、カメラ名の横のスケジュールエリアを右クリックし、コンテキストメニューの[スケジュール追加]をクリックします。



複数のカメラサーバーを対象にしたスケジュールエリアをドラッグすると、[録画スケジュール追加 - 複数カメラ]ダイアログが表示されます。これによって、複数のカメラサーバーに簡単にスケジュールを設定することができます。一度作成してから、各カメラサーバーの設定を変更することもできます。

### 録画スケジュールを編集、削除する



スケジュールを右クリックしてコンテキストメニューの[編集]を選択するか、スケジュールをダブルクリックします。[録画スケジュール編集]ダイアログが表示されます。

[録画スケジュール編集]ダイアログは、P.78の[録画スケジュール追加]ダイアログと同じ内容です。



## 週間スケジュールを設定する



削除するには、スケジュールを右クリックしてコンテキストメニューの[削除]を選択します。

または、項目をクリックして選択し、[編集]メニューから[削除]を選択するか、キーボードの[Delete]キーを押します。



- スケジュールの録画時間は最短で15分です。
- 同一カメラサーバーで重複するスケジュールは作成できません。



時刻だけを編集する場合は、既存の録画スケジュールをクリックして境界線を右または左にドラッグするだけで、録画時間を長くしたり短くすることができます。マウスでの変更は5分単位が最短になります。5分以内の変更には、録画スケジュールをダブルクリックして[録画スケジュール編集]ダイアログをご使用ください (→ P.77)。

**録画スケジュール追加 - Camera**

スケジュール

開始 終了(翌日)

時間 00:00 から 00:00 終日

曜日 ☒ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日

録画設定

録画モード ☒ 常時録画 5 fps

☒ 動き検知録画 設定...

☒ センサー録画 設定...

プリセット 指定しない

☐ プリセット巡回 設定...

逆光補正 指定しない

プレビュー

カメラ制御... 本体設定...

暗視機能 指定しない

映像サイズ 指定しない

追加オプション ☐ 露出 ☐ ホワイトバランス ☐ フォーカス

外部デバイス出力

☐ 外部デバイス出力を操作する 設定...

OK キャンセル

開始時刻と終了時刻、曜日を設定します (→ P.79)。

フレームレートを設定したり、動き検知やセンサーイベントによる録画を設定します (→ P.80)。

プリセットカメラアングルと逆光補正を設定します (→ P.81)。

プレビュー映像ウィンドウの中でマウスカーソルを移動してカメラアングルを変更します (→ P.66)。

[カメラ制御パネル]でカメラサーバーの制御を行います。

Internet Explorerが起動してカメラサーバーのトップページを表示します。

暗視機能、映像サイズ等を設定します (→ P.82)。

外部デバイス出力を設定します (→ P.83)。

※カメラサーバーの種類によって設定できる外部デバイス出力の数異なります。

設定については次のページ以降で説明します。



## [録画スケジュール追加/編集] ダイアログ - [スケジュール]

カメラサーバーの録画時刻を設定するには、次のように操作します。

### ステップ1：録画時刻を設定する

時または分をクリックし選択してから、上矢印/下矢印をクリックもしくは直接入力して、時刻を変更します。



ヒント

- [開始]を22:00、[終了]を8:00のように日付を越える時間帯での録画を設定することもできます。
- 24時間録画したい場合は、[終日]ボタンをクリックします。[開始]時刻と[終了]時刻はそれぞれ00:00に設定されます。

### ステップ2：録画する曜日を選択する

[曜日]では、上記の[時間]で設定した録画時刻を適用する曜日をチェックします。



お願い

- 祝祭日などの特定スケジュールを設定すると、終日にわたって週間スケジュールよりも優先されます。
- 時刻は24時間制のため、たとえば6:00pmの場合は18:00になります。
- カメラサーバーで[ユーザーへのサービス時間を設定する]項目が有効になっている場合、VK-64/VK-16ではサービス時間内のみ録画を行うことができます。
- 録画スケジュールに使用される時間帯は、録画サーバーが動作しているPCの時間帯に基づいています。
- PCのオペレーティングシステムで夏時間の設定が行われている場合、録画サーバーは夏時間の開始時および終了時に調整を行います。



### [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - [録画設定]

録画に関するカメラサーバーの各種設定は、次のように操作します。

#### ステップ1：録画モードを設定する



1 ある時間帯にわたって連続して録画を行う場合は、**[常時録画]**をチェックします。

2 ドロップダウンメニューからフレームレートを選択するか、または数値を入力してください。フレームレートは、0.1～30フレーム/秒の範囲で設定できます。5フレーム/秒がデフォルトのフレームレートです。



お願い

- 録画サーバーのCPU負荷やディスク負荷が高くなると、指定通りのフレームレートで録画できなかったり、録画を一時停止することがあります。
- フレームレートを高くするとディスクの使用量が大きくなります。ディスクに十分な空き容量があることを確認してください。
- 録画サーバーが実際に録画したフレームレートが、設定した最大フレームレートの値と異なる場合があります。これは、カメラサーバーにアクセスしているビューワの数、カメラサーバーと録画サーバーの負荷、ネットワークトラフィックなどの変化によるものです。VB-C10で映像サイズを640×480に設定している場合、最大フレームレートは10フレーム/秒となり、VB150で4台のカメラを接続している場合には2～3フレーム/秒となります。

#### 動き検知による録画か、センサーイベントによる録画かを選択する（オプション）



1 動きを検知した場合に録画を開始するには、**[動き検知録画]**をチェックします。

2 センサーから録画動作を起動するには、**[センサー録画]**をチェックします。

3 **[設定...]**ボタンをクリックし、詳細設定を行ってください（→P.85、P.91）。



## ステップ2：プリセットカメラアングルの選択と逆光補正機能の調整



**1** プレビュー映像ウィンドウには、選択されているカメラサーバーが接続されている場合、そのカメラサーバーのライブプレビュー映像が表示されます。

**[プリセット]** ドロップダウンメニューからカメラサーバーのプリセット位置を選択すると、そのアングルからのライブプレビュー映像が表示されます。

また、プレビュー映像ウィンドウ上にマウスカーソルを移動すると、矢印が表示されカメラアングルを変更することができます (→ P.66)。

**2** 複数のプリセット位置を順に移動するには**[プリセット巡回]**をチェックします (VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiのみ)。プリセット位置の巡回順を設定するには**[設定...]**ボタンをクリックします。プリセット巡回の設定方法については、P.96を参照してください。

**3** **[逆光補正]** ドロップダウンメニューから**[入]**または**[切]**を設定します (VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi では、**[強]**、**[中]**、**[弱]**、**[切]**)。

**[指定しない]**を選択すると、カメラサーバーで設定された逆光補正になります。



お願い

- プレビュー映像ウィンドウでマウスカーソルを移動しコントロールを表示してカメラアングルを調整することもできます。クリック操作により、パン、チルト、ズームに関する調整を行います (→ P.66)。
- カメラサーバー操作が終わると、**[プリセット]**は**[今の位置で録画]**になり、録画時には現在の逆光補正とカメラサーバー位置の設定が使用されます。VB-C300のデジタルズーム領域でのプリセット位置設定は画角が狭くなることがあります。
- **[プリセット]**を**[指定しない]**に設定すると、録画サーバーはカメラサーバーが現在映像を表示している位置で録画を行います。ただし、ビューワーからカメラアングルを変更すると、変更後の位置で録画が行われます。
- 次のような場合には、録画サーバーはカメラサーバーが現在映像を表示している映像を録画します。
  - ・ VB150に複数のカメラを接続し、「ビデオ入力」の設定が「切替え」になっている
  - ・ VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiに外付けカメラを接続し、「外部ビデオ入力を使用する」の設定がされている
- VB-C50i/VB-C50iRのカメラヘッドポジションの初期化動作中は、カメラサーバーが現在の位置から一度正面を向き、初期化が終了すると再び元の位置に戻ります。この間の映像は録画されますのでご注意ください。



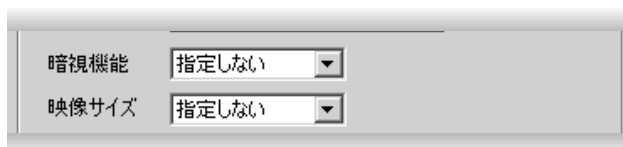
## 週間スケジュールを設定する



お願い

- プリセット巡回を使用すると、動き検知による録画、逆光補正、追加オプションは使用できません。
- プリセット巡回に追加するプリセットは、カメラサーバーで作成されたものです。カメラサーバーを使用してプリセットを作成する方法については、カメラサーバーの使用説明書を参照してください。
- VB-C300は、カメラサーバー側でプリセット巡回を行うことはできませんが、本設定を使用してプリセット巡回を行うことができます。

### ステップ3：暗視機能と映像サイズを設定する（VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi、VB150）



1

【暗視機能】をドロップダウンメニューから選択します。【指定しない】、【デイモード】、【ナイトモード】、【自動】（VB-C300のみ）の選択項目があります。

2

ドロップダウンメニューから録画時の【映像サイズ】を選択します。【小】、【中】、【大】、【指定しない】の選択項目があります。

【指定しない】を選ぶと、カメラサーバー側の暗視機能と映像サイズの設定に従い録画されます。



お願い

- 【ナイトモード】を選択した場合は、録画スケジュールの終了後、デイモードの状態になります。
- 映像サイズを大きくするとディスクの使用量も大きくなります。ディスクに十分な空き容量があることを確認してください。



ヒント

- VB150にVC-C50i/VC-C50iRが接続されている場合にも【暗視機能】設定が行えます。
- 【本体設定】をクリックすると、Internet Explorerが起動してカメラサーバーのトップページが表示されます。詳細はカメラサーバーの使用説明書をご確認ください。カメラサーバーの設定を変更することができます。

### ステップ4：追加オプションを設定する



【カメラ制御パネル】で設定した、露出、ホワイトバランス、フォーカスの設定値を使用するには、各チェックボックスをチェックします。

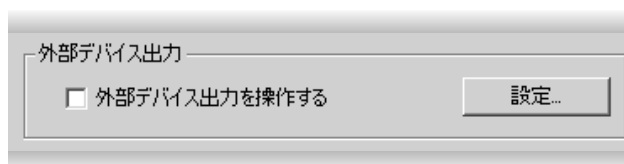


お願い

- 追加オプションは、VB-C300のみで使用することができます。
- 【露出】をチェックすると、【逆光補正】は無効表示になります。



## [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - [外部デバイス出力]



1 外部デバイス出力を操作するには**[外部デバイス出力を操作する]**をチェックします。

2 外部デバイス出力の設定を変更するには**[設定...]**ボタンをクリックします。そうでない場合はデフォルト設定が適用されます。



3 **[設定...]**ボタンをクリックした場合は、**[外部デバイス出力設定]**ダイアログで、目的の出力先のドロップダウンメニューをクリックして、**[常に入]**または**[指定しない]**に設定します。



ヒント

VB-C300では、**[外部デバイス出力設定]**ダイアログで設定できる出力先は1種類です。

新しい設定を保存する場合は**[OK]**ボタンをクリックします。

変更内容をキャンセルする場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。

**[OK]**ボタンをクリックした後でも、プリセットと逆光補正はビューワー画面上に表示される映像ウィンドウに反映されます。必要に応じて**[カメラ制御]**ボタンをクリックしてカメラ制御を行ってください。

さらに操作を続ける場合は次のページに進んでください。センサーや動き検知による録画に使用されるダイアログについて説明しています。



お願い

カメラサーバーには、センサー入力やスケジュールによって映像を本体のメモリに録画する機能があります。カメラサーバー側でこれらの機能が有効になっている場合、VK-64/VK-16での設定よりも優先されるため、設定した録画スケジュール時に指定のカメラサーバー位置で録画が行われない場合があります。VK-64/VK-16側で録画を行うには、カメラサーバーの設定を無効にしてください。



# 動き検知録画とセンサー録画の設定

## [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - 動き検知とセンサーの設定

動き検知録画とは、画像に変化があったときに録画する機能で、センサー録画とはセンサーに入力があったときに録画する機能です。

[録画スケジュール追加/編集]ダイアログには、録画パラメーターを設定するための2つのオプションがあります。録画オプションを有効にする方法と設定値を調整する方法を以下に説明します。

### 動き検知とセンサー録画の設定画面を表示する



それぞれのボックスをチェックすると、その機能が有効になります。これによって、デフォルトの設定値が有効になります。

各オプションのデフォルト設定を変更するには[設定...]をクリックします。対応するダイアログがそれぞれ表示されます。





## [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - 動き検知設定の編集

動き検知録画の設定で検知領域や、動き検知の感度などを編集することができます。たとえば2つの入口があり、そのうちの1つにのみ動きをチェックする場合など、必要に応じて検知領域を変更することができます。

### ステップ1：[動き検知録画]の隣の[設定...]ボタンをクリックする



[動き検知設定]ダイアログが開きます。  
(VB-C300のダイアログを下に示します。)

VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiの場合、このボタンをクリックしてカメラサーバー上での動き検知を有効にします (→ P.86)。

動きによって発生するイベントの優先度を設定します。

感度オプションを選択します。

制御点をドラッグすると検知領域のサイズを調整できます。

動作中は検知インジケーターが長くなります。



動きによって開始される録画のフレームレート、イベント前録画時間、イベント後録画時間を選択します。

外部出力を有効にします。



お願い

- 常時録画と動き検知録画がどちらも設定されている場合、イベント前録画は設定できません。
- カメラサーバーには、センサー入力やスケジュールによって映像を本体のメモリに録画する機能があります。カメラサーバー側でこれらの機能が有効になっている場合、VK-64/VK-16での設定よりも優先されるため、設定した録画スケジュール時に指定した位置で録画が行われない場合があります。VK-64/VK-16で録画を行う場合は、カメラサーバーの録画設定を無効にしてください。



### ステップ2：録画のための検知領域を設定する



[検知領域]では、動き検知を行う領域を調整することができます。デフォルトの場合、[検知領域]は全エリアとなります。なお、カメラサーバーのパン、チルト、ズームをこのウィンドウで操作することはできません。

- 1 映像エリアの四隅のいずれか、または端の四角の制御点をクリックします。
- 2 動きを検知する境界線（点線の枠）を変更するには、制御点をドラッグします。つまり、大きさを変えるには四隅をドラッグし、それぞれの辺を内側または外側に動かすには境界線の制御点をドラッグします。

### ステップ3：動き検知のオプションを設定する

[動き検知設定]で、次のオプションを設定します。



- 1 [検知手段] ドロップダウンメニューから、以下のいずれかを選択します。  
**[録画サーバー]**  
 カメラサーバーから映像を取得して、録画サーバーで動きを検知します。  
**[カメラサーバー]**  
 カメラサーバーに搭載されている動き検知機能を利用して動きを検知します。  
 （「ビデオ入力」設定が「切替え」になっているVB150または、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiのみ）
- 2 [フレームレート] メニューから、0.1～30フレーム/秒の範囲で選択します。

検知手段としてカメラサーバーを選択した場合、[設定...]ボタンが利用可能です。このボタンをクリックすると、カメラサーバー付属の「動き検知設定ツール」が起動します。あらかじめ、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fiに同梱の「VB管理ツール」をインストールしておいてください。動き検知の設定方法はカメラサーバーに付属の使用説明書を参照してください。カメラサーバー側での動き検知については、「システム管理者マニュアル」を参照してください。



- VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi側で動き検知設定を行う場合は、スケジュール設定ツールから動き検知を実行するスケジュールを設定する必要があります。
- 録画サーバー側で動き検知を設定していると、検知の設定やカメラサーバー台数によっては、CPU負荷が高くなるため、録画に支障が出る場合があります。動き検知は、カメラサーバー側で設定することを強くお勧めします。



[動き検知設定]で、[検知領域]内で発生する動き検知の感度を設定することができます。[感度]、[面積比]、[継続時間]の3つをスライダーを使って設定します。

動き検知の状態は、[検知インジケータ]で確認できます。

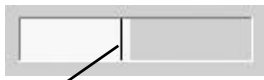


### [検知インジケータ]の色

[検知インジケータ]では動きが緑のバーで示され、動きの程度が[感度]と[面積比]の設定値に達しない場合は緑のままになっています。設定値に達するとカラーバーが黄色になり、その状態が[継続時間]で設定された時間だけ続くと、カラーバーが赤になり、イベントが発生します。[検知インジケータ]の動作を、以下に示します。



面積比マーカー



面積比マーカー



面積比マーカー

- カラーバーが緑- 変化した部分の面積が指定した[面積比]より少ない状態です。このとき、カラーバーは面積比マーカーより左側の範囲で動いています。
- カラーバーが黄色- 変化した部分の面積が指定した[面積比]と同じか大きい状態です。このとき、カラーバーは動きのピークが面積比マーカーの位置と同じか右側にあります。しかし、動きの継続時間は、イベントが発生するのに必要な時間に達していません。
- カラーバーが赤- 設定された動き検知条件を満たす程度の動きの変化が検出され、設定された時間だけ継続している状態です。このときになってはじめて、録画を実行するためのイベントが発生します。



### [感度]を設定する

[感度]とは、動きとして検知するための変化の大きさです。



1

[低感度]または[高感度]を選択します。設定可能な感度の範囲は1～256です。

[低感度]をクリックすると1～128、  
[高感度]をクリックすると129～256の範囲で感度が設定できます。

2

[感度]を調整するには、スライダーをドラッグして、目的の感度に設定します（感度切替設定によります）。



動き検知録画の設定は、カメラサーバーの映像品質の影響を受けます。動き検知の設定後は、カメラサーバーの映像品質を変更しないようにしてください。

### [面積比]を設定する

[面積比]とは、動きとして検知するための変化した面の大きさ（設定されている検知領域に対する比率）です。



[面積比]スライダーを、0%～100%の間の任意の位置にドラッグします。これにより、検知エリア（点線の枠）内で動きが検出されるのに必要な画像の比率が決まります。



面積比マーカー

スライダーをドラッグすると、[面積比]の設定値の変化に応じて、検知インジケーター内の面積比マーカー（黒い縦線）が動きます。

### [継続時間]を設定する

[継続時間]とは、動きとして認識されるのに必要な変化の継続時間です。



[継続時間]スライダーを、0.0～5.0秒の間の任意の位置にドラッグします。これにより、イベントが発生するのに必要な動きの継続時間が決まります。また、これによりイベントが完了するのに必要な、動きのない継続時間も決まります。



## ステップ4：イベントの優先度を設定する

このイベントの優先度

優先度 2. 高

[優先度]で、この動きによって生じたイベントの優先度をドロップダウンメニューの[1. 最高]～[5. 最低]から選択します。優先度は、ビューワー画面でタイムライン上で色分けして表示されます。

## ステップ5：フレームレート、イベント前録画時間、イベント後録画時間を設定する

録画設定

最大フレームレート 5 fps

イベント前 0 秒

イベント後 0 秒

[録画設定]で、次のように設定します。

**1** [最大フレームレート] - 映像を録画する際の最大フレームレートをドロップダウンメニューから選択するか、または数値を入力します。0.1～30フレーム/秒の範囲で設定できます（デフォルト値は5フレーム/秒）。

**2** [イベント前] - イベントが発生する前の秒単位の録画時間を入力します（最大30秒まで）。



- [常時録画]と併用する場合は、[イベント前]は設定できません。
- [イベント前]を1秒以上設定すると、イベント発生から実際にイベントが表示されるまでに10秒前後かかる場合があります。

**3** [イベント後] - イベントが発生した後の秒単位の録画時間を入力します（最大999秒まで）。

## ステップ6：外部デバイス出力を設定する

外部デバイス出力

出力 1: 指定しない

目的の出力先のドロップダウンメニューをクリックして、[常に入]または[指定しない]に設定します。





お願い

- 設定できる出力先はカメラサーバーによって異なります。
- カメラサーバーには、センサー入力やスケジュールによって映像を本体のメモリに録画する機能があるものがあります。この場合、カメラサーバー側でこれらの機能が有効になっている場合、VK-64/VK-16での設定よりも優先されるため、設定した録画スケジュール時に指定した位置で録画が行われない場合があります。VK-64/VK-16で録画を行う場合は、カメラサーバーの録画設定を無効にしてください。

新しい設定値を保存する場合は[OK]ボタンをクリックします。

変更内容を削除する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



お願い

[イベント前]と[イベント後]が0秒にセットされている場合でも、動きが検知されている間は録画が行われます。



ヒント

動き検知動作の最適化については、「システム管理者マニュアル」を参照してください。



## [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - センサー設定の編集

センサーイベント発生による録画の設定値を指定することができます。[センサー設定]ダイアログに表示されるタブの数は、各カメラサーバーのセンサーの数によって決まります。各センサーごとに録画設定を変更することができます。

### ステップ1：[センサー録画]の隣の[設定...]ボタンをクリックする



[センサー設定]ダイアログが開きます。

タブをクリックするとそのセンサーの設定を変更できます。  
センサー名は、カメラサーバーで設定した名前が表示されます。

暗視機能は、VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi、またはVB150に接続したVC-C50i/VC-C50iRで使用できます。この機能を、[指定しない]、[デイモード]、[ナイトモード]から選んで設定することができます。

センサーイベント発生時に[外部デバイス出力]を、[常に入]または[指定しない]に設定することができます。

[カメラ制御パネル]でカメラ制御を行います。カメラ制御パネルについては、「ビューワマニュアル」を参照してください。

Internet Explorerが起動してカメラサーバーのトップページが表示されます。

追加オプション（露出、ホワイトバランス、フォーカス）の使用を設定します。

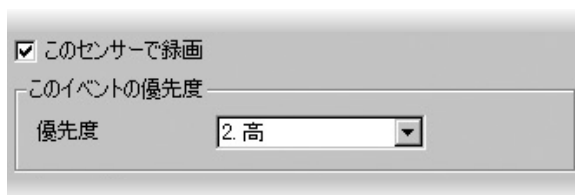


お願い

- センサーイベントが頻繁に発生する場合は、録画サーバーのCPU負荷が高くなります。目安として、毎分10件を超えるイベントが発生し続ける場合には常時録画をお勧めします。
- 暗視機能を「ナイトモード」に設定すると、赤外線カットフィルターが無効になります。赤外線ライトはオンになりません。赤外線ライトをオンにするには、映像ウィンドウのメニューから行ってください。



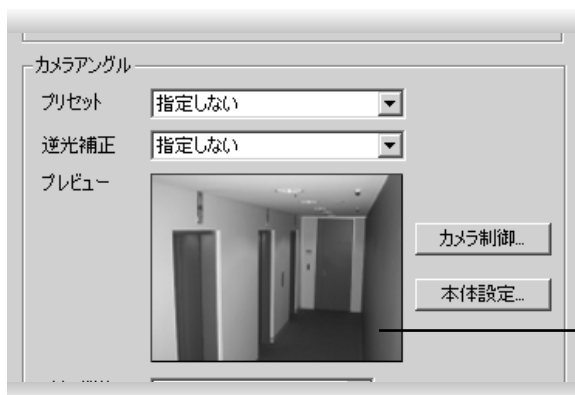
## ステップ2：録画とイベントの優先度を設定する



**1** **[このセンサーで録画]**をチェックして、センサーがオンになったら録画できるようにします。

**2** **[優先度]**で、この動きによって生じたイベントの優先度をドロップダウンメニューの**[1.最高]～[5.最低]**から選択します。優先度は、ビューワー画面でタイムライン上のイベントとして色分けされています。

## ステップ3：センサーがオンになった時のカメラアングルを指定する



**[カメラアングル]**で、**[プリセット]**ドロップダウンメニューから、**[プリセット]**カメラサーバー位置を選択します。センサーがオンになると、カメラサーバーはこの位置に動くように設定されます。

**[指定しない]**を選択すると、プリセットは適用されません。

**[プレビュー]**エリアでマウスカーソルを移動してコントロールを表示し、クリック操作によりパン、チルト、ズームを調整してカメラアングルを変更することもできます(→ P.66)。

カメラサーバーを操作すると、**[プリセット]**は**[今の位置で録画]**になります。



VB-C300のデジタルズーム領域でのプリセット位置設定は画角がずれることがあります。



- **[逆光補正]**ドロップダウンメニューをクリックして、**[入]**を選択すると、逆光になっているカメラサーバー映像を補正することができます。この逆光補正機能は、センサーがオンになったときに使用されます。たとえば、センサーがオンになったら、カメラアングルが室内から屋外の映像へと変わるように設定されている場合に、この機能を利用してください。
- ノーマルクローズタイプのセンサーをご利用する場合は、カメラサーバー登録画面で設定する必要があります。詳細は「外部デバイス入力切替を設定する」(→ P.64)を参照してください。



## ステップ4：暗視機能を設定する（VB-C300、VB-C50i/VB-C50iR、VB-C50FSi、VB-C50Fi）



【暗視機能】（→ P.91）をドロップダウンメニューから選択します。【ナイトモード】、【デイモード】、【指定しない】の選択項目があります。

## ステップ5：追加オプションを設定する（VB-C300）

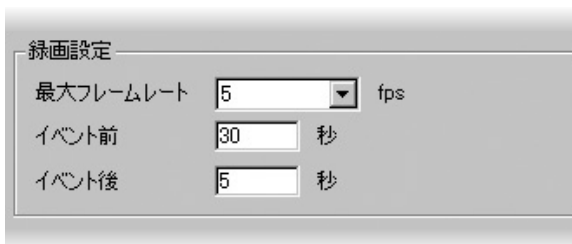


【カメラ制御パネル】で設定した、露出、ホワイトバランス、フォーカスの設定値を使用するには、各ボックスをチェックします。



- 追加オプションは、VB-C300のみで使用することができます。
- 【露出】が設定されている場合は、【逆光補正】は【指定しない】に設定されます。

## ステップ6：フレームレート、イベント前録画時間、イベント後録画時間を設定する



【録画設定】で、次のように設定します。

1

【最大フレームレート】 - 映像を録画する際の最大フレームレートをドロップダウンメニューから選択するか、または数値を入力します。0.1～30フレーム/秒の範囲で設定できます（デフォルト値は5フレーム/秒）。



録画サーバーが実際に録画したフレームレートが、設定した最大フレームレートの値と異なる場合があります。これは、カメラサーバーにアクセスしているビューワーの数、使用されているカメラサーバーの数、カメラサーバーと録画サーバーの負荷、ネットワークトラフィックなどの変化によるものです。



2

[イベント前] - イベントが発生する前の秒単位の録画時間を入力します（最大30秒まで）。



- [常時録画]と併用する場合は、[イベント前]は設定できません。
- [イベント前]を1秒以上設定すると、イベント発生から実際にイベントが表示されるまでに10秒前後かかる場合があります。

3

[イベント後] - イベントが発生した後の秒単位の録画時間を入力します（最大999秒まで）。

新しい設定値を保存するには[OK]ボタンをクリックします。

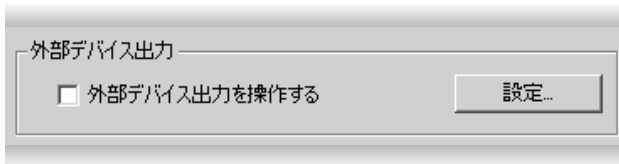
変更内容を削除する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



- [イベント前]と[イベント後]が0秒にセットされている場合でも、センサー入力が検知されている間は録画動作が行われます。
- イベント前の録画時間が長くなるほど、メモリ使用量は多くなります。そのためメモリが不足した状態でイベント前録画時間を長くすると、ディスクを消費する仮想メモリが不足した場合に、大幅に性能が低下する場合があります。
- 常時録画とセンサー録画がどちらも設定されている場合、イベント前録画は設定できなくなります。
- イベント後録画を設定した場合でも、録画されたときのフレームレートやデータサイズ、ネットワーク上の遅延により、イベント後録画が設定した秒数通りに録画されないことがあります。



## ステップ7：外部デバイス出力を設定する



**1** 外部デバイス出力を操作するには**[外部デバイス出力を操作する]**にチェックします。

**2** 外部デバイス出力の設定を変更するには**[設定...]**ボタンをクリックします。そうでない場合はデフォルト設定が適用されます。



**3** **[設定...]**ボタンをクリックした場合は、**[外部デバイス出力設定]**ダイアログで、目的の出力先のドロップダウンメニューをクリックして、**[常に入]**または**[指定しない]**に設定します。



お願い

設定できる出力先はカメラサーバーにより異なります。



お願い

- 最大フレームレートを大きくするほどディスクの使用量が大きくなります。ディスクに十分な空き容量があることを確認してください。
- カメラサーバーには、センサー入力やスケジュールによって映像を本体のメモリに録画する機能があります。カメラサーバー側でこれらの機能が有効になっている場合、VK-64/VK-16での設定よりも優先されるため、設定した録画スケジュール時に指定したカメラサーバー位置で録画が行われない場合があります。VK-64/VK-16側で録画を行うには、カメラサーバーの設定を無効にしてください。



# プリセット巡回の設定

## [録画スケジュール追加/編集]ダイアログ - プリセット巡回の設定

プリセット巡回は、複数のプリセット位置を順に移動する機能です。

[録画スケジュール追加/編集]ダイアログには、プリセット巡回を設定するためのオプションがあります。プリセット巡回を設定する方法を以下に説明します。



お願い

- プリセット巡回の設定によっては、カメラのパン・チルト機構の耐久性に影響する場合があります (→ P. 99)。
- プリセット巡回では、最後のプリセット位置の次に、最初のプリセット位置へカメラ位置が移動します。
- プリセット巡回を使用すると、動き検知による録画、逆光補正、追加オプションは使用できません。
- プリセット巡回に利用するプリセットは、カメラサーバーで設定します。プリセットを作成する方法については、カメラサーバーの使用説明書を参照してください。

### プリセット巡回を設定する



[プリセット巡回]をチェックすると、プリセット巡回の機能が有効になります。これによって、デフォルトの設定値が有効になります。

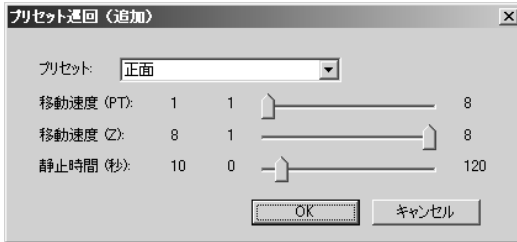
デフォルト設定を変更するには[設定...]ボタンをクリックします。[プリセット巡回設定]ダイアログが表示されます。





## プリセットを追加する

- 1 [プリセット巡回設定]画面で[追加]ボタンをクリックします。  
[プリセット巡回 (追加)]ダイアログが表示されます。



- 2 [プリセット]ドロップダウンメニューから追加するプリセットを選択します。
- 3 選択したプリセットについて、[移動速度 (PT)]、[移動速度 (Z)]、[静止時間 (秒)]の設定を行います。  
設定は、各項目のスライダーを左右にドラッグして行います。
- 4 設定内容を確認し、[OK]ボタンをクリックします。  
[プリセット巡回設定]ダイアログに戻ります。

## プリセット巡回をテストする

- 1 [テスト実行開始]ボタンをクリックします。  
[テスト実行開始]ボタンを使用すると、プリセット巡回を1回実行し、確認を行うことができます。

## プリセットの設定内容を変更する

- 1 変更するプリセットを一覧から選択して、[編集]ボタンをクリックします。  
[プリセット巡回 (編集)]ダイアログが表示されます。
- 2 [移動速度 (PT)]、[移動速度 (Z)]、[静止時間 (秒)]の設定を行います。  
設定は、各項目のスライダーを左右にドラッグして行います。
- 3 設定内容を確認し、[OK]ボタンをクリックします。  
[プリセット巡回設定]ダイアログに戻ります。



ヒント

VB-C300を使用している場合、[カメラ操作時にフォーカスをデフォルト設定に戻す]を選択して、フォーカスをデフォルト設定に戻すことができます。



### プリセットの順番を変更する

順番を変更するプリセットを一覧から選択して、[上へ]、または[下へ]ボタンをクリックします。

### プリセットを削除する

- 1

 削除するプリセットを一覧から選択して、[削除]ボタンをクリックします。
- 2

 [OK]ボタンをクリックします。  
[プリセット巡回設定]ダイアログに戻ります。

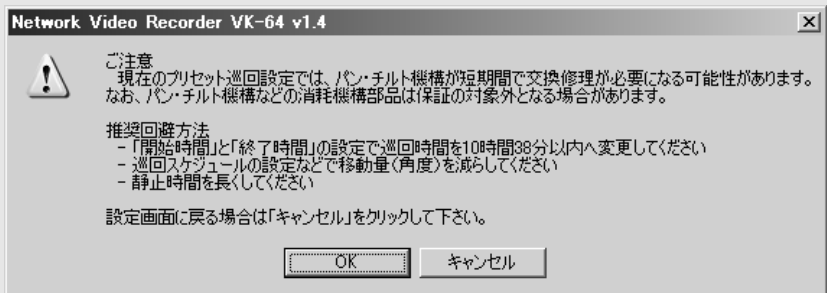




お願い

以下の警告表示が出た場合には、下表を参考に設定内容の変更を検討してください。

警告画面例



\*画面内の巡回時間は設定により変わります。

[キャンセル]ボタンを押すと設定画面に戻ります。

[OK]ボタンを押すとそのまま設定データは保存されます。

(プリセット設定ツールをご使用の場合、設定ページの[保存]をクリックしてください。)

パン・チルト機構の耐久目安はフル角度作動時で10万往復です。総巡回時間は移動速度/移動範囲/静止時間の組み合わせで決まります。下表を参考に設定してください。

パン方向のプリセット巡回が10万往復相当に至るまでの総巡回時間（目安）

移動速度（PT）1の場合

静止時間 (秒)	パン方向移動範囲（度）		
	±50	±100	±150
0	3872	3825	3809
10	5666	4722	4407
20	7555	5666	5037
30	9444	6611	5666

(単位：時間)

移動速度（PT）2の場合

静止時間 (秒)	パン方向移動範囲（度）		
	±50	±100	±150
0	1983	1936	1920
10	3777	2833	2518
20	5666	3777	3148
30	7555	4722	3777

(単位：時間)

例： 移動速度（PT）：1、静止時間：30秒、パン方向の移動範囲（角度）：±50度  
の場合、9444時間で10万往復相当に至ります。



# 週間スケジュールの変更内容を保存する

[週間スケジュール]設定が終わったら...



[録画スケジュール]画面の右下隅には、[スケジュールを保存]、[変更を破棄]という2つのボタンがあります。



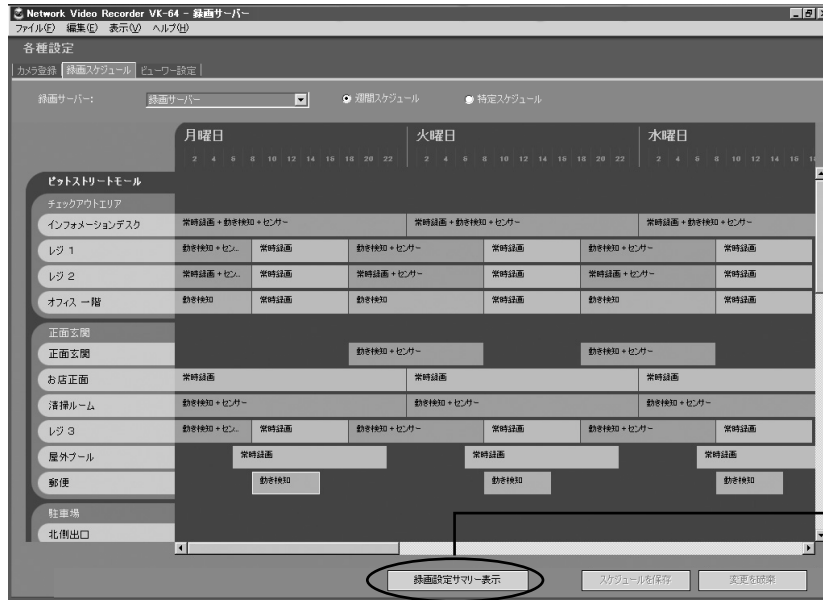
- すべての設定内容を保存するには、[スケジュールを保存]をクリックします。設定内容が録画サーバーに保存されます。
- 変更内容をすべてキャンセルするには、[変更を破棄]をクリックします。

ビューワーに戻りたい場合は、メニューバーの[表示]メニューから[ビューワー画面]を選択します。

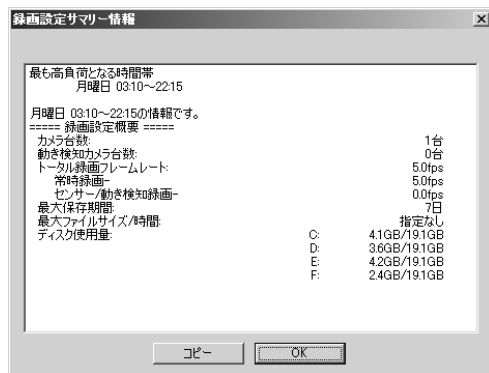


## 録画設定サマリーを表示する

設定したスケジュールのサマリー情報を確認します。



[週間スケジュール]画面の中央下には、[録画設定サマリー表示]ボタンがあります。



[録画設定サマリー表示]ボタンをクリックすると、[録画設定サマリー情報]ダイアログが表示されます。

[録画設定サマリー情報]ダイアログには、スケジュールを実行した場合に負荷がもっとも高くなる時間帯についての以下の情報が表示されます。

- カメラ台数
- 動き検知カメラ台数
- トータル録画フレームレート
  - トータル録画フレームレート (常時録画)
  - トータル録画フレームレート (センサー/動き検知録画)
- 最大保存期間
- 最大ファイルサイズ/時間
- ディスク使用量

確認後[OK]ボタンをクリックして、[録画設定サマリー情報]ダイアログを閉じます。





お願い

負荷が高すぎる場合は、スケジュール内容を再度調整してください。



ヒント

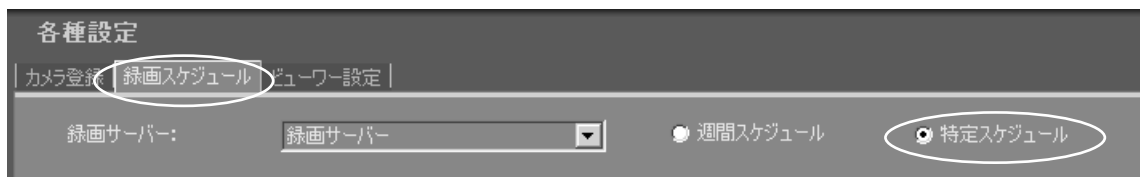
[コピー]ボタンをクリックすると、[録画設定サマリー情報]ダイアログの内容がクリップボードにコピーされます。



# 特定日の録画を設定する

## 特定日の録画について

[特定スケジュール]は、祝祭日などの特定日の設定に使用します。[特定スケジュール]を設定すると、重複している[週間スケジュール]の設定は無効になります。



[各種設定]画面で[録画スケジュール]タブをクリックし、[特定スケジュール]がセットされていることを確認します。[特定スケジュール]では、以下の設定を行うことができます。

- [録画サーバー] - リストから録画サーバーを選択して、そのサーバーのスケジュールを追加/編集します。関連するロケーションとゾーンがスケジュールエリアに表示されます。
- 特定スケジュールリスト - 特定スケジュールを選択することができます。これは、祝祭日や長い週末休暇など、ユーザーが定義するスケジュールです。
- 日付リスト - スケジュールの日付を選択することができます。
- スケジュールエリア - 24時間が設定の対象となります。週間スケジュールよりも優先されます。



## 6

### 録画スケジュールの設定



## 特定日の録画を設定する

録画サーバーリスト

スケジュールエリア (24時間)

Network Video Recorder VK-64 - 録画サーバー

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

各種設定

カメラ登録 録画スケジュール ビューワー設定

録画サーバー: 録画サーバー

週間スケジュール 特定スケジュール

1. 特定スケジュール

スケジュールを選択:

三連休  
元旦  
成人の日  
建国記念の日  
春分の日

追加... 編集... 削除

2. 日付

スケジュールを使う日:

2006/10/07  
2006/10/08  
2006/10/09

3. スケジュール: 三連休

ピットストリートモール

チェックアウトエリア

インフォメーションデスク 動き検知 + センサー

レジ 1 動き検知 + センサー

レジ 2 動き検知 + センサー

オフィス 一階 動き検知 + センサー

正面玄関

正面玄関 動き検知 + センサー

お店正面 動き検知 + センサー

日付リスト

特定スケジュールリスト

ゾーンに登録されているカメラサーバー一覧

スクロールバーをドラッグすると、他の曜日の録画スケジュールや別のゾーンを確認することができます。



お願い

- スケジュールエリアの機能は週間スケジュールと同じですが、対象となる範囲が1日単位(00:00から24:00まで)である点が異なります。たとえば長い週末休暇中(金、土、日)に特定スケジュールを機能させるには、このスケジュールを使用する日付のリストに、この3日分の日付を追加する必要があります。
- 特定スケジュールの実行中は、週間スケジュールが設定されていても無効になります。無効になったスケジュールが存在する場合は、以下の警告が表示されます。「録画スケジュールが登録されていないカメラがあります。このまま保存してもよろしいですか?」

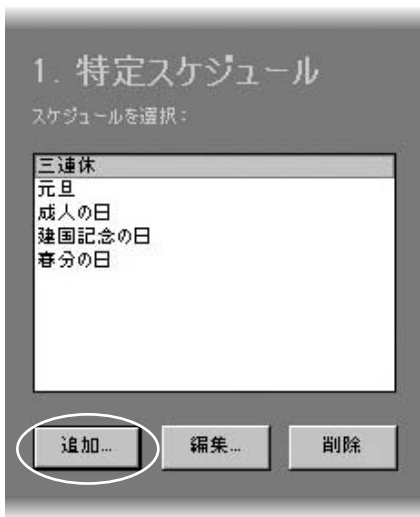


## 特定スケジュールを追加、編集、削除する

**[特定スケジュール追加]**ダイアログでは、新しい特定スケジュールの名前を入力することができます。日付を特定スケジュールに対応付けるためには、先に特定スケジュールを作成しておく必要があります。追加できる特定スケジュールの数に制限はありません。

ダイアログを起動してスケジュールを追加するには、次のように操作します。

### ステップ1：[特定スケジュール]リストの下[追加...]ボタンをクリックする



[追加...]ボタンをクリックします。**[特定スケジュール追加]**ダイアログが表示されます。

### ステップ2：名前を入力する



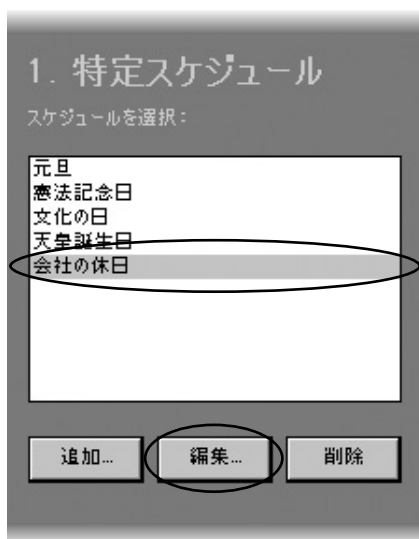
**1** **[スケジュール名]**に「会社定休日」のように名前を入力します（全角・半角あわせて20文字まで）。

**2** **[OK]**ボタンをクリックします。  
特定スケジュールが追加され、ダイアログが閉じます。

**[特定スケジュール]**リストに新しいスケジュールが表示されます。



### 特定スケジュールを編集する



1 [特定スケジュール]で[特定スケジュール]リストのいずれかのスケジュール項目をクリックして選択します。

2 [編集...]ボタンをクリックします。  
[特定スケジュール編集]ダイアログが表示されます。

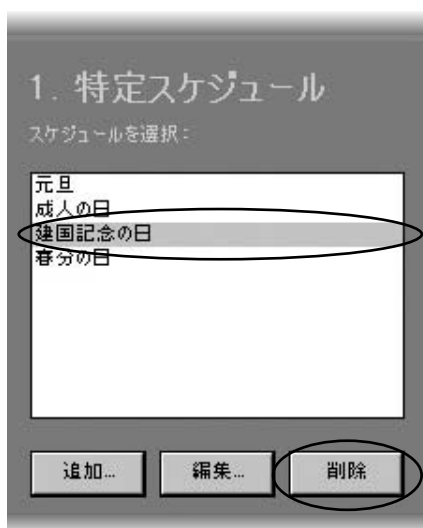


新しい名前を入力します。たとえば、「会社の休日」を「会社の創立記念日」に変更します。

[OK]ボタンをクリックします。

編集内容が保存され、ダイアログが閉じます。

### 特定スケジュールを削除する



1 [特定スケジュール]で[特定スケジュール]リストのいずれかのスケジュール名をクリックして選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。  
特定スケジュールが削除されます。



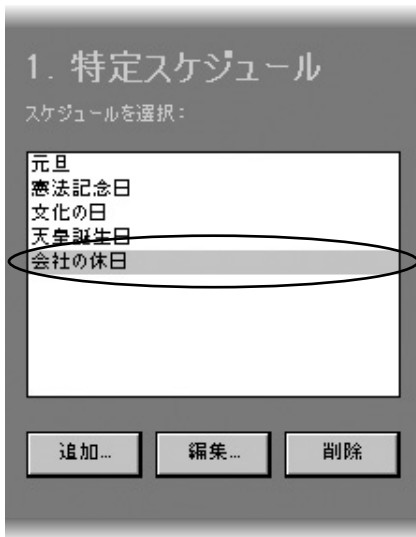
日付が対応付けられている特定スケジュールを削除しようとする、警告が表示されます。対応付けられている日付を削除してから特定スケジュールを削除してください。



## 日付を追加、削除する

[日付選択]カレンダーを使って、特定スケジュールに対応する日付を選択することができます。  
日付を追加するには、次のように操作します。

### ● 日付を追加する



- 1 [特定スケジュール]リストの「会社の休日」などの特定スケジュール（P.105で作成したもの）をクリックし、[日付]リストの下の[追加...]ボタンをクリックします。

[日付選択]カレンダーが表示されます（下図参照）。

- 2 カレンダーの中の特定の日付をクリックして選択し、[OK]ボタンをクリックします。

同じ特定スケジュールに別の日付を追加したい場合はもう一度[追加...]ボタンをクリックします。

追加した日付は[日付]リストに表示されます（次ページの例を参照）。

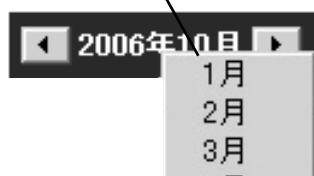
カレンダーで別の月や年を選択する方法は、次のページで説明します。





## 特定日の録画を設定する

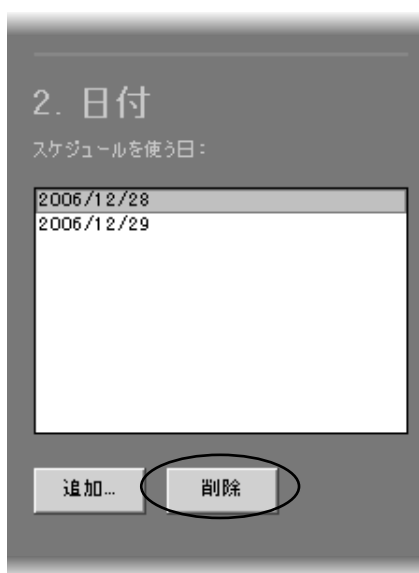
現在の月をクリックすると月リストが表示されます。



別の年を選択するには、現在の年をクリックし上下の矢印を使用してスクロールします。



### 日付を削除する



1 [特定スケジュール]で[特定スケジュール]リストの中の「会社の休日」などの特定スケジュールをクリックし、次に[日付]リストに表示されている、特定スケジュールに対応付けられた日付をクリックします。

2 [日付]リストの下の方の[削除]ボタンをクリックします。特定スケジュールから日付が削除されます。



- 異なる特定スケジュールに同じ日に対応付けようとすると、警告が表示され、他の項目を削除してから新しい項目を作成するように指示されます。
- 過去の日付はイタリック体で表示されます。



# 特定スケジュールの変更内容を保存する

特定スケジュールの設定が終わったら...



[録画スケジュール]画面の右下隅には、[スケジュールを保存]、[変更を破棄]という2つのボタンがあります。



- すべての設定内容を保存するには、[スケジュールを保存]をクリックします。  
設定内容が録画サーバーに保存されます。
  - 変更内容をすべてキャンセルするには、[変更を破棄]をクリックします。
- ビューワーに戻りたい場合は、メニューバーの[表示]メニューから[ビューワー画面]を選択します。

# 6

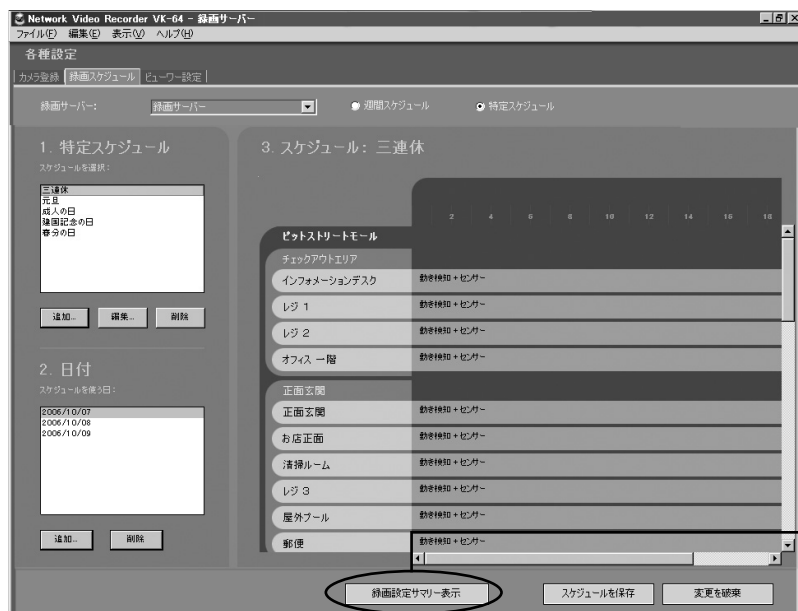
録画スケジュールの設定



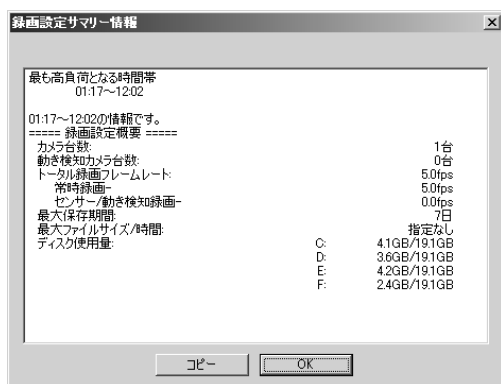
## 特定スケジュールの変更内容を保存する

## 録画設定サマリーを表示する

設定したスケジュールのサマリー情報を確認します。



[週間スケジュール]画面の中央下には、[録画設定サマリー表示]ボタンがあります。



[録画設定サマリー表示]ボタンをクリックすると、[録画設定サマリー情報]ダイアログが表示されます。

[録画設定サマリー情報]ダイアログには、スケジュールを実行した場合に負荷がもっとも高くなる時間帯についての以下の情報が表示されます。

- カメラ台数
- 動き検知カメラ台数
- トータル録画フレームレート
  - トータル録画フレームレート（常時録画）
  - トータル録画フレームレート（センサー/動き検知録画）
- 最大保存期間
- 最大ファイルサイズ/時間
- ディスク使用量

確認後[OK]ボタンをクリックして、[録画設定サマリー情報]ダイアログを閉じます。





お願い

負荷が高すぎる場合は、スケジュール内容を再度調整してください。



ヒント

[コピー]ボタンをクリックすると、[録画設定サマリー情報]ダイアログの内容がクリップボードにコピーされます。



# 録画状況を確認する

## 録画状況の確認

週間スケジュール、特定スケジュールの設定を保存すると、カメラサーバーは、録画または録画準備を開始します。

録画状況は、[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面、[カメラサーバー編集]ダイアログで確認することができます。

### [録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面を確認する

1

ビューワーを起動します。

ビューワー起動方法は、第3章を参照してください。

2

[表示]メニューから[設定画面]を選択します。

[各種設定]画面が表示されます。

3

[カメラ登録]タブをクリックします。

[録画サーバーとカメラサーバーの登録]画面が表示されます。

4

[カメラサーバー]リストから、目的のカメラサーバーの[録画モード]、[ステータス]、[映像サイズ]、[fps]、[映像品質]を確認します。



ヒント

[ステータス]には、以下の状況が表示されます。

- [接続なし]： 通信・接続エラーが発生しています。エラー番号も表示されます。
- [待機中]： 接続していますが、現在は画像を受信していません。
- [受信中]： 画像データを受信していますが、録画はしていません。(イベント前録画および録画サーバー側での動き検知が設定されているスケジュールの実行時で、かつ録画が実行されていない状況で表示されます。)
- [録画中]： 画像データを受信および録画中です。受信画像のビットレートも表示されます。
- [エラー]： エラーが発生しています。「ファイル書き込み」、「ドライブ不正」などのエラーも表示されます。
- [無効]： カメラサーバーが無効状態です。カメラサーバーが「録画しない」に設定されている場合は、空欄が表示されます。



## [カメラサーバー編集]ダイアログを確認する

- 1

 [カメラサーバー]リストから、目的のカメラサーバーを選択し、[カメラサーバー編集]ボタンをクリックします。  
[カメラサーバー編集]ダイアログが表示されます。
- 2

 [接続]ボタンをクリックします。  
カメラサーバーとの接続が開始されます。
- 3

 画面右側の[カメラ設定]タブから、目的のカメラサーバーを選択します。  
[カメラ設定]タブが表示されます。
- 4

 [プリセット]、[逆光補正]を確認します。







# 第 7 章

## ビューワーの設定をする

この章では、ビューワー固有の設定について説明します。



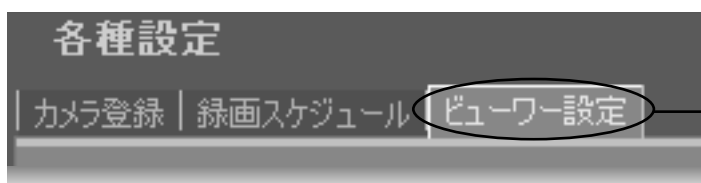
ビューワーの設定後、必ず運用テストを行ってください。



# ビューワーの設定をする

## [ビューワー設定]画面について

[ビューワー設定]画面は、イベント通知の優先度やライブ映像のフレームレートなどを設定する際に使用します。これらの設定内容は、マスター録画サーバーではなく、ビューワーのPCに保存されます。



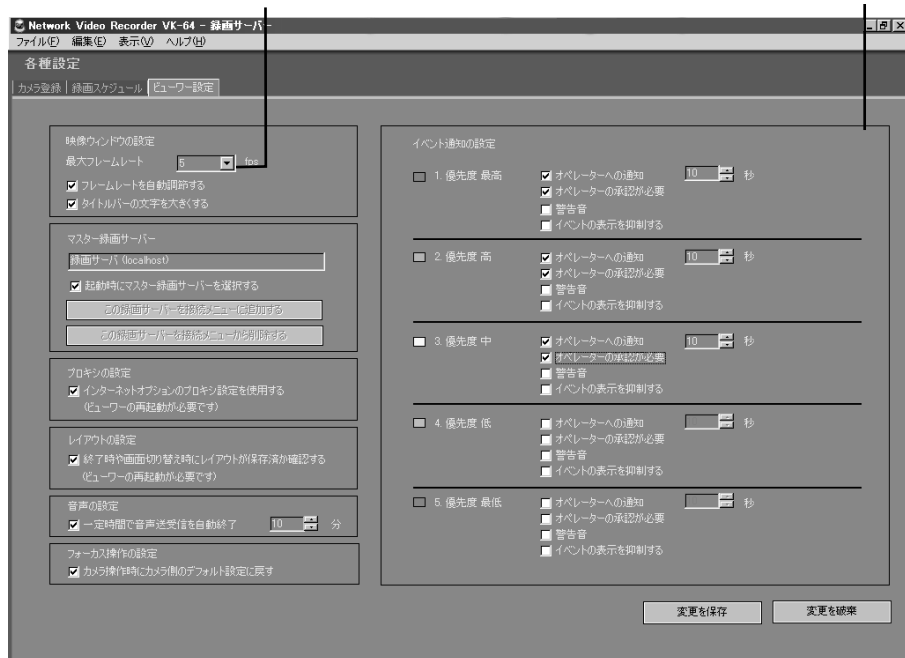
[ビューワー設定]タブをクリックして[ビューワー設定]画面を表示します。

この画面は、次の内容で構成されます。

- [映像ウィンドウの設定] - ライブ映像の最大表示フレームレートを選択します。
- [マスター録画サーバー] - 起動時のマスター録画サーバー選択画面（接続メニュー）の表示/非表示の設定、接続メニューにマスター録画サーバーを追加/削除することもできます。
- [プロキシの設定] - プロキシサーバーを経由して録画サーバーにアクセスする設定ができます。
- [レイアウトの設定] - ビューワー画面のレイアウト変更を保存するかどうかの設定ができます。
- [イベント通知の設定] - オペレーターへの通知の設定、秒単位の通知時間の設定、イベントのオペレーターの承認の設定、警告音の設定、イベント表示の抑制の設定などを行うことができます。
- [音声の設定] - 一定時間で音声送受信を自動終了するように設定できます。
- [フォーカス操作の設定] - カメラサーバー操作時にフォーカス位置をカメラサーバー側のデフォルト設定に戻すように設定できます。

ライブ表示時の最大フレームレート設定

イベント通知の優先度欄





映像ウィンドウの設定

最大フレームレート  fps

☒ フレームレートを自動調節する

☒ タイトルバーの文字を大きくする

マスター録画サーバー

録画サーバ (localhost)

☒ 起動時にマスター録画サーバーを選択する

この録画サーバーを接続メニューに追加する

この録画サーバーを接続メニューから削除する

ライブ表示時の最大フレームレートの設定です。ドロップダウンメニューからフレームレートの値を選択します。

ライブ表示時のフレームレートを自動的に調節することができます。詳細は「システム管理者マニュアル」を参照してください。

映像ウィンドウのタイトルバーの文字を拡大することができます。

現在のマスター録画サーバーが表示されます。

ビューワーの起動時にマスター録画サーバーの選択を行うことができます (→ P.38)。

現在の録画サーバーを接続メニューに追加します。

現在の録画サーバーを接続メニューから削除します。



最大フレームレートを高く設定すると、PCのCPU負荷が高くなり、ビューワーの操作に時間がかかることがあります。[フレームレートを自動調節する]をチェックすると、CPU負荷が高くなった場合に自動的にフレームレートを下げます。

通知の優先度を1（最高）～5（最低）のいずれかに設定します。優先度は以下のように色分けされています。

色	優先度
赤	最高
オレンジ	高
黄	中
黄緑	低
緑	最低

優先度が低い項目ほど、対応する通知設定が少なくなります。

チェックすると、イベントが発生してもビューワーの[ライブイベント表示]ウィンドウに表示されません。

警告音の時間を設定します。

イベント通知の設定

☐ 1. 優先度 最高

☒ オペレーターへの通知

☒ オペレーターの承認が必要

☒ 警告音

☐ イベントの表示を抑制する

☐ 2. 優先度 高

☒ オペレーターへの通知

☒ オペレーターの承認が必要

☒ 警告音

☐ イベントの表示を抑制する

☐ 3. 優先度 中

☒ オペレーターへの通知

☒ オペレーターの承認が必要

☒ 警告音

☐ イベントの表示を抑制する

☐ 4. 優先度 低

☐ オペレーターへの通知

☐ オペレーターの承認が必要

☐ 警告音

☐ イベントの表示を抑制する

☐ 5. 優先度 最低

☐ オペレーターへの通知

☐ オペレーターの承認が必要

☐ 警告音

☐ イベントの表示を抑制する

警告音の時間を設定します。



### [ビューワー設定]画面 - 映像ウィンドウのタイトルバーに大きな文字を使用する



[タイトルバーの文字を大きくする]をチェックすると、映像ウィンドウのタイトルバーの文字が拡大し、読みやすくなります。



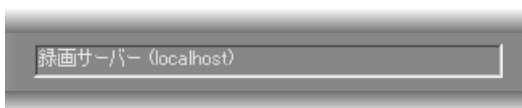
標準のタイトルバーサイズ



大きなタイトルバーサイズ

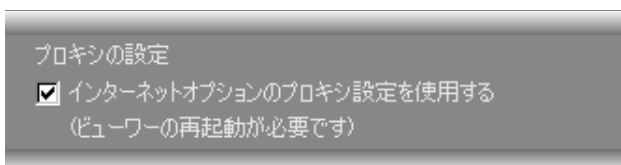
### [ビューワー設定]画面 - マスター録画サーバーを確認する

マスター録画サーバーには、カメラサーバーとレイアウトの設定が保存されています。



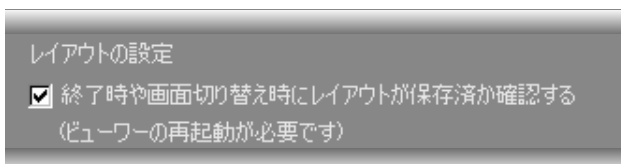
選択されたマスター録画サーバーは[ビューワー設定]画面に表示されます。

### [ビューワー設定]画面 - プロキシサーバーの設定をする



インターネットオプションで設定しているプロキシサーバー設定を利用して録画サーバーにアクセスする場合は、[インターネットオプションのプロキシ設定を使用する]をチェックし、ビューワーを再起動してください。

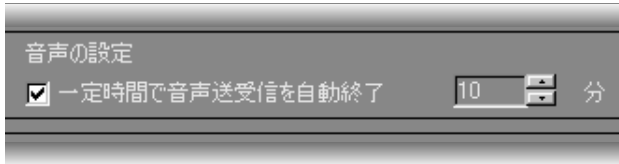
### [ビューワー設定]画面 - ビューワー画面のレイアウトを設定する



ビューワーを終了するときやビューワー画面を切り替えるときに、レイアウトの情報が保存済みか確認を行いたい場合は、[終了時や画面切り替え時にレイアウトが保存済みを確認する]をチェックし、ビューワーを再起動してください。チェックを外すと、レイアウト情報を変更しても保存されません。



## [ビューワー設定]画面 - 音声送受信の終了方法を設定する



ビューワーで音声接続しているカメラサーバーには他のビューワーや管理者ビューワーで音声接続できません。音声接続を切り忘れた場合でも、音声送受信を自動的に終了するように設定できます。

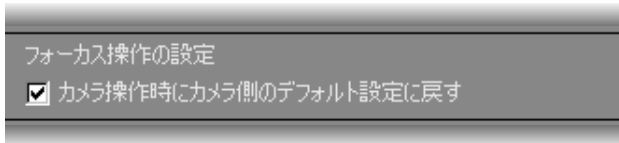
設定する場合は[一定時間で音声送受信を自動終了]をチェックし、自動終了するまでの時間を1～60分（デフォルトは10分）の範囲で指定します。音声を送受信したまま指定時間が経過すると、自動的に音声接続が切断されます。



ヒント

会話中でも切断されます。ただし、映像ウィンドウを切り替えると時間はリセットされます。

## [ビューワー設定]画面 - フォーカス操作を設定する



フォーカス設定をしたプリセット操作、またはカメラ制御パネルでフォーカス操作後にマニュアル操作に切り替えたあと、カメラサーバーを別の方向に操作したときに、フォーカスモードをカメラサーバー側のデフォルト設定に戻すように設定できます。

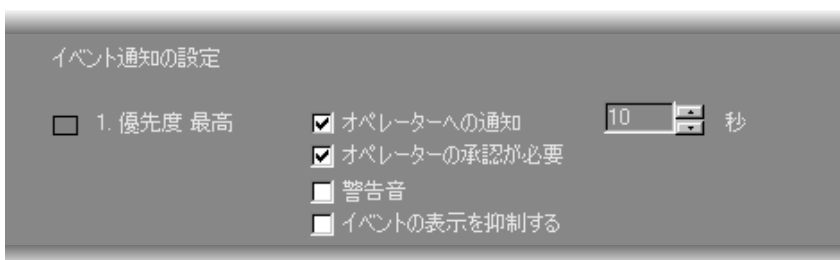
[カメラ操作時にカメラ側のデフォルト設定に戻す]をチェックすると設定されます。



### [ビューワー設定]画面 - イベント通知を設定する

イベントが発生すると、ビューワーの[ライブイベント表示]ウィンドウに表示されます。[ビューワー設定]画面の[イベント通知の設定]では、イベントの優先度に応じてイベントが発生した時の動作を次のように設定することができます。

#### 各優先度のイベントの警告設定を行う



優先度欄では以下の設定ができます。

- 1 [オペレーターへの通知]をチェックして、イベントが発生した場合の通知時間を有効にします。[秒]メニューで、秒単位のイベント通知時間を選択するか、キーボードで入力します(0~99)。イベントが発生すると、ここで設定した時間だけ[ライブイベント表示]ウィンドウでイベントが点滅し、優先度を示すカラーバーが映像ウィンドウの上部に1分間点灯します。

0秒にすると点滅せず、1分間点灯します。

- 2 イベントに対応する[オペレーターの確認が必要]をチェックします。イベントが発生すると、(警告音の指定がある場合は)オペレーターがイベントをダブルクリックするまで警告音が鳴り続け、[ライブイベント表示]ウィンドウでイベントが点滅します。(したがって、イベント通知時間の設定は無視されることになります。)

- 3 [警告音]をチェックしておく、イベント通知時間中、警告音が鳴ります。

警告音には、Windowsシステムのメッセージ(警告)に指定されている音(サウンドポートがインストールされていないPCでは、ビープ音となります。)が使用されます。この音が、[オペレーターへの通知]で指定したイベント通知時間だけ繰り返し鳴ります。[オペレーターへの通知]が設定されていない場合は、警告音が1回しか鳴りません。

- 4 [イベントの表示を抑制する]をチェックしておく、その優先度のイベントが発生しても、ビューワー画面上のタイムラインや[ライブイベント表示]ウィンドウに表示されません。



[ライブイベント表示]ウィンドウについては、「ビューワーマニュアル」を参照してください。

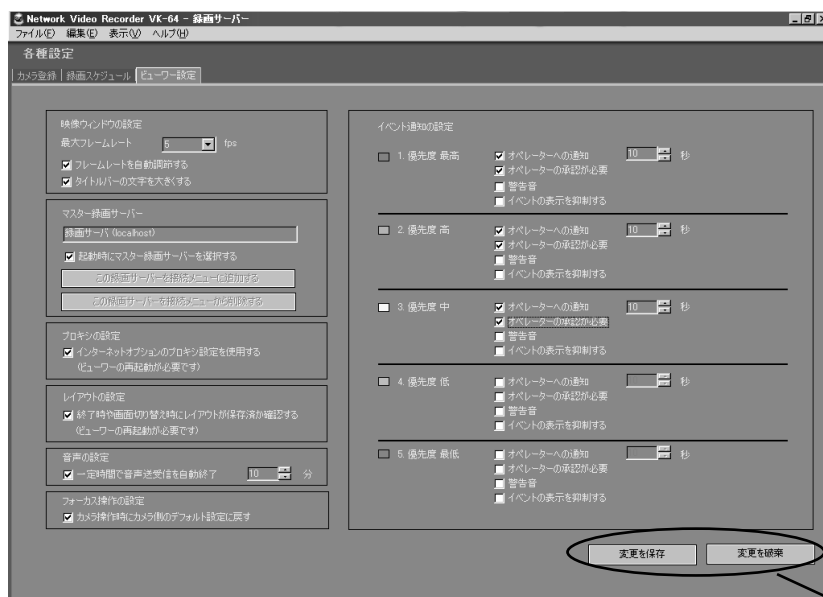


[イベントの表示を抑制する]をチェックしても、[イベント検索]ダイアログの検索結果にはイベントが表示されます。



# ビューワーの設定を保存する

[ビューワー設定]が終わったら...



[ビューワー設定]画面の右下隅には、[変更を保存]、[変更を破棄]という2つのボタンがあります。



- すべての設定内容を保存するには、[変更を保存]をクリックします。設定内容がビューワーのPCに保存されます。
  - 変更内容をすべてキャンセルするには、[変更を破棄]をクリックします。
- ビューワーに戻りたい場合は、メニューバーの[表示]メニューから[ビューワー画面]を選択します。

# 7

ビューワーの設定をする







# 第 8 章

## レイアウト作成と編集・保存する

この章では、レイアウトの作成やオートスイッチの設定方法などについて説明します。



# レイアウトを管理する

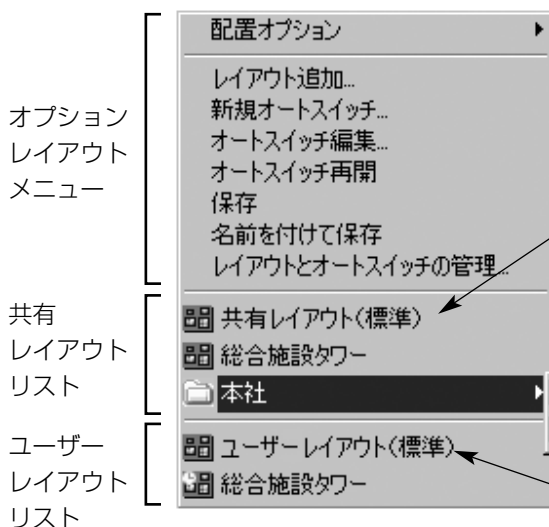
## レイアウトメニューについて

レイアウトメニューを使用すると、映像表示エリアに表示されている映像ウィンドウの配置（以下、レイアウト）を保存することができます。



現在表示されているレイアウトの名前は、映像表示エリアの左上隅のレイアウトメニューボタンの横にあります。新しいレイアウトを作成し、レイアウトを保存したり、以前に保存したレイアウトを開いて、名前を変更することができます。

レイアウトメニューボタンをクリックすると、メニューが開きます。また、映像表示エリア内を、右クリックすることでレイアウトメニューを表示することができます。



レイアウトメニューの選択項目の下には、現在のレイアウトが2つの領域に分けて表示されます。

### 共有レイアウトリスト：

すべてのユーザーが利用することができるレイアウトです。作成するには管理者権限が必要です。一般ユーザーは、これらのレイアウトを変更することはできません。

### ユーザーレイアウトリスト：

現在のユーザーが利用できるレイアウトを表示します。これらは共有レイアウトリストの下に区別して表示されます。他のユーザーが使用することはできません。




ヒント

ビューワー起動時に最初に表示される画面は、ユーザーレイアウトリストに表示されている最初のレイアウト（ユーザーレイアウトがない場合は共有レイアウトリストの最初のレイアウト）です。

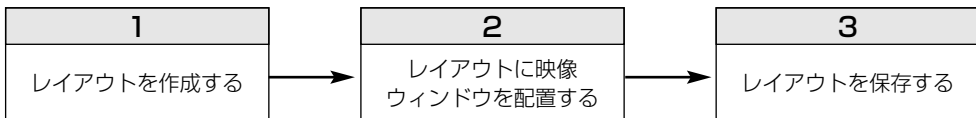


### ● 新規レイアウトを作成するには（前に保存したレイアウトが表示されている場合）

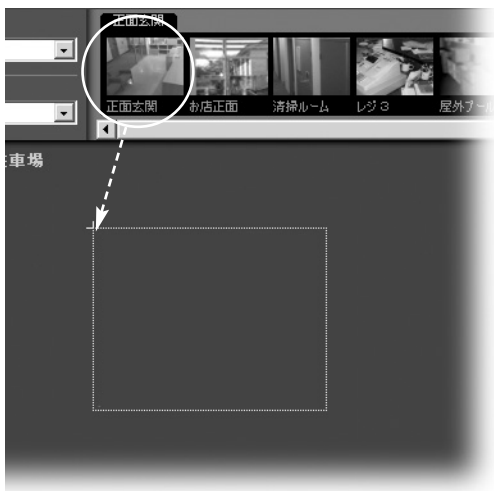
 レイアウトメニューボタンをクリックしてレイアウトメニューを開き、[レイアウト追加...]を選択します。

映像表示エリアは空白となり、デフォルトのレイアウト名“新規レイアウト”が表示されます。

レイアウトを作成して保存する過程は、次の順序で行われます。



カメラサーバーのサムネイルを映像表示エリアにドラッグし、レイアウトを作成します。



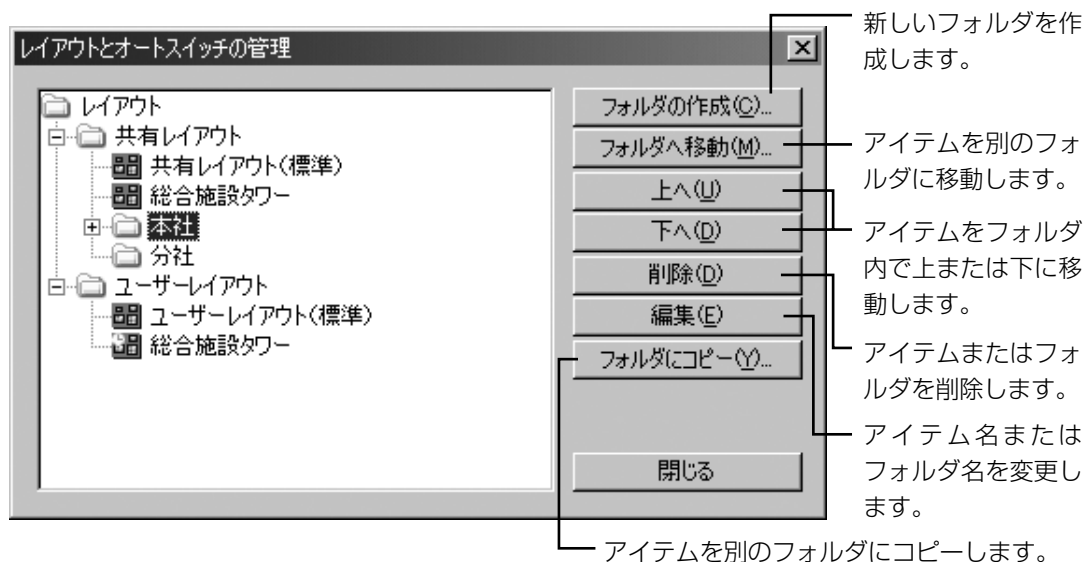


### レイアウトとオートスイッチを管理する

[レイアウトとオートスイッチの管理]ダイアログでは、フォルダやサブフォルダを作成して、その中にアイテム（レイアウトやオートスイッチ）（→ P.128）を保存することができます。このダイアログを表示するには、以下のように操作します。

#### レイアウトメニューを開き、[レイアウトとオートスイッチの管理...]を選択する

[レイアウトとオートスイッチの管理]ダイアログが開きます。一般ユーザーとしてログインしている場合には、[共有レイアウト]フォルダは表示されません。



#### 新しいフォルダを作成する

- 1 [レイアウトとオートスイッチの管理]ダイアログで、共有レイアウトフォルダかユーザーレイアウトフォルダをクリックして選択し、[フォルダの作成...]ボタンをクリックします。



- 2 名前（全角・半角あわせて50文字まで）を入力して[OK]ボタンをクリックします。

[レイアウトとオートスイッチの管理]ダイアログ中に、新しいフォルダが表示されます。



## レイアウトまたはオートスイッチを別のフォルダに移動またはコピーする

1

[レイアウトとオートスイッチの管理]ダイアログで、アイテムをクリックして選択し、[フォルダへ移動...]ボタンをクリックします。

[フォルダを選択]ダイアログが開き、作成されたフォルダのリストが表示されます。



2

リストから移動先のフォルダをクリックして選択し、[OK]ボタンをクリックします。

選択したフォルダにレイアウトが移動します。

[フォルダにコピー...]ボタンを選択すると、同様の操作でアイテムをコピーすることができます。

## 上または下に移動する

アイテムまたはフォルダをクリックして選択し、[上へ]または[下へ]ボタンをクリックします。アイテムは、フォルダ内で上または下に移動します。

## レイアウトまたはフォルダを編集または削除する

アイテムまたはフォルダをクリックして選択し、[編集]ボタンをクリックします。[レイアウト名]ダイアログまたは[フォルダ名]ダイアログが表示されるので、新しい名前を入力します。

アイテムまたはフォルダをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。一般ユーザーとしてログインしている場合には、共有レイアウトや共有オートスイッチを削除できません。



お願い

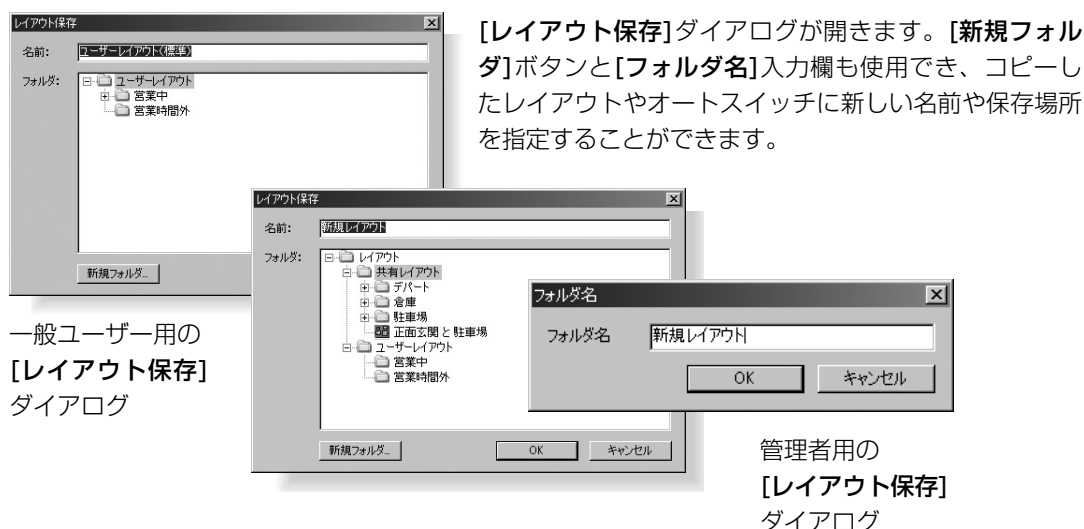
- 「共有レイアウト」と「ユーザーレイアウト」のフォルダ名は変更できません。
- 共有フォルダを管理するには管理者権限が必要です (→ P.35)。



### レイアウトまたはオートスイッチを保存する

管理者と一般ユーザーは、[レイアウト保存]ダイアログを使用して、既存のフォルダや新しいフォルダに、レイアウトやオートスイッチを保存することができます。

#### ● ステップ1：レイアウトメニューを開き、[保存]または[名前を付けて保存]を選択する



#### ● ステップ2：新しいレイアウト名またはオートスイッチ名を作成する

- 1 [名前]の「新規レイアウト」または既存レイアウト名を変更して、新しい名前アイテムを保存します。
- 2 リスト内の保存したいフォルダをクリックして選択します。[OK]ボタンをクリックすると、アイテムがそのフォルダに保存されます。

あるいは、[フォルダの作成...]ボタンをクリックして、新しいフォルダを作成し(→ P.126)、アイテムを保存します。たとえば、共有レイアウトの1つをユーザーレイアウトとして保存したい場合などに使用してください。



レイアウトを保存すると、その名前は映像表示エリアのレイアウトメニューボタンの横に表示されます。



### 前に保存したレイアウトを開く

レイアウトメニューボタンをクリックしてメニューを開きます。リストからレイアウトまたはオートスイッチをクリックすると、アイテムが映像表示エリアに表示されます。



現在のアイテムを保存しないで別のアイテムを選択すると、現在のレイアウトまたはオートスイッチを保存するかどうかを確認するダイアログが表示されます（[ビューワー設定]画面の[レイアウトの設定]（→ P.118）をチェックしている場合）。

### オートスイッチの作成

オートスイッチは、一定の時間間隔であらかじめ設定した共有レイアウトやユーザーレイアウトを順次、自動的に映像表示エリアに表示することができます。

- 1 レイアウトメニューから、[新規オートスイッチ...]を選択します。[新規オートスイッチ]ダイアログが表示されます。
- 2 オートスイッチ名を入力し、[種類]メニューから、[ユーザーオートスイッチ]か[共有オートスイッチ]のいずれかを選びます。
- 3 [追加»]ボタンをクリックして、新しいオートスイッチにレイアウトを追加します。レイアウトの表示順を変更する場合は、[上へ]または[下へ]ボタンで変更します。レイアウトを削除する場合は、[削除]ボタンで削除します。
- 4 [インターバル]メニューで、各レイアウトを表示する時間を設定します。



## レイアウトを管理する

新しいオートスイッチ名を入力します。

オートスイッチの種類を選択します。

レイアウトをクリックして選択します。

[追加>>]をクリックして、左側のリストで選択したレイアウトを追加します。

時間を選択または入力します。  
1～9999秒の範囲で設定できます。

[OK]ボタンをクリックすると、[フォルダを選択]ダイアログが表示されます。

### 共有オートスイッチ：

すべてのユーザーが利用することができるオートスイッチです。作成するには管理者権限が必要です。一般ユーザーは、これらのオートスイッチを変更することはできません。

### ユーザーオートスイッチ：

現在のユーザーが利用できるオートスイッチを表示します。他のユーザーが使用することはできません。

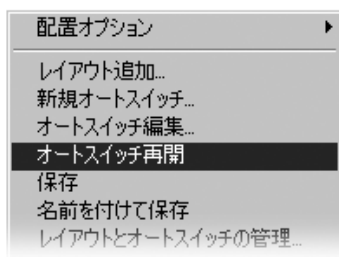


オートスイッチに登録できるのは、レイアウトのみです。

お願い

## オートスイッチを実行する

オートスイッチを実行するには、レイアウトメニューからオートスイッチを選択します。



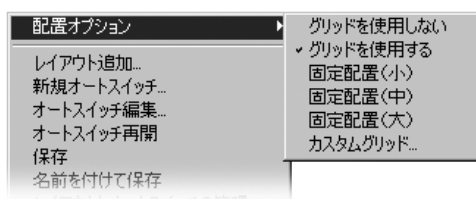
オートスイッチの実行中には、レイアウトメニュー内で選択できる項目が追加されます。

- [オートスイッチ編集]をクリックすると、現在実行中のオートスイッチの設定を変更することができます。実行中のオートスイッチは、[一時停止]と表示されます。
- [オートスイッチ再開]をクリックすると、現在選択中のオートスイッチが再開されます。



# 配置オプションに関する操作

配置オプションを指定して、映像ウィンドウの配置方法を変更することができます。



- **[グリッドを使用しない]** - 映像ウィンドウを任意に配置することができます。
- **[グリッドを使用する]** - 小さな点（グリッド）が映像表示エリアに表示されます。グリッド単位で映像ウィンドウのサイズを変更できます。

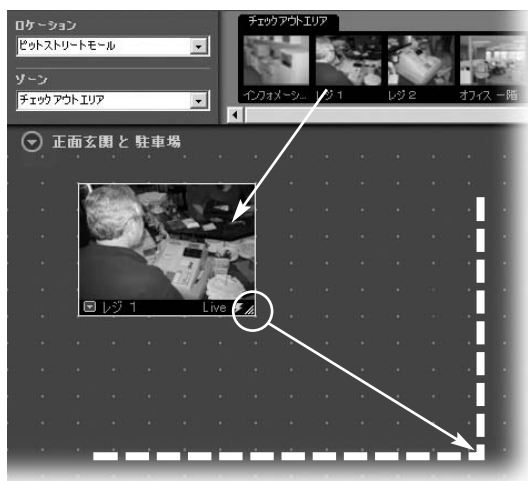
- **[固定配置 (小)]**、**[固定配置 (中)]**、**[固定配置 (大)]** - 小 (160×120)、中 (320×240)、大 (640×480) の大きさの枠が表示され、映像ウィンドウをタイル状に並べて配置することができます。
- **[カスタムグリッド]** - 固定配置の枠の大きさを設定することができます (→ P.135)。



## [グリッドを使用する]を選択する

[配置オプション]サブメニューから[グリッドを使用する]を選択します。映像表示エリアにはドットのグリッドが表示されます。映像ウィンドウを配置すると、グリッドにぴったりと揃います。

### 映像ウィンドウのドラッグ、ドロップ、サイズ変更



1 カメラ選択欄でサムネイル画像をクリックし、映像表示エリアのグリッドの上にドラッグします。

2 マウスボタンを放します。グリッドに合わせて位置とサイズが調節された映像ウィンドウが表示されます。

映像ウィンドウのサイズを変更するには、いずれかの隅をドラッグしてサイズを変更してください。マウスを放すと、配置枠に合わせてサイズが調節されます。



### さらに多くの映像ウィンドウを作成して位置を揃える

必要に応じて、他のカメラサーバーのサムネイル画像を映像表示エリア上にドラッグし、サイズ調整してください。レイアウトの一例を右に示します。

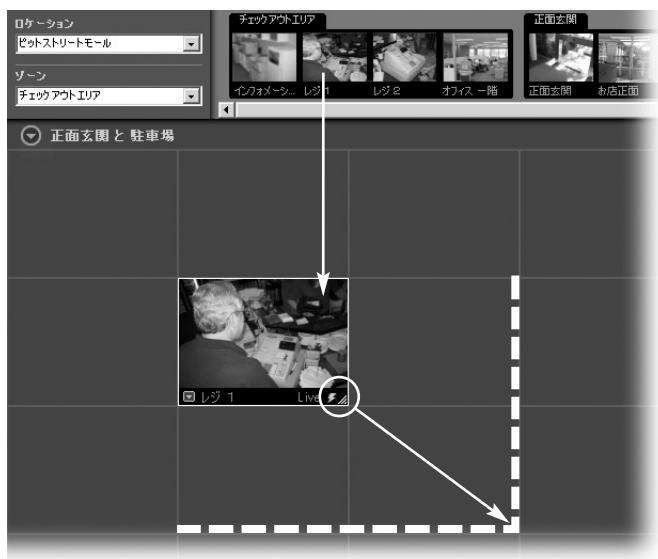




### ● [固定配置（小）]、[固定配置（中）]や[固定配置（大）]に関する操作

[配置オプション]から[固定配置（小）]、[固定配置（中）]または[固定配置（大）]を選択すると、映像表示エリアに映像ウィンドウを配置するための枠が表示されます。これは、タイルのように映像ウィンドウを表示するため、均等な寸法を使用することを示す境界線です。

### ● カメラサーバーのサムネイル画像を空白のタイル上にドラッグする



**1** カメラ選択欄でサムネイル画像をクリックし、映像表示エリア上にドラッグします。

**2** マウスボタンを放すと、配置枠に合わせて映像ウィンドウが表示されます。

映像ウィンドウのサイズを変更するには、いずれかの隅をドラッグしてサイズを変更してください。マウスを放すと、配置枠に合わせてサイズが調節されます。



ヒント

- 映像表示エリアの映像ウィンドウのない任意の場所を右クリックすると、レイアウトメニューを表示することができます。
- 映像ウィンドウは複数の配置枠を占めるサイズに拡大することができます。4タイル、9タイルなどのさまざまなサイズや優先度の映像ウィンドウを表示することができます。



## 配置オプションに関する操作

[固定配置 (小)] を使用した場合の映像表示エリアの例です。



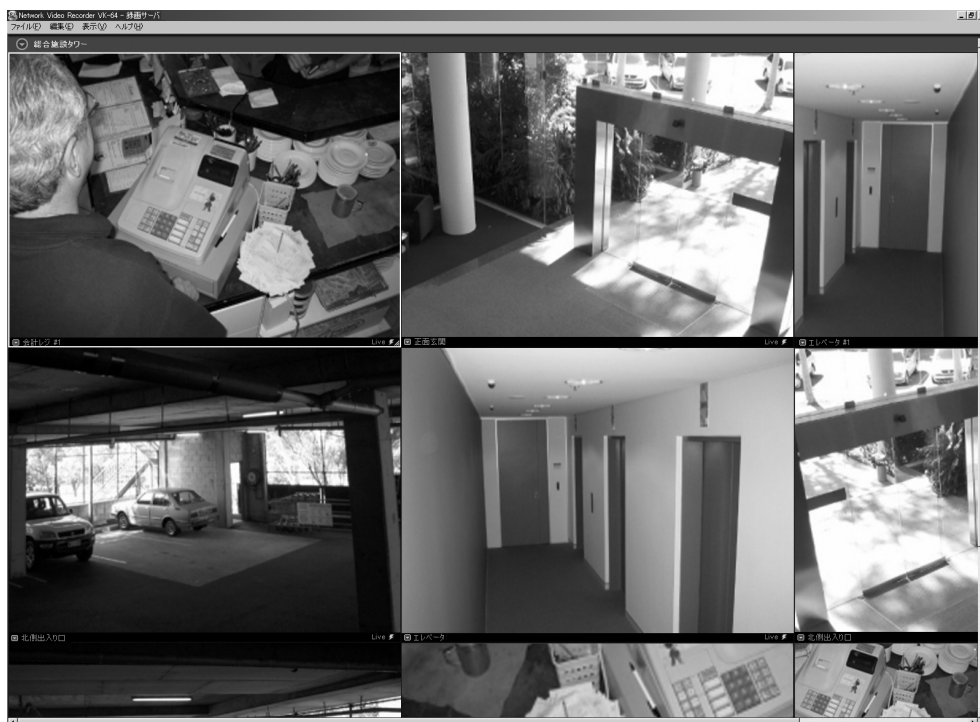
[固定配置 (中)] を使用した場合の映像表示エリアの例です。



ビューワーで同時に表示可能な映像ウィンドウの数は、使用しているPCのビデオカード、CPU性能、ビューワーの最大フレームレートの設定 (→ P.117)、カメラサーバーから送られてくる映像サイズ・映像品質、表示する各映像ウィンドウの数などの要因によって異なります。一度に表示するカメラサーバーを16台以下にすることをお勧めします。



[固定配置 (大)]を使用した場合の映像表示エリアの例です。



この例は、カメラ選択欄とタイムラインが非表示の画面です。

## カスタムグリッドに関する操作

映像ウィンドウの表示枠（グリッド）を自由に設定できます。

### カスタムグリッドの設定

1

[配置オプション]サブメニューから[カスタムグリッド]を選択します。[カスタムグリッド]ダイアログが表示されます。値は、ピクセル単位で入力します。



2

[横サイズ]または[縦サイズ]の入力ボックスに値を入力するか、上/下矢印を使用して値を選択します。片方の入力ボックスの値を調整すると、もう一方の入力ボックス内の値も変化します。これは、映像ウィンドウの縦横比が一定になるように調整されるためです。

3

[OK]ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。グリッドが、設定したサイズになります。



カスタムグリッドを使用するとCPU負荷が高くなる場合があります。



# タスクエリアの表示と非表示

[表示]メニューによって、カメラ選択欄やタイムラインなどのタスクエリアの表示/非表示を切り替えることができます。[カメラ選択欄]と[タイムライン]を非表示にし、[全画面]を選択すると、下に示した固定配置（大）の例のように、映像ウィンドウを表示する面積が広がります。

ディスプレイに映像ウィンドウを何枚表示できるかは、ディスプレイの解像度によって変わります。解像度が高いほど、表示できる映像ウィンドウの枚数が増えます。



[表示]メニューから[全画面]（固定配置（大）、1280×1024）を選択した例です。Windowsのタスクバーも非表示になります。[Esc]キーを押すと、タスクバーが表示されます。





# 索 引



# 索引

## あ行

イベント	32
イベント通知の設定	32
イベントメール通知	32
インストール	15
アップグレード	21
インストーラーを起動する	19
インストール手順	19
インストールを始める前に	16
動き検知とセンサー設定	84
動き検知録画	84

## か行

概要	7
[各種設定]画面	45, 48
カメラサーバー	12
検索	60
削除	69
追加	61, 63
編集	68
カメラサーバー検索	60
カメラサーバー追加	61
[カメラサーバー追加]ダイアログ	62
[カメラサーバー追加]ダイアログ	62
カメラサーバーの設定を編集する	65
接続の詳細設定	63
カメラサーバーをセットアップする	17
カメラ登録	56
変更内容を保存	70
録画サーバー削除	57
録画サーバー追加	56
録画サーバー編集	57
[カメラ登録]タブ	52

## さ行

システム構成	8
システム構成例	16
週間スケジュール	75
変更内容を保存	100
編集、削除	77
[録画スケジュール追加/編集] ダイアログ	78
録画設定サマリー表示	101

セットアップの概要	10
センサー録画	84

## た行

対応カメラサーバー	12
タスクエリア	136
動作環境	13
特定日の録画	103
特定スケジュールの削除	106
特定スケジュールの追加	105
特定スケジュールの編集	106
日付を削除する	108
日付を追加する	107
変更内容を保存	109
録画設定サマリー表示	110

## は行

配置オプション	131
カスタムグリッド	135
グリッド	131, 132
はじめに	2
ビューワー	43, 115
起動手順	38
設定手順	46
[ビューワー設定]画面	116
[ビューワー設定]画面	116
イベント通知を設定する	120
映像ウィンドウのタイトルバーに 大きな文字を使用する	118
音声送受信の終了方法を設定する	119
ビューワー画面のレイアウトを 設定する	118
フォーカス操作を設定する	119
プロキシサーバーの設定をする	118
変更を保存	121
マスター録画サーバーを確認する	118
ビューワーを起動する	38
ビューワー単独モード	41
録画サーバーをIPアドレスで指定	40
ローカルホストに接続	39
ファームウェア	12
アップグレード	12



複数の録画サーバーと複数の ビューワー .....	17
複数の録画サーバーを使用 .....	18
マスター録画サーバー .....	18
プリセット巡回 .....	96
テスト .....	97

## や行

ユーザー管理 .....	34
ユーザー追加 .....	35
ユーザーの設定 .....	34
ユーザー編集 .....	36

## ら行

レイアウト .....	124
オプションレイアウト .....	124
共有レイアウト .....	124
ユーザーレイアウト .....	124
録画サーバー .....	23
録画サーバーの設定 .....	24
録画状況の確認 .....	112
録画スケジュール .....	71
週間スケジュール .....	72
設定の流れ .....	72
特定スケジュール .....	72
[録画スケジュール追加/編集]	
ダイアログ .....	78
イベント前録画、イベント後録画 .....	93
動き検知設定の編集 .....	85
動き検知とセンサーの設定 .....	84
映像サイズ .....	82
カメラアングル .....	92
センサー設定の編集 .....	91
プリセット .....	92
プリセット巡回の設定 .....	96
ロケーションとゾーン .....	54
削除 .....	59
追加 .....	58
編集 .....	59



## お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

**キヤノンお客様相談センター**

**ネットワークカメラ／モニタリング機器**

**050-555-90074**

**【受付時間】**

**<平日>** 9：00～17：00（但し、12：00～13：00除く）

（土・日、祝日及び年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9622をご利用ください。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON **S**TOWER